

九 大倉組ノ江蘇省秣陵關附近鐵山開発ニ関スル交渉一件 六三一

六三四

延イテ日本ノ感情ヲ害シ甚々好マシカラサルノミナラス日  
支両國ノ親善ハ勿論殊ニ実業ノ連絡ハ最モ歓迎スヘキ事柄

ナルヲ以テ本件ノ如キハ冷静ニ事ノ成行ヲ觀察シ実行ヲ期

スル方然ルヘキ旨ヲ語ラレ右ハ自分等ニ於テモ至極尤モニ  
シテ敢テ日本ニ反対スヘシトノ趣旨ニアラサルコトナレハ  
万事ハ李督軍ノ尽力ニ一任シ其後ハ何等ノ手段ヲモ取り居  
ラサル次第ニテ政府サヘ我々ノ立場ヲ無視セサルニ於テハ  
重ネテ大倉トノ協議ヲ辭セサルヘキハ勿論ナリ云々

外務大臣ヘ転電セリ上海ヘ郵報セリ

六三二 十二月三日

大倉組門野重九郎ヨリ

秣陵閔鐵山ニ閔シ外務省ノ強硬意見林公使ニ

充分徹底方大倉組頭取ノ電命ニ依リ願出ノ件

附屬書 十二月一日奉天滯在大倉組頭取ヨリ門野大倉組  
重役宛電報

大正六年十二月三日

大倉組

門野重九郎(印)

門野重九郎宛

奉天 大倉喜八郎

鳳凰山ニ對スル内閣及外務省ノ強硬ナル意見趣旨林公使ヘ

充分貫徹シ居ラスト思ハル、節アリ甚ダ遺憾ニ存ズ我ハ林  
公使ヘ充分事情ヲ陳ベ置キタルモ今度幸ヒ徳川書記官赴任

ノ好機会ナレバ本野外務大臣ヨリ特ニ同書記官ヲ以テ林公  
使ヘ本省ノ意向充分徹底セシメラル様御願セヨ

只今当地ヘ着イタ十二月五日迄滯在十二月六日本溪湖ヘ行  
ク予定。

## 事項一〇 中國問題ニ閔スル西原龜三報告雑件

※

六三三 二月十七日

西原龜三(北京出張中)ヨリ  
本野外務大臣宛(電報)

中國ノ自發的宣戰公布協商國加入ヲ曹汝霖ニ

勸奨ノ件

今日曹汝霖ト約四時間会談シ自發的ニ宣戰公布協商國加入  
ノ支那ヲ最モ有利ニ開導スル所以ナル旨ヲ告ケ幸ニ段内閣

カ決心セバ日本ノ好意ハ適當ナル方法ニテ言明ノ道アル可  
キヲ示セル処克ク了解シ極力努力スル旨ヲ誓ヘリ結果アト

ヨリ、決スルハ茲數日ニアリト勸告セルニ之ヲ諒トシ益々  
奮闘ス可キ旨ヲ答ヘタリ

奮闘ス可キ旨ヲ答ヘタリ

六三四 二月十八日

西原龜三(北京出張中)ヨリ  
本野外務大臣宛(電報)

中國ノ參戰勸誘ニ付日本ハ中國ニ対シ他意ナ

キ旨本野大臣ヨリ段總理ニ伝フル様進言ノ件

昨夜梁啓超ト会シ腹蔵ナキ実状トシテ公使館報告ノ反対説  
盛ナル旨ヲ聞ケリ是ハ先ニ曹氏ノ説ト一致シ余程有力ナル  
モノト見エ殊ニ其説ハ一々根拠アリ支那ノ現状トシテ前後

一〇 中國問題ニ閔スル西原龜三報告雑件

六三三 六三四

六三五

六三五 二月十八日

西原龜三(北京出張中)ヨリ  
本野外務大臣宛

中國ノ參戰問題ニ閔シ曹汝霖、梁啓超トノ会

談報告ノ件

附記 中國參戰ノ場合我方ガ中國ニ与フベキ援助ニ関  
スル覚書

挙呈陳者一昨日到燕昨十七日午後二時ヨリ約四時間曹汝霖  
氏ト会談候同氏ノ曰ク

予々期待セル中日親善ノ要諦タルヘキ中國ノ産業ヲ開發シ  
貴我有無ヲ通スルノ道ヲ進ムベキ稅制幣制ノ改善更革ヲ実  
ニシ政權統一等ノ方法ニ就キ段總理並徐世昌氏ト屢々協議  
ヲ重ね陸宗輿氏ノ帰燕ヲ待チ夫々方策ヲ講究スペキ旨談合  
シツツアリン処因ラズモ米獨關係ノ紛争ヲ惹起スルアリ徐

外務省  
小幡政務局長殿  
鳳凰山鉄山ノ件

拂啓去ル一日北京發奉天ニ参リ候弊社頭取大倉喜八郎ヨリ  
別紙電報ノ如ク申来リ候ニ付何分ノ御詮議相願度筆者參上  
可申上候へ共不取敢書中ヲ以テ願上候 敬具

(附屬書)  
(写) 十二月一日電報

門野重九郎宛

奉天 大倉喜八郎

鳳凰山ニ對スル内閣及外務省ノ強硬ナル意見趣旨林公使ヘ

充分貫徹シ居ラスト思ハル、節アリ甚ダ遺憾ニ存ズ我ハ林  
公使ヘ充分事情ヲ陳ベ置キタルモ今度幸ヒ徳川書記官赴任

ノ好機会ナレバ本野外務大臣ヨリ特ニ同書記官ヲ以テ林公  
使ヘ本省ノ意向充分徹底セシメラル様御願セヨ

只今当地ヘ着イタ十二月五日迄滯在十二月六日本溪湖ヘ行  
ク予定。

門野重九郎宛

奉

天

大

倉

喜

八

郎

世昌氏ハ此機ニ乘シ進ンテ交戦団加入ヲ決シ以テ日本ノ好意ヲ博シ現在財政ノ困難ニ援助ヲ請ヒ更ニ閔税問題ニ対シ日本ノ助力贊助ヲ求メ以テ税制幣制革新ノ道径ヲ開クニアリトシ徐氏ハ去五日段總理ヲ訪ヒ自ラ進言スル処アリ時怡モ米公使ヨリ勧告アリ恁クテ対独抗議トナリ更ニ中立国船舶ヲ擊沈スルアラバ国交断絶ヲナスベク決定セリ然レトモ其内実ハ段總理及徐世昌氏ハ決心ノ牢乎タルモノアリト雖モ閣員中ニ於テハ勿論馮副總統ヲ始メ地方督軍省長ニ於テモ国交断絶ハ中国ヲ危険ノ地ニ導クモノナリトシテ反対説少カラズ故ニ前途測リ知ルベカラザル状況ナリ而シテ日本ノ真意ハ如何トノ問ヒニ対シ

小生ハ支那ノ現状ハ(1)独逸ト共ニスル乎(2)米国ノ態度ニ倣フ乎(3)独逸ハ人道ノ敵ナリトシテ進ンテ宣戰ヲ公布シ協商國ニ加入スル乎ノ三ノ内一ヲ択バザル可カラズ而シテ(1)ヲ択バントスルモ既ニ能ハズ然ラハ(2)(3)ノ一ヲ採ラザル可カラズ即チ米国ノ態度ニ倣フテ支那ハ何等ノ益スル處アル哉殊ニ国交断絶ト宣戰公布ハ其実質ニ於テ敢テ異ル處アル歟幸ニ支那カ自發的ニ進ンテ宣戰ヲ公布シ協商國ニ加入シ巴里條約ニ加盟スルノ勇断ヲナスアラバ協商國ハ必ズ支那ニ

好意ヲ表スルハ勿論日本ハ其間ニ介在シテ支那ノ現状ニ処シ最モ緊要トスル問題ニ対シ援助ヲ辞セザル可キ旨ヲ告ゲ而シテ其援助ニ対シ夫々意見ヲ交換シ恁クテ小生一個ノ考ナリトシテ

一、支那ノ財政現状ニ顧ミ協商國ニ支払フ可キ北清事変賠償金ハ或ル期間延期スルコトニ尽力スルコト  
二、支那カ独逸ニ支払フ可キ北清事変賠償金ハ将来支払ヲ要セザル可キ様協商國ニ於テ保証スルコトニ尽力スルコト

三、支那ノ税制ヲ整理更革シ殊ニ釐金税ヲ廢止スルノ主義ヲ前提トシ其財源ニ充当スル目的ヲ以テ閔税ヲ或ル程度ニ引上クルコトニ同意シ協商國ニ商議スルコトヲ尽力スルコト

最モ釐金税ハ或ル年限内ニ廢止スルコトヲ約シ壳ヶ年内ニ少クモ直隸山東奉天ノ三省ニ着手スルコトヲ誓ヒ且支那ノ産業ヲ開發スルノ主旨ニ基キ一部品ノ輸出税ヲ廢止スルコトヲ要ス

四、支那ノ政情ニ鑑ミ支那ニ於テ政變ヲ必要トスルアラバ日本ハ勿論協商國ハ一二支那ノ自由意志ニ頼ル改革ニ待

チ毫モ妨害セザル而已ナラズ外ニ於テ支那自ラ援助ヲ求ムラアラバ内政干渉以外ニ於テ可及的ノ後援ハ其ノ需ニ応スルニ至ルヘキ様尽力スルコト

五、其他支那ノ産業ヲ開發シ及政權ヲ統一維持スル必要ヨリセル希望アランニハ日本ハ必ズ好意ヲ以テ対応スルニ

至ル可キ様尽力スルコト

恁クテ曹汝霖氏ハ若シ支那ガ逡巡決セザル場合ハ協商國連合シテ強キ意味ニ於ケル勧告ヲナスニ至ラザル乎トノ反問

アリ故ニ小生ハ其場合アルコトハ貴見ノ如シ是レ支那ニ自発ヲ求ム所以ナリト答ヘタル処曹氏ハ弥々段總理ニシテ百難ヲ排シ宣戰公布協商國加入ヲ決心スル場合ハ前項日本ノ好意ニ対シ支那ヨリ進ンテ懇願セバ日本ハ適當ノ方法ヲ以テ安心ヲ与フルノ道ヲ取り呉ルル哉トノ質問ニ応シ必ス應答言明スル処アルヘシト談シ候処然ラバ吾(曹氏)ハ大決心ヲ以テ極力努力スル旨ヲ誓ヒ申候

更ニ午後十一時ヨリ梁啓超氏ニ坂西大佐ノ通訳ニテ会談シ遂ニ今晩三時ニ及ヒ申候而シテ段々論詰致候処段總理ヲ囲繞セル周囲ノ状勢ハ啻ニ米国ノ態度ニ倣フト云フニ過キズシテ其間毫モ確乎タル主義主張アルニ非ズニ八方ノ機嫌

ヲ損セザルト云フノ模様相見エ一面曩ニ曹氏ノ云為セル反対説ナルモノハ梁氏ノ説ニヨレバ有力ナル趣ニ相見工段總理ハ此反対説ヲ鎮圧スルニ困難シツツアル趣ニ御座候而シテ梁氏カ無腹藏寒状ナリトシテ語ル處ニ依レバ馮副總統ヲ始メ反対派ノ説ハ

一、國交ヲ断絶セバ勢ヒ交戦団加入トナリ然ラバ日本ハ必ス其機会ニ乗シ日支交渉ノ第五項ヲ再ヒ要求スルニ至ルハ必然ナルコト

二、支那カ国交ヲ断絶スルモ沿海ノ警備其他対敵行為ニ欠クル処アルヲ以テ日本ハ交戦団トシテ支那ノ不備ニ乘シ警備ノ充実ニ名ヲ藉リ先ツ軍港ノ租借ヲ要求シ且枢要ノ地ニ軍隊ヲ駐派スルニ至ル可キコト

三、協商國ハ兵器ノ供給ニ名ヲ藉リ上海漢口等ノ機器局ニ強制的ニ技師其他ヲ派遣シ事實其主權ヲ奪ハルニ至ル可キコト

四、國交ヲ断絶セバ獨逸ノ利權ハ總テ日本ノ繼承スル処トナリ独逸ニ代ルニ日本トナルノ結果トシテ支那ハ益々危険ノ地位ニ陥ルニ至ル可キコト

可キヲ信スルト雖モ既往ニ於ケル貴國トノ関係ヲ考察セバ此反対説ヲ根拠ナキト説破スルノ理拠ヲ有セズ段總理、徐世昌氏ノ如キモ寺内内閣ハ専ル問題ヲ惹起セザル可シト信スルモ去リ逆テ断シテ無シトハ切言スル能ハズ希クハ蒙ヲ啓カレンコトヲノ説ニ対シ

余ハ(1)(2)ノ如キハ吾々ノ夢想ダモセザル処ナリト雖モ日本カ一昨年ノ日支交渉ニ於テ所謂第五項ナルモノヲ撤去セルニ対シ再ヒ要求スル場合ヲ杞憂セラルハ當然ナル可シトスルモ寺内内閣ハ貴國カ此肥沃ナル国土ヲ開發シ此勤勉ナル四億ノ民ヲ活用シ所謂産業開発國家ノ維持ヲ念トシ實質アル日支親善ヲ希望セルモノ貴國カ此趣旨ニ反セザル限り曷ゾ野心ヲ以テ臨ムヲ要セん哉ト断シ殊ニ警備ノ不備ニ名ヲ藉リ吾軍隊ヲ駐派シ軍港ヲ租借スル如キ若シ貴國ニシテ其費用ヲ負担シ吳ルルナラバ兎モ角貴重ナル国費ヲ専ル無用ナル費ニ消センヨリハ寧ロ貴國財政ノ困難ヲ匡救スルノ更ニ優リ將タ親善ノ所以ニモ合致スルニアラズ哉ト答へ(3)ハ協商國ニ兵器ヲ供給スルハ貴國ノ利益問題ニ属ス元ヨリ強制シ得ベキ性質ノモノニ非ズ貴國ノ兵器廠カ充ク其任ニ耐ユルアラバ進ンテ供給ノ道ヲ図ルヲ妥当トセズ哉殊ニ技

ルモノ此秋ニ於テ貴國ガ協商國ノ希望ト一致ス可ク自發的ニ順応スルアラバ日本ハ克ク貴國ノ為ニ協商國ニ謀リ貴國ノ根基アル國家ノ樹立ニ資ス可キ道ニ開導スル處アル可キヲ信ス是レ即チ徹底セル日支親善ノ要諦ニ非ス哉ト談シ実ニ支那ノ運命ヲ決スルハ茲數日ニ在リ希クハ過誤ナカラシコトヲ望ムト告ケタル処梁氏ハ貴論克ク之ヲ諒セリ吾々ハ益々奮闘シテ貴論ニ答フル処アラント語リ袖別仕候

從テ梁氏ノ唱フル反対説ノ根拠ヲ尋究セルニ(1)ハ支那上下ヲ通シ日本カ機会ニ乘シ所謂第五項ヲ再ヒ要求スル場合ア

ルヲ杞憂スルハ無理ナラザルコトニシテ(2)ハ駐支吾軍人力放談的ニ支那ニ三、四個師團ノ軍隊ヲ駐派セバ支那ハ一二

日本ニ聽從スルニ至ル可シ云々ト無意味ニ放言シツツアルハ吾等ノ直接ニ耳ニセル処、遠謀ナキ吾邦人ノ放言ハ支那亦之ヲ謀知セル哉必セリ而シテ交戦團加入ハ恰モ日露戰當時ニ於ケル朝鮮ニ對セル協約ヲ連想シ専クテ杞憂ノ種子トナリシモノタル可ク(3)ハ前回協商國引入問題ノ際英公使ノ提議ニ兵器供給ノ一条アリ而シテ協商國ヨリ技師ヲ派遣シ大々的ニ作業スル旨ノ説アリシニ職由セルモノ(4)ハ當然ノ杞憂ニシテ専ノ如ク夫々根拠アル次第ニ御座候

更ニ梁氏ヨリ日本ノ他意ナキ旨ヲ適當ナル方法ヲ以テ言明セラルアラバ反対論鎮圧ニ少ナカラザル効果アル可シトノ談モ御座候間委曲芳沢代理公使ニ告ケ宜シク大臣閣下ヨリ専ル風説ノ根拠ナク殊ニ日本ノ他意ナキコトヲ章公使ヲ通シ段總理ニ伝ヘラルハ此際杞憂ヲ一掃スルニ有効ナル措置ト信シ電報ヲ以テ御高配ヲ請ヒ候事情ニ有之候先ツハ曹、梁会談経過ヲ報告迄如斯ニ御座候 敬具  
(附記)  
中國參戰ノ場合我方ガ中國ニ与フベキ援助ニ關スル覺書

### 覚書

一、支那ノ財政現状ニ察シ協商國ニ支払フ可キ北清事變賠償金ハ三ヶ年間遞次延期スルコト

二、支那カ独逸ニ支払フ可キ北清事變賠償金ハ協商國ニ於テ将来支払ヲ要セザル可キ様保証スルコト

三、支那カ夙ニ声明セル釐金税ヲ廢止シ産業ノ開發貿易ノ発達ニ資スルノ目的ヲ以テ此際關稅ヲ既製品七分五厘未成品五分ノ実値率ニ引上ケルコトヲ先ツ協商國ニ於テ承諾ヲ与ヘ條約國ニ商議スルニ際シ援助スルコト

尤モ釐金税ハ拾ヶ年ヲ限リ全國之ヲ廢止シ壹ヶ年内ニ少

クモ三省ニ対シ税制改正ニ着手スルノ約定ヲナスコト  
又産業開発ニ資ス可キ棉花羊毛鉄鉱其他二三種輸出品ノ  
輸出税ヲ同時ニ免除スルコト

四、興業、朝鮮、台灣ノ三銀行ハ交通銀行ニ対シ支那政府

ノ国庫債券ヲ担保トスル金五千万円借款ノ協議ニ応スル

コト

但シ該金額ハ支那カ政治ノ改革及対独關係ニ所要スル使途ニ充當スルコト内諾スルコト

尤モ此借款ハ実業借款ニシテ政治借款ニ非サルコトヲ支那ニ於テ適当ニ處理スルコト

本覚書ハ二月十七日西原ガ曹汝霖ト会談ノ際ノ談話ノ基礎

ノ腹案トシテ予メ準備セシモノカト察セラル

六三六 二月二十一日 西原龜三(北京出張中)ヨリ

勝田大蔵大臣宛(電報)

段總理ヨリ寺内首相へ謝意伝達方依頼アリ又

其國政改革ノ決心ヲ告ゲラレタル旨報告ノ件

今日段總理ト会見ノ模様公使館ヨリ報告シタ段ハ深キ決心

ヲナシ日本ノ好意ヲ感謝スル旨寺内總理ヘ伝達ヲ依頼セリ

馮国璋來京懇談ノ上宣戰ヲ公布スルニ至ル可キヲ信ズ

小田切ハ芳沢ニ財政總長ノ椅子カ危クナリシ模様且東三省幣制改革ヲ実行スル話ナキヤト問ヒタルモ知ラズト答ヘタルニ余程狼狽セル模様ナリ注意アリタシ

宣戰トナレバ捕獲スル獨逸船ヲ日本ニ貸スコトニセシメテハ如何其場合参考ノ為貸船料取調通知ヲ乞フ

六三七 二月二十一日 西原龜三(北京出張中)ヨリ

本野外務大臣宛

中国參戰問題ニ關シ梁啓超及段總理ト會見ノ模様報告ノ件

挙呈陳者昨日梁啓超ニ本日段總理ニ会見ノ模様御報申上候

梁ハ昨日生ノ旅館ニ來訪夫々意見交換ノ末左ノ希望ヲ述ヘタリ

一、協商國ニ支払フ可キ北清事變賠償金ハ支那現在ノ財政狀態ニ察シ式十年間ヲ延期シ其期間割賦支払ヲ希望スルコト

二、独逸及奧國ニ支払フ可キ北清事變賠償金ハ将来支払ヲトナルニ依リ此改革ニ所要スル資金ノ借款ハ一二日本ニ依頼シ日本ノ意見ニ從ヒ実行スルニ至リタキコト

要セザル可ク協商國ニテ保証セラレ度キコト

三、支那カ夙ニ声明セル釐金税ヲ廢止スルノ財源ニ充当スル目的ヲ以テ海關稅ヲ既製品七分五厘、未成品五分ノ実

価率ニ改定スルコトヲ協商國ニテ承諾セラレ他條約國ノ贊成ニ就キテモ援助セラレ度キコト

尤モ釐金税ハ拾ヶ年ヲ限り全国之ヲ廢止シ壱ヶ年内ニ少

クモ三省ノ税制改正ニ着手スルコトヲ約定スルコト

更ニ産業開発ノ目的ヲ以テ棉花羊毛鉄及鉄礦其他二三種輸出品ノ輸出税ヲ免除スルコト

四、支那ハ将来ニ於テ財政ノ確立ヲ圖ルタメ煙草及酒ノ専売ヲ実施スルノ希望アリ故ニ協商國ニ予メ其実行ニ対シ承諾ヲ得置キタキコト

五、現在專管居留地ニ在住スル支那人ハ外国人ト均シク治外法權ノ陰ニ隠レ支那政府カ施行スル法律ニ服従セザルコトトナリ居レリ從テ将来支那カ税制ノ整理改善ヲナスニ當リ例ヘハ印紙税營業又ハ所得税ヲ施行スル場合居留地ニ住居スル支那人ハ其課税ヲ脱スルコトトナリ恰モ外国人同様ノ結果トナルニ至ル元來治外法權ハ外国人ニハ之ヲ認ムルモ支那人ノ其陰ニ隠レ而テ列國カ之ヲ庇護スルノ謂レナシ故ニ此現状ニ対シ希クハ日本ノ助力ニヨリ

コト

支那ノ疆土内ニ於テ支那人ヲ治外法權ノ陰ニ隠レシムル如キナキニ至ラシメラレンコトヲ望ム

六、幣制ヲ改善シ金貨幣ヲ流通スルコトハ支那ノ殊ニ切念スル處故ニ先シ東三省ニ実行シ更ニ鐵道ト稅關ニ及ホシ

順次金貨幣ニテ統一ニ進ム可ク施設スルコトヲ望ム而シ

テ幣制借款ニ就テハ四國團ノ約定カ本年四月ヲ以テ満限トナルニ依リ此改革ニ所要スル資金ノ借款ハ一二日本ニ

依頼シ日本ノ意見ニ從ヒ実行スルニ至リタキコト

七、税制幣制ノ改革ニ就テハ切ニ日本ノ援助ニ待チ從テ日本ヨリ顧問ヲ聘用シテ其実行ニ資シタキコト

八、山東ニ於ケル独逸ノ利權処分ニ就テハ日本ノ對独宣告ノ主旨ニ基キ日本ノ高義ニ信頼シ支那ハ一切容喙セザルコト

以上ハ自己一個ノ考ニシテ支那カ自發的ニ獨逸ニ対スル宣戰ヲ公布シ協商國ニ加盟スルニ於テハ此機會ニ以上各項ヲ

日本ノ好意ニ信頼シテ協商國ニ承諾セシムルノ途ニ運ハセ

度旨ヲ以テセリ而シテ對独關係ハ徐世昌氏ヲ始メ高等顧問

タル自分(梁氏)汪大燮、陸徵祥、曹汝霖一致シ直ニ宣戰公布ニ進ム可ク決心シ段總理ニ建議セル處總理モ之ヲ諒シ

国家ノ重大問題ナルヲ以テ馮副總統ノ上京ヲ促シ懇談決定スヘキコトナレリ茲ニ進ミタルハ一二日本ノ厚意ニ信頼セル所以ナル旨ヲ告ケタリ

而シテ生ハ二回ノ会談ニ於テ（午前ト午後ト会談セリ）梁啓超ノ希望ニ対シ左ノ如ク答ヘタリ

一、賠償金ヲ二十年間延期セヨトノ説ハ一面無理ナラズト雖貴國カ閏税ヲ引上げ且税制ヲ整理スルアラハ恁ル賠償金ノ如キハ屑零タル問題タリ故ニ此際三年又ハ五年ノ遙次延期ヲ求ムルヲ支那ノ体面ヲ保維スル所以ナリト説キタル処梁氏ハ然リトンテ生ノ説ニ贊成セリ

四及五ハ主義トシテ貴説ニ贊成ナルモ此場合ニ於テ之ヲ求メントスルハ無理ナリ殊ニ五ハ治外法權ニモ關係アリ日本ハ治外法權ノ撤去ニハ多年ノ苦心ト努力ノ結果其目的ヲ達スルニ至レリ貴國モ亦其覺悟ト努力ヲ必要トス然ルニ此際ニ於テ一二他ニ倚頼シテ安々ト其目的ヲ達セントルコトハ之ヲ欲スルモ世事ハ恁ノ如キ簡易ナルモノニ非ズ最モ貴國希望ノ存スル処ハ主義トシテ贊成ナルヲ以テ其趣ヲ日本政府ニ伝ヘ日本政府ヨリ協商国ヘ其希望ヲ伝達スルノ勞ヲ取ルコトハ或ハ出来得ルカトモ信ス要

スルニ此二問題ハ目下ハ提出ノ時機ニ非スト信スト答ヘタル処梁氏ハ之ヲ了解シ生ノ意見ニ同ウセラレタリ六、幣制改革ニ就テハ東三省官銀号ヲ整理改善シ鉄道及稅関ニハ交通銀行ヲ整理改善シテ其任ニ当ラシムレバ敢テ四國團ノ約定ニハ抵触セズ実行可能ト信ズ亦多額ノ資金ヲ要セズシテ其実ヲ施行スルニ至ル可シト答ヘ八、山東処分ニ対シ日本ノ高義ニ待ツトハ恁クアリテ始メテ日支百世ノ親善ハ実願スルニ至ル可ク總テ此旨趣ヲ以テ相互ノ信条トスルコトヲ望ム旨ヲ答ヘ其他ノ希望ハ一々其所以ヲ述べ必ズ日本カ貴意ヲ満足セシムルニ至ル可シト答ヘタル処梁氏ハ無腹藏意見ノ交換ニヨリ万事了解セリトシ此趣ヲ段総理ニ伝ヘ相互ノ意見一致ヲ求ム可シトシテ会談ヲ終リ候

而シテ其間生ハ梁氏ニ支那カ万一路巡トシテ決セザル場合ハ協商國カ連合シテ共同勧告ヲナスニ至ルモ知ル可カラズ既ニ露國政府ハ北京公使ニ勧告ノ訓令ヲ下セリト聞ク若シ其場合ニ至ラハ日本ノ好意ハ尽サントスルモ能ハザル可キヲ以テ小生カ提示セル日本ノ好意撤回ノ不得止ニ至ル可キヲ承知セラレタシト告ケタル処梁氏ノ曰ク既ニ宣戰ニ至ル

可ク段総理モ決心セルト雖モ内部ノ議ヲ纏ムル必要ヨリ茲一週日ノ日子ヲ要ス可キト信ス故ニ此内容ヲ日本当局ニ伝ヘラレ共同勸告ノ來ラザル様尽力セラルコトヲ望ムト囑シ更ニ段総理ノ使トシテ劉宗傑氏同様ノ依頼ヲ致越シ候右ノ事情ニ付昨日芳沢代理公使ヨリ委曲打電ヲ求メ候次第ニ御座候

更ニ本日段総理ニ会見致候処日本ノ厚意ハ梁啓超曹汝霖ヨリ以聞シ深ク感謝スル処復タ本日ハ章公使ヨリ現在支那ノ各方面ニ於ケル風説ニ対シ日本ノ他意ナキ声明ヲ受ケ自分ハ元ヨリ信セズト雖モ人言ハ只信セズトシテ防ク能ハズ此時ニ際シ大ニ満足スル処ナリ希クハ各般ノ厚意ニ対シ深ク感謝ノ旨寺内総理大臣閣下並ニ閣下ヘ伝達ヲ請フト嘱セラレ申候

恁クテ段総理ハ語ツテ曰ク自分ハ堅キ決心ヲ以テ此機会ニ於テ日本ノ厚意ニ待チ国政ノ改革ヲ実行シ先シ閏税ノ引上承諾ニ対シ一部品ノ輸出税ヲ免除シ及釐金税廃止ヲ実行シ且幣制改革ハ直ニ東三省ニ着手シ次イテ一省一省ト順次及ボス方針ニテ進ム可ク夫々相談セル処皆贊成セリ焦眉ノ問題タル對独關係ハ國家ノ重大問題ナルヲ以テ馮副總統ノ來

キ候予メ御承知被下度候從テ本件ハ未ダ具体化セサルヲ以テ弥々ニ至リ打電御指揮ヲ仰キ可申候

先ツハ昨今両日概況御報申上候尚曹汝霖氏ハ今回ノ事件力前大隈内閣時代ニ湧起シタリトセバ其結果カ如何ニ帰趣セ

ルカ日支交渉當時ヲ追想シテ感慨ニ堪ヘサルナリ本日國務院ニテ高等顧問會議ノ席ニテ話シタル處ニシテ當時苦シメ

ラレタル経験ヲ追憶スル切ナリト述懷致候吾モ亦ソゾロニ感ヲ催シ申候

六三八 二月一十三日 西原龜三(北京出張中)ヨリ  
勝田大蔵大臣宛(電報)

### 本野外相ヨリ囁託セラレタル事項以外ニ深入

#### セザル様注意方ノ電報ニ対シ回電ノ件

貴電<sup>(註)</sup>拝承賠償金関税引上げ金ヲ貸スコトノ三問題ハ外相ト意見ヲ交換シ任ス故是非宣戰ニ漕付ケ吳レトノ命ニ仍リ余ハ専ラ努力シツツアリ其他ハ先方ノ希望ヲ報告シ亦対応シ其希望ヲ抑ユルニ努メ今ハ右三問題ノ外ハ只希望ニ止メ全部撤回セシメタリ余ガ行動ハ決シテ使命ヲ恥カシメズト信ス或ハ外務省内ニ疎隔ヲ努ムモノ在ルニ非ス哉克ク本野閣下ニ伝達ヲ乞フ

註 勝田大蔵大臣ヨリ西原宛電報ニ付テハ次掲ノ二月二十三日西原駆勝田大臣宛書信ノ冒頭参照

六三九 二月二十三日 西原龜三(北京出張中)ヨリ  
勝田大蔵大臣宛

### 勝田藏相ヨリ外相囁託以外ノ問題ニ深入セザ

#### ル様注意アリタルニ対シ弁明ノ件

拝呈陳者本朝左記貴電ヲ接受仕候

外務大臣ヨリ貴下ニ囁託セラレタル以外ノ問題ニ就テハ深入リセラレザル様同大臣ヨリ貴下ニ伝達方依頼アリタリ貴下ト外務省トガ疎隔スルガ如キコトアリテハ大事ヲ破ルモトトナルベケレバ此辺篤ト御注意ヲ乞フ

御電示ノ意味ハ甚タ了解ニ苦ミ申候小生ハ外務大臣閣下ヨリ支那引入問題ニ対シ北清事変賠償金及関税引上承諾並時局ニ処シ金ノ入用ノ場合ハ是ヲ引受クルコトノ意見ヲ交換シ本野閣下ハ君ノ意見ハ克ク承知セルヲ以テ是非宣戰マデ漕付ケ吳レル様トノ命ナリシニヨリ之ヲ諾シ出發セルモノニ候而テ到燕後芳沢代理公使、斎藤少將、坂西大佐ト一致ノ行動ヲ取リ茲ニ努力スル旬日幸ニ予定方針ニ支那カ全然合致セントスルニ至リツツアル處ニ御座候恁クテ其間梁啓

超ノ希望及段總理ノ意見並決心ヲ芳沢代理公使ヨリ外相閣下ニ報告ヲ請ヒ殊ニ其希望ハ小生ノ意見ヲ徵セルニ属シ彼ハ日本政府ノ意見ヲ糺スモノニ非ズ故ニ小生ハ正義ヲ準トセル根本ニ基キ其意見ヲ述べ彼ヲンテ其正当ナル道ト已ノ責任ト努力ノ必要ヲ覺悟セシメ恁クテ日本ノ真意ニ合致セシムル是レ即チ生ノ使命トスル處亦電話ノ交換手ニテハ反テ彼ヲ不安ニ導クニ至ルハ必然ナル處ト存候從テ小生ハ当然ノ任務ヲ任務トシテ尽シタルモノニシテ外相依囑ノ範囲ヲ脱シ深入リセル處ハ毫モ無之ト存候故ニ左記返電仕候必ず外相閣下ヘ伝達被下候ト存候(約四百字脱)

破り殊ニ列国ノ猜疑ヲ招キ意外ノ障害ヲ惹起スルノ虞アリ即チ今回ノ日本ノ態度ハ何等ノ勸告警告ヲ与ヘスニ支那ノ自由ニ任シツツアルハ深ク満足スル處ナリトハ政府ノ要部ニ於テハ勿論民党側ニ於テモ称揚シツツアル處外務省ノ云為スル所以ハ何ヲ目標トスル乎ヲ知ラザルモソソナコトハ決シテ無遠慮飽迄國家ノ為メ尽力シ吳レト申居候

更ニ斎藤少将ニ示シタル處亦同一ノ意見ニシテ今回首相外相從来ノ慣例ヲ破リ君ヲ使ヒセシメタルコトハ正ニ成效セントシツツアル所以ニシテ英ノ如キ独ノ如キ総テ此筆法ニ

貽サザル様御努力アランコトヲ懇囑切望仕候

尚幣制改善ニ就イテハ曩ニ小生カ段総理及徐世昌氏ニ建言セル其儘ヲ直ニ実行セント決心セル模様ニテ其希望ヲ段及染ヨリ承リ候モ是レハ今回ノ引入問題トハ無関係トナス可ク考ヘ居リ候左様御承引被下候

先ツハ事情御報迄

六四〇 二月二十四日

(西原龜三(北京出張中)ヨリ  
本野外務大臣宛(電報))

中国ノ宣戰決定前ニ團匪賠償金及關稅引上二

閔スル中國ノ希望ニ對シ日本政府ヨリ實行ノ

保証ヲ得度キ旨曹汝霖ヨリ申出ノ件

曹汝霖曰ク副總統昨夜段總理ト会談ノ際日本ノ野心ヲ云々シハゲシク逼リ段ハ章公使ニ對スル閣下ノ声明ヲ示シ今日ハ心配ナカル可シト答ヘ馮ハ未タ賛否ヲ表セサルモ大体賛成ニ至ル可キモ黎總統ハ独逸ノ回答ヲ見テ益々怪ム可キ態度ナリ段ハ切ニ苦心シソアリ從テ日本ノ好意タル

對協商國賠償金支払延期ノコト

対独賠償金取消保証ノコト

關稅ヲ既製品七分五厘未成品五分ノ実値率ニ改定スルコ

ト三問題ニ對シ宣戰決定前日本政府ヨリ是カ實行ノ保証ニ付キ適當ナル方法ニテ言明セラルルノ道ヲ求メタシト申出タリ

其手続ヲ如何ニスペキ哉此暗号ニテ直ニ御指揮ヲ乞フ

六四一 二月二十五日

(西原龜三(北京出張中)ヨリ  
本野外務大臣宛)

團匪賠償金及關稅引上ニ閔スル中國ノ希望ニ

對シ日本政府ヨリ實行ノ保証ヲ得度キ旨ノ曹

汝霖申出ニ付詳報ノ件

拝呈陳者曹汝霖氏昨夜來訪語ル処ニ依レバ独逸ヨリ左ノ意味ノ回答ヲ二十三日独逸公使ヨリ支那政府へ伝ヘタル趣ニ候

最モ親厚ナル友邦ヨリ友誼ナル勸告ヲ領ス吾宣言ハ之ヲ取消ス能ハズト雖中立國ノ船舶ニ對スル措置ハ適當ノ措置ヲ以テ緩和ノ道ヲ求ム可ク最モ親厚ナル貴國ガ国交断絶ノ如キ拳ニ出テザルハ信シテ疑ハザル處貴我ノ関係ハ更ニ商議ノ道アル可ク云々

ト回答ヲ領セルニ對シ黎總統ハ此回答ナレバ中國ノ面目ハ

保維セラル可クト称シ益々怪ム可キ態度トナリツツアリ是ハ実ニ恥カシキ話ナルモ貴下ニハ何事モ無腹蔵相談スル間柄ニ付キ御話スル訳ニテ他ニ洩シテ吳レテハ困ルト附言致

候更ニ馮副總統ハ昨夜(二十三日夜)段總理ト会談シ其席ニ自分(曹氏)始メ高等顧問列席セリ而テ馮ハ日本ノ野心ヲ云々シテ烈シク逼リタリ故ニ段總理ハ章公使ヨリ通牒ノ

日本政府ノ声明ヲ告ケ日本ハ此声明ヲ無視セザル可ク自分ハ今日ニテハ日本ノ誠心ヲ信用スル外ナシト答ヘ更ニ馮ヨリ日本陸軍ハ中國ト兵器ノ共通統一ヲ希望シ而テ其実權ヲ握ルコトヲ考ヘツツアルヲ知レリ若シ協商國加入ノ場合及中國ノ必要ヨリシテ兵器廠ヲ拡張セントセハ其場合日本ノ野心ヲ逞スルニ至ラザル歟ト反問セルニ對シ段總理ハ自分

(曹氏)ヲ顧ミ其意見ヲ糺セルニ依リ自分ハ吾ニシテ誠意誠心ナランニハ日本モ必ズ我儘ヲセザル可シト答ヘ置ケリ而シテ馮ハ未タ賛否ヲ表セザルモ本日(二十四日)徐世昌ト會談シ(徐世昌ハ病気ニテ馮ヨリ其邸ヲ訪ヘリ)更ニ段總理カ徐ヲ訪問スルコトニナリ居ルヲ以テ其間決定ヲ見ルニ至ル可キヲ告ケ而シテ日本ノ好意タル

一、對協商國團匪賠償金支払延期ノコト

一〇 中国問題ニ閔スル西原龜三報告雑件 六四一

但シ支那ハ式十年間ヲ延長シ割賦支払トスルカ又ハ五ヶ年間無利息支払ヲ停止シ適次延期スルカノ二途ヲ望ム旨附言致候

二、對独逸、壞國團匪賠償金ノ取消保証ノコト

三、關稅ヲ既製品七分五厘未成品五分ノ実値率ニ改定承諾ノコト

但シ拾ヶ年ヲ限り全國ノ釐金税ヲ廢止シ老ヶ年内ニ少クモ三ヶ省ノ税制改正ニ着手スルコトヲ約定シ尚五、六種品ノ輸出税ヲ同時ニ免除スルコト

尚支那政府ハ釐金税ヲ全國ニ廢止セル場合ハ英ノ「マッケー」條約ニ準シ老割式分五厘ニ改定スルコトヲ声明シ協商國ノ同意ヲ求メ置キタキコト

右三問題ニ對シ支那ハ宣戰布告前ニ日本政府ヨリ是カ實行ノ保証ニ付キ適當ナル方法ニテ言明ヲ求メタシ而シテ其方法手続ヲ如何ニス可キ哉自分ニ於テ承知シタシト申出候ニ就テハ別紙ノ通り直ニ閣下ニ打電シ御指揮ヲ請ヒタル次第ニ御座候

更ニ曹汝霖氏ハ弥々宣戰ニ決心スルニ於テハ先ツ金ヲ準備セサル可カラズ而シテ交通銀行ニ國庫債券ヲ担保トスル金

式千万円ノ借款ヲ引受ケラレ度尤モ此金ハ準備金ニシテ直ニ必要スルニ非ス從テ大部分ハ日本ニ預金シ置クコトニナル可ク亦段総理ハ此場合日本ニテ多少軍器ノ供給ヲ仰キ度キ希望アルヤモ知レス其場合ハ此支払ニモ充テザル可カラズ就テハ予メ利息年限等ノ条件ヲ承知シタント申出候間是亦別紙ノ通り大蔵大臣宛照会セル次第ニ有之候

要スルニ独逸ノ活動ハ一朝一夕ノモノニ非ス馮ト云ヒ黎総統ト云ヒ其間ノ消息ニ基クモ亦總統府秘書長丁世驛、前内務總長孫洪伊、議員馬君武等力主トシテ独逸側ニ左袒シ日

本排斥ニ努メツツアルノ状吾ハ段総理ト徐世昌ヲ中心トスルモ何分從前ノ積悪ハ一朝ニシテ払掃スル能ハス殊ニ日本新聞ノ不謹慎ハ支那側ノ反感ヲ挑発スル少カラズ幸ニ吾北京駐派首脳ハ一致ノ行動ヲ取リツツアリ恁クモ適當ノ行動ヲ致居候モ閣下ヨリノ伝達トシテ二十三日大蔵大臣ヨリ接受セル御旨趣ノ如キ意想ヲ以テ吾々ノ活動ヲ掣肘セラルアラバ遺憾ナガラ帝国ノ施為ハ対敵タル独逸ノ活動ニ比シ其及バザルノ遠キ遂ニ怨ヲ呑ムナキヲ保シ難ク候既ニ大体ニ於テ大勢ヲ釀（約四百字脱）

別紙切抜<sup>金</sup>ハ満洲日日新聞ト北京日報ニ候即チ満日ニ結局吾

海陸軍出動ナル東京電報ヲ掲載セルニ対シ北京日報ニ転載シ満日ハ関東都督府ノ機関新聞ニテ日本カ支那ノ協商國加入運動ノ所以ヲ知ル可シトシ暗ニ日本ノ野心ヲ流布シ支那人ノ反感ヲ煽動シツツアル義ニ候要ハ吾新聞記事ニ対シ政府ハ適當ナル拘束手段ヲ講スル最モ緊要トスル処ニ候

註 本文書ニ添附セラレシ別紙及切抜ノ控保存セラレアラズ

#### 六四二 二月二十六日 西原亀三（北京出張中）ヨリ 本野外務大臣宛（電報）

##### 馮副総統段総理等中國ノ協商國加入贊成、黎

昨日馮副総統段総理徐世昌王士珍会議ノ結果日本ノ好意ニ基キ協商國加入ヲ一致決定シ馮ヨリ黎総統ニ二回言上更ニ本日右一同ト梁啓超共同言上セルニ黎ハ中立ヲ主張シ遂ニ未決ニテ散会シ段ハ尚進テ画策シツツアリ黎ノ反対ハ独逸公使ノ煽動ナルハ明ニシテ此際協商國公使ノ友誼的加入勧告ハ最モ有効ナリトシ曹、梁ノ意見ヲ聞キ芳沢氏ト協議ス承知乞フ

#### 六四三 二月二十七日 西原亀三（北京出張中）ヨリ 本野外務大臣宛

西原亀三（北京出張中）ヨリ

##### 中國參戰ニ関シ馮副総統段総理等ト黎大総統

##### トノ意見対立ノ状況、局面打開ノ工作等ニ關

##### シ報告ノ件

拝呈陳者昨日午後四時過ギ曹汝霖氏來訪告ケテ曰ク

昨日（二十五日）段総理ハ馮副総理徐世昌王士珍ト会談シ段総理ヨリ現在四圍ノ状勢ハ中國ノ中立ヲ許サズ進テ協商國ニ加入シ独逸ニ宣戰ヲナスヨリ外ナシ殊ニ日本ノ好意タル團匪賠償金ノ延期対独賠償金ノ取消保証関稅ノ改定ハ此

機会ニ於テ日本ノ援助ニ待チ中国國政ノ改革ヲ図ルヲ以テ中國唯一ノ政策ナリト主張シ徐世昌亦同意見ヲ唱ヘ恁クテ馮副総統モ一同カ此決心ナルニ於テハ自分モ贊成ス可シト

称シ茲ニ議一決シ恁クテ馮副総統ハ同日（二十五日夜）黎

総統ニ面シ更ニ本日（二十六日）四時間ニ涉リ説服セルモ

総統ハ嚴トシテ応セズ自ハ大總統ヲ辞スルモ協商國加入ヲ承知セズト唱ヘタルヲ以テ唯今（午後四時）馮副総統ハ段

総理、徐世昌、王士珍、梁啓超及蔭昌ト共ニ大總統ニ面謁會議ヲ開キツツアリ而テ其結果ハ知ル可カラズト雖モ黎大

總統ハ飽迄承認ヲ拒ムモ知ル可カラズ然ラバ段総理退クカ大總統カ自決スルカノ両途トナリ延テ中国ノ運命ハ更ニ危

陥ニ陥リ殊ニ段総理並徐世昌力堅ク決心セシ所以ノモノハ一二寺内伯爵ヲ信任セルニ存シ誠意誠心ナル寺内首相ト握手シ以テ徹底セル日支親善ヲ実行センコトヲ決心シ茲ニ至レルモノ此場合ニ於テ段総理ヲ窮地ヨリ脱セシムルノ途ナキカトノ相談ニ対シ小生ハ熟考ノ末茲ニ至レバ不得已ヲ以テ協商國公使ニヨリ友誼的加入共同勧告ヲナスヲ以テ段総理ヲ援護スルノ所以トハナラズ哉ト談シ候處自分（曹氏）モ亦此一方法ヲ適切トセズ哉ト信ス兎モ角總統府会議ノ状況ヲ更ニ報告スルヲ以テ篤ト考慮シ置キ吳レトノコトニテ一旦曹氏ト別レ申候

恁クテ武官室ニテ芳沢代理公使斎藤少将坂西大佐ト会同シ曹氏ノ報告ト所説ヲ告ケ相談ノ結果恁ノ如ク馮副総統段総理初メ一同カ決心スルニ至リタルニ拘ラズ大總統カ承認セザル如キアラバ其結果ハ由々敷事態ヲ發生ス可キヲ以テ其際ハ共同勧告ヲ先ツ最先トスル旨ノ一致ヲ得其旨予メ芳沢代理公使ヨリ報告セラレタル処ニ候

更ニ午後拾時（二十六日）梁啓超氏カ總統府ヨリ帰邸セル

報ニ接シ直ニ坂西大佐ト共ニ訪問シ曹汝霖氏モ来邸其経過ヲ語ル処ニ依レバ總統府会議ニテハ段総理カ現大勢ハ協商

國加入ノ一途アルノミヲ述べ徐世昌氏モ其意見ヲ述べ馮副總統ハ今日ハ進ム可クモ退ク能ハズト唱ヘ梁啓超氏ハ一時

間余ニ涉リ中立維持説加入反対説ヲ駁シ協商國加入ノ中國ノ現状ニ處シ最モ緊要ナル所以ヲ述べタルニ黎大總統ハ中立維持ノ必要ヲ述べ其理由ハ

一、共和ノ主義ニ基キ國論ノ一致ヲ求メザル可カラズ然ルニ各省督軍省長ニ反対者アリ亦国会ニモ反対者アルコト

二、独逸ノ潛航艇戰ハ必ス奏効シ現ニ奏効シツツアリ故ニ英國ハ二、三ヶ月内ニ食料欠乏ニ仍リ仏蘭西ハ之ニ次キ

六ヶ月内ニ届伏シ露西亞ハ単独媾和ヲ成スニ至リ独逸ハ六分ノ勝トナル可シ今日中國カ協商國ニ加入スルコトハ危險ナルコト

三、亞米利加ハ国交断絶後德国トノ間大ニ緩和シ美德間ハ遂ニ商議ヲ開クニ至ル可キ傾向ナルコト

四、協商國加入ハ外交ノ独立ヲ毀損スルニ至リ殊ニ日本ノ干涉ヲ招クノ不利アルコト

例へハ最近ノ日本新聞ニアリシ如ク日本ハ軍艦ヲ支那沿岸ニ派遣シ独逸人ノ行動監視自國民ノ保護ニ名ヲ藉リテ其威ヲ逞フスルノ虞アルコト

## 五、独逸ノ回答ニテ支那ノ抗議ニ對スル体面ハ維持セラレ

タルコト

黎總統ハ大要右ノ旨趣ヲ以テ中立ヲ主張シタルニ對シ馮副總統ハ第一ノ督軍省長ノ反対ハ自分カ引受クルヲ以テ国会ハ梁啓超氏ニ引受ケヨト談セルニ對シ梁ハ一言ニテ承諾シ

馮ハ然ラバ国内ノ一致ハ敢テ杞憂ヲ要セズト論シ更ニ其他ノ説ニハ夫々理由ヲ示シ説明セルモ總統ハ承服セズ亦蔭昌（妻ハ独逸人ナリ）モ反対説ヲ唱ヘ中立維持ヲ主張シ遂ニ

当日ハ未決ニテ散会セシ事情ニ候

更ニ總統反対ノ内容ヲ聞クニ独逸公使ハ屢々晉謁シテ意見ヲ述べ殊ニ黎ノ與党タル丁世鐸、孫洪伊、馬君武等ハ對北洋派トノ政争ニ有之可クモ彼等ハ独逸公使ト通謀シ画策シツツアルハ疑ナキ處且ツ黎總統御傭ノ独逸種米人女画工ハ

余程黎ニ親シク日々面謁シツツアリ而テ女画工ハ独逸公使ニ買収セラレ居ル模様ナリトノ總統府内ニ於ケル評ナル趣ニ候又蔭昌ハ其妻独逸人ナル關係上武官長トシテ恒ニ總統ニ親近セル点ニ於テ必ず親獨ヲ勧説ス可ク要スルニ独逸ノ活動ハ總統府内ニ充满シツツアリシモノト相見エ此現状ヲ胚胎セル処ニ候

恁クテ段総理ノ計画ハ今明日（二十七日カ二十八日）國務院會議ヲナシ其決議ニ仍リ閣員一同總統ニ面謁シ之カ承認

ヲ求メ尚承認セサル場合ハ元老並閣員更ニ國會議員ノ重ナル者ヲ会同シテ總統ニ逼ルノ考ナリトノコトニ御座候

此実状ニ基キ梁、曹兩氏ト坂西大佐並小生熟議ノ結果此場合ニ於テ前述協商國公使ノ友誼的加入勧告ハ最モ有効ナル

可シトノ相互ノ意見ニ依リ更ニ段総理ノ意向ヲ聽シ決スルコトヲ約シ其回答ハ本日（二十七日）午前拾時トシ散会候

事情ニ御座候

恁クテ芳沢代理公使齋藤少将ト会同前述形勢ヲ告ケ芳沢氏ヨリ委曲閣下へ報告ヲ請フト共ニ本日協商國公使會議ニ於

テ夫々措置方ヲ相求メ置候成行ニ御座候從テ小生ヨリモ別紙閣下へ打電候義ニ有之候時ニ二十七日午前二時二十分

而テ本日午前十時三十分曹汝霖氏ヨリ協商國ノ友誼的加入勧告ハ機宜ニ適シ段総理モ承知ナル旨報告ニ接シ直ニ芳沢氏ヘ伝ヘ夫々処置ヲ求メ申候

然ルニ二十四日発閣下ニ照電セル日本ノ好意タル三問題ノ日本政府ノ實行保証言明方法及同時大藏大臣閣下ニ電照セル二千万円借款ノ件遲クモ今朝ハ御返電ニ接ス可ク期待シ

日本問題ニ關スル西原龜三報告雑件 六四三

## 一、關稅五分ノ實値率改定ハ既定ノ事実ニシテ條約ノ正条

ニ明記セル処ニシテ異議ヲ日本獨リ唱フルノ余地ナク唯既製品ニ二分五厘ノ増率トナル而已ナルコト

二、現在上海方面南方一帶ハ日本綿糸輸出地ニシテ北清満洲ハ綿布ノ輸出地タルコト故ニ關稅改正ニ南方輸出ハ影響ナク北方ニ關係アルコト

三、北方ノ關係ニ對シ東三省、直隸省、山東省ハ日本綿布ノ大需要地ニシテ此三省ニ直ニ釐金稅ヲ免除セバ日本綿

布ハ独リ優勢ヲ占ムルコト

四、三省ノ釐金廢止、稅制整理ノ着手ハ幣制ノ遷善ヲ必要トシ從テ金貨ノ流通ハ日支間ノ為替ニ一大進歩ヲ与ヘ殊

ニ南方ノ銀流通地ト幣制遷善地トハ恰モ現在ノ日支為替ノ実状ト同一状態トナリ日本品ノ勢力ハ自ラ扶植セラルノ結果トナリ恁クテ一省一省釐金廢止税制整理及幣制遷善ヲ実行セバ日本ノ經濟的勢力ハ不言ノ裏ニ扶植セラルルコト

五、棉花、羊毛、鉄及鉄鉱石其他二、三種ノ輸出税ヲ免除

セシメ一面税制ヲ整理セバ自然生産ノ興起トナリ直隸山東河南ニ米棉種作付ヲ獎励（袁世凱ハ河南ニ之ヲ獎励セルニ成績良好ニシテ現在相当ニ產出シ山東、直隸ハ現棉作地ナリ）セシメバ吾カ棉花ノ調節ハ茲ニ實行セラレ亦蒙古ニ羊ノ飼養ヲ獎励セシメバ同一結果トナリ且鉄及鉄

鉱石ノ輸出税免除ハ吾製鐵ニ偉大ナル關係ヲ生スルコト

恁クテ關稅改定ノ結果吾紡績業ハ現在以上ノ有利ナル地位

ニ至ル可キハ明瞭ナル事実ニシテ此内容ヲ逐一明示スルアラバ同業者ハ喜ンテ贊意ヲ表スルハ信シテ疑ハザル処ニ御座候而シテ此内容ヲ一般ニ表示スルコトハ反ツテ上海方面ニ於ケル紡績業者竝支那綿布業者ノ反対ヲ招クハ勿論長江ニ勢力ノ自發的ニ幣制遷善ニ至ラシムル方策ヲ求ムルヲ要シ自然的ニ吾勢力扶植ノ大勢ヲ育成スルニ努力スルコトヲ

六四五 二月二十八日 西原亀三（北京出張中）ヨリ

### 國務院會議ニテ協商國加入決議ヲ黎大總統承認ノ旨情報ノ件

只今梁啓超ヨリノ通知ニ依レバ今日國務院會議ニテ協商國加入ヲ決議シ大總統モ之ヲ承認セリト

六四六 三月一日 西原亀三（北京出張中）ヨリ

### 中國參戰案三月五日国会ニ提出ノ予定ナル件

梁啓超曰ク來ル土曜日外交後援会ニテ後援ノ決議ヲナシ月曜日國會ニ提出シ宣戰布告ノ予定ナリ國會通過ハ大丈夫ナリト尚未極秘

註 月曜日ハ三月五日ナリ

六四七 三月一日 西原亀三（北京出張中）ヨリ

### 交通銀行二千万円借款仮契約シ差支無キヤ問合ノ件

交通借款貳千万円利子年八分其他前条件ニテ仮契約シテヨキ哉ウナニテ御指揮ヲ乞フ

一〇 中国問題ニ関スル西原亀三報告雑件 六四五 六四六

六四七 六四八 六四九

六四八 三月二日 勝田大藏大臣（北京出張中）ヨリ

### 中國關稅引上問題ニ關シ中國側ニ誤解ナキ様

#### 説明方訓令ノ件

關稅引上ゲノ件ハ當業者トノ意思疏通ヲ必要トスルノミナラズ総選舉間際ノコト故直ニ之ヲ公然タル問題トスルコトハ反対党ハ之ヲ政府攻撃ノ具ニ供シ國民ノ公正ナル判断ヲ眩惑セシムル恐レアルヲ以テ時機ヲ見ルノ必要アルモ政府ガ本件ヲ眞面目ニ考慮スルハ勿論ナレバ當地新聞紙等ノ論評ニヨリ先方ニ誤解ナキ様貴下ヨリ説明シ置カレ度シ

六四九 三月四日 西原亀三（北京出張中）ヨリ

### 中國參戰ニ關シ黎大總統國務會議決議ニ反対

#### シ段總理辞表提出ノ件

昨日國務會議ニテ國交斷絕協商加入ヲ二段ニナスベク決議シ段總理ハ先ツ日本政府ト内密ニ協議ヲ遂クヘキ訓電ヲ章公使ニ發セントシ之ヲ黎總統ニ示シタルニ協商加入ヲ意味セリトテ反対シ更ニ國務會議ニ附スヘク命シ本日會議ノ結果總理ノ提議成立シ又參衆兩院議長出席國會通過ヲ保証

肝要ト致候從テ本問題ニ對シテハ生帰朝後東洋紡績会社常夫君鐘淵紡績武藤山治君日清紡績会社宮嶋清四郎君ノ三氏ニ内容ヲ懇談スルコトヲ許サルアラバ必ズ賛成セシメ可申候支那輸出ノ綿糸布ハ此三社ニテ七割以上ヲ占メ居り候間自然全紡績業者ニ以心伝心反対ハ消滅可致候但シ此内容ハ外ニ洩レザル様御留意被下度候

更ニ曹汝霖梁啟超ノ二氏ハ小生ニハ無腹藏何事ニ拘ラズ打明相談致候故ニ總テノ内容モ自ラ明瞭トナル事情從テ小生カ深ク踏込ム如クニ相見工候モ決シテ其意志ニハ無之即チ柱トナリテ相談ニ応スルタメ彼カ自ラ頗ルニ至ルハ必然ノ情御諒知被下度候

六四四 二月二十七日 西原亀三（北京出張中）ヨリ

### 中國ノ關稅改正ハ我紡績業者ニ有利ナル旨進言ノ件

紡績屋ノ關稅反対ハ予定ノ通り実行セバ吾紡績ハ現在ヨリ有利ナリ吾帰レバ東洋紡鐘紡ニ贊成セシム可シ御安心断行ヲ望ム外相ヘ伝ヘ乞フ

セルモ黎ハ断乎トシテ言ヲ約法ニ借り之ヲ拒絶セリ  
段ハ激論ノ末辞表ヲ提出天津ニ赴ケリ

六五〇 三月四日 西原龜三(北京出張中)ヨリ  
勝田大蔵大臣宛(電報)

### 黎總統ノ中國參戰案反対ノ対策ハ協商国共同

#### 勧告ヲナスノ外ナキ旨進言ノ件

明日国会ニ提出スヘキ予定ハ全然見当付カザルニ至レリ之  
レ黎總統ノ反対運動ニ基クモノ挽回策ハ協商国共同勧告ニ  
求ムルヨリ外ナシト信ズ外相へ伝ヘ乞フ

六五一 三月四日 西原龜三(北京出張中)ヨリ  
本野外務大臣宛

### 中國參戰問題ハ黎大總統派ノ画策ニ依リ阻止

#### セラレ居ル状勢報告ノ件

拝呈陳者爾來段總理ヲ始メ梁啓超、曹汝霖氏等ノ活動ト一  
面連合國公使ノ共同文書ヲ仏國公使ヨリ陸徵祥ニ手交シタ  
ルト相俟テ段總理ノ予定計画タル國務院會議ニ於テハ二十一  
八日加入戦團ヲ可決シ直ニ黎總統ニ一同晋謁セルニ対シ黎  
ハ國務院會議ニテ議決セル上ハ國会ニテ賛成スルアラバ承  
認ス可ヘシト答ヘタル趣ヲ以テ茲ニ予定ノ行動トシテ三日

(土曜日) 外交後援会ニテ現内閣ニ對スル外交後援ノ決議  
ヲナシ懲クテ五日(月曜日)国会ニ提出ス可キ旨委曲梁啓  
超氏ヨリ報告ニ接シ且国会ハ丁世嶧、孫洪伊、馬君武等ノ  
両院ヲ通シ衆百名内外ノ反対ニテ其他ハ外交後援会ニ属シ  
輿論ハ自分(梁)責任ヲ以テ纏メルヲ以テ心配ナシトノコ  
トニテ先ツ安堵ス可ク存シ次イテ必要スル交通銀行ニ國庫  
債券ヲ担保トスル借款ノ協議ヲ進メ専ラ進行ノ方面ニ努力  
申居候處昨日(三日)曹汝霖氏ヨリ形勢一変ノ報ニ接シ爾  
來防戦ニ努メツツアル事情ニ御座候其経過ニ曰ク

二十七日、二十八日ノ國務院會議ノ決議ニ基キ政府ノ所信  
ヲ地方督軍省長ニ通電セルニ対シ黎大總統ハ自ラ別ニ地方  
督軍省長ニ電報シ國務院ハ加入戦團ヲ可決セルモ自分(黎)  
ノ内心ハ中立維持ヲ主張スル旨趣ヲ告ケタルニ依リ地方督  
軍省長ハ其去就ニ迷フニ至リタルコト  
是等ハ丁世嶧、孫洪伊、馬君武等黎總統近親者ニシテ段總  
理反対派ノ画策ニ仍ルモノナルコト  
独逸公使ハ二日外交部ヲ訪ヒ覺書ヲ示シ(船津氏ノ外交部  
ニテ調ベタル處ニ依レバ口頭ナリト云フ又前報曹氏ノ談タ  
リシ独逸ノ回答ハ駐独支那公使ノ電報ニシテ北京独逸公使

国会ハ無事通過ス可キモ式段トナス場合ハ加入勧告ニ基キ  
國務院總統府ハ一致スルトスルモ國会ハ前述(2)(3)ノ握手ニ  
仍リ甚々困難ニ至ル可キ恐レアリトノ意見合致ニ候  
右曹氏ト會見ノ事情ハ斎藤少將坂西大佐モ同一意見ニ有之  
此際帝國ノ立脚地ヨリ一氣呵成ニ非ズンバ後日ニ累ヲ貽ス  
可シトナシ別紙<sup>(參)</sup>ノ通り夫々打電セル事情ニ御座候

更ニ今朝曹氏ノ報ニ仍レハ明日(五日)国会ニ提出ス可  
審ナリシ加入戦團ハ勿論國交斷絶ノ提出モ今ヤ未知数ト相  
成リ候模様從テ其旨報電致候

要スルニ支那政府ノ事ハ恰モ賽河原ノ石積ニ等シク感シ申  
ニテ先ツ國交斷絶ヲナシ更ニ熟考ノ後加入戦團ニ至ル可シ  
ト議決セル旨告ケ申候

然ルニ曹氏ト熟談シ現在ノ形勢ヨリ察スルニ世論ハ(1)直ニ  
加入戦團ヲ主張スルモノ(2)國交ヲ断絶シ米國ニ倣ハントス  
ルモノ(3)中立ヲ飽迄維持セントスルモノノ三派實在シ而シ  
テ現在(1)(2)ハ殆ト其歩調ヲ一ニシ一氣呵成ニ加入戦團ニ進  
メバ必然ノ勢トシテ同一歩調ニ至ル可キモ一度國交ヲ断絶  
セバ(2)ハ茲ニ其目的ヲ達シ更ニ進ムノ場合(2)ハ遂ニ(3)ト握  
手スルニ至ラザル歟トノ疑義ニ付キ曹氏モ同一意見ニシテ

結局今日ノ形勢ヨリ察スルニ加入戦團ニ至ルニハ協商國ノ  
共同加入勧告ヲ必要トシ而シテ其時機ハ最モ現在ヲ必適ト  
シ即チ共同加入勧告ニ仍リ黎總統ノ反対ハ自然消滅ニ至リ  
手スルニ至ラザル歟トノ疑義ニ付キ曹氏モ同一意見ニシテ

メバ必然ノ勢トシテ同一歩調ニ至ル可キモ一度國交ヲ断絶  
セバ(2)ハ茲ニ其目的ヲ達シ更ニ進ムノ場合(2)ハ遂ニ(3)ト握  
手スルニ至ラザル歟トノ疑義ニ付キ曹氏モ同一意見ニシテ

六五二 三月五日 西原龜三(北京出張中)ヨリ  
勝田大蔵大臣宛(電報)

### 大總統府國務院間ノ確執ニ鑑ミ黎總統ニ動乱

#### 防止ノ忠告方進言ノ件

今ヤ内閣ハ總辭職ノ形トナリ府院ノ調和遷延セバ紛乱ニ至  
ル恐ナシトセズ故ニ袁ノ死セル時ト同一態度ニテ黎總統ニ  
各國公使共同又ハ日本公使ヨリ動亂防止ノ忠告ヲナスハ時

局ヲ拾収スルニ最モ有効ナリト信ズ外相へ伝へ乞フ

六五三 三月五日

西原亀三(北京出張中)ヨリ  
本野外務大臣宛

中国参戦問題ニ関シ黎總統段総理ノ意見并  
格、段ノ辞表提出及其後ノ收拾策ニ付報告ノ

件

拝呈陳者一昨三日以来雲翳漲り時局ノ拾収即チ黎總統ヲシテ正道ニ導クハ協商国公使ノ共同加入勧告ヲ最モ有効ナリト信シ其旨大蔵大臣宛打電外相閣下へ伝達ヲ請ヒタル処ニ候然ルニ俄然トシテ昨午後総理ノ退京天津ニ赴クニ至ル時局転進ノ不得已結果ニ候茲ニ至ル内容ハ左ノ如クニ御座候段総理ハ加入戦團ノ牢乎タル決心ヲ以テ時局ニ応セントシ既報三日ノ國務院會議ニ於テ国交断絶ヲナシ更ニ加入戦團ニ至ル可ク二段ニ進行スルノ決議ヲナスニ至リタル結果先ツ其順序トシテ内密ニ日本政府ニ協議スルヲ必要トシ其旨ヲ章公使ニ訓電ス可ク三日午後其電文ヲ秘書長張国淦(ラシテ黎總統ニ内覽セシメタル處(重要ナル事件ハ黎總統内覽スル慣例ナリト)其文句ニ国交ヲ断絶シ更ニ加入戦團云々ノ字句アルヲ捉ヘ殊ニ日本ニ予メ秘密ニ協議スルハ穩當ヲ

欠ク云々ノ言ヲ以テ拒絶セルニ対シ段総理ハ再び秘書長ヲ遣ハシ日本トハ特殊ノ関係ヲ云為シテ説カシメタル処然ラバ國務會議ニ依ル可シト命シ從テ昨日(四日)午前國務会議ヲ開キ段総理ハ國務員ヲ帶同シ黎總統ニ面シ外交方針ハ機宜ヲ制スルヲ切要トシ最モ関係ヲ有スル親交国ニハ予メ其方針ニ準シ内協議ヲナスハ当然ナル旨ヲ以テセルモ大綱統ハ加入ノ字句ハ宣戰ト異ルナシ宣戰媾和ハ大綱統ノ權限ニシテ約法ニ明カナリト唱ヘ段総理ハ大綱統ノ約法解釈ノトキ其不条理ヲ責メ懲クテ激論ノ末教育總長范源濂進テ大綱統ノ解釈ニ依レバ吾等國務員ノ存在スル必要ナシト論シ卓ヲ拍テ退出シ段総理又此上ハ職ヲ退クヨリ道ナシトシテ退出帰邸シ直ニ辞表ヲ大綱統ニ使ヲ以テ呈セシメ折柄陸軍部ノ招待会ニ出席セル馮副総統ヲ訪ヒ会談ノ上臨時汽車ヲ命シ午後二時四十分天津ニ発程仕候

要スルニ黎總統ハ其親近セル丁世嶧、孫洪伊等ノ眩惑ニ乘セラレ國家ノ如何ヲモ世界大勢ノ傾向ヲモ知了スル処ナク恁ル盲動ヲ恣ニセルニ存シ可申別紙北京日報ハ總統府ノ機関新聞ニシテ昨四日發行其論説ハ勿論別項「大綱統主張不加入」ト記載シ就中不得已時惟有讓賢路云トシテ暗ニ大綱

統ノ退讓ヲ諷示セルニ見ルモ其間ノ暗流漲リツツアルヲ付度シ得ベクト存候

更ニ段総理並國務院側ハ其去就ハ当然トシテ此機會ニ於テ黎總統ノ國務院ニ対スル掣肘ヲ根本ヨリ艾除スルノ考案モ

窃ミツツアル可ク恁クテ明六日国会ニ於テ段総理ノ外交方針ハ適切ニシテ国会ノ満足スル処ナリトノ議決ヲナス可ク画策中ノ模様ニ有之而シテ黎總統ニ國務院ノ議決ヲ尊重シ一切容喙セズトノ質言ヲ取り之ヲ土産トシテ段総理ヲ迎フ

可ク馮副総統ノ考慮ニシテ參議院衆議院両院議長奔走尽力中トノコトニ御座候然レトモ一面黎總統ノ腹心タル軍人側陳光遠、江朝宗、張一爵等ノ独逸側ニ近キ面々ハ黎總統ヲ擁シテ何等乎画策シツツアリトノ謠言モ有之若シ總統府國

務院間ノ調和ニシテ急速復旧スルニ非サレバ如何ナル動乱ヲ惹起スルモ知ル可カラズト存候即チ内閣ハ大綱統ト衝突シ総辞職ノ形トナリ無政府ノ状態ニ御座候間此時局ニ鑑ミ

拝呈陳者一昨三日以来雲翳漲り時局ノ拾収即チ黎總統ヲシテ正道ニ導クハ協商国公使ノ共同加入勧告ヲ最モ有効ナリト信シ其旨大蔵大臣宛打電外相閣下へ伝達ヲ請ヒタル処ニ候然ルニ俄然トシテ昨午後総理ノ退京天津ニ赴クニ至ル時局転進ノ不得已結果ニ候茲ニ至ル内容ハ左ノ如クニ御座候段総理ハ加入戦團ノ牢乎タル決心ヲ以テ時局ニ応セントシ既報三日ノ國務院會議ニ於テ国交断絶ヲナシ更ニ加入戦團ニ至ル可ク二段ニ進行スルノ決議ヲナスニ至リタル結果先ツ其順序トシテ内密ニ日本政府ニ協議スルヲ必要トシ其旨ヲ章公使ニ訓電ス可ク三日午後其電文ヲ秘書長張国淦(ラシテ黎總統ニ内覽セシメタル處(重要ナル事件ハ黎總統内覽スル慣例ナリト)其文句ニ国交ヲ断絶シ更ニ加入戦團云々ノ字句アルヲ捉ヘ殊ニ日本ニ予メ秘密ニ協議スルハ穩當ヲ

欠ク云々ノ言ヲ以テ拒絶セルニ対シ段総理ハ再び秘書長ヲ遣ハシ日本トハ特殊ノ関係ヲ云為シテ説カシメタル処然ラバ國務會議ニ依ル可シト命シ從テ昨日(四日)午前國務会議ヲ開キ段総理ハ國務員ヲ帶同シ黎總統ニ面シ外交方針ハ機宜ヲ制スルヲ切要トシ最モ関係ヲ有スル親交国ニハ予メ其方針ニ準シ内協議ヲナスハ当然ナル旨ヲ以テセルモ大綱統ハ加入ノ字句ハ宣戰ト異ルナシ宣戰媾和ハ大綱統ノ權限ニシテ約法ニ明カナリト唱ヘ段総理ハ大綱統ノ約法解釈ノトキ其不条理ヲ責メ懲クテ激論ノ末教育總長范源濂進テ大綱統ノ解釈ニ依レバ吾等國務員ノ存在スル必要ナシト論シ卓ヲ拍テ退出シ段総理又此上ハ職ヲ退クヨリ道ナシトシテ退出帰邸シ直ニ辞表ヲ大綱統ニ使ヲ以テ呈セシメ折柄陸軍部ノ招待会ニ出席セル馮副総統ヲ訪ヒ会談ノ上臨時汽車ヲ命シ午後二時四十分天津ニ発程仕候

要スルニ黎總統ハ其親近セル丁世嶧、孫洪伊等ノ眩惑ニ乘セラレ國家ノ如何ヲモ世界大勢ノ傾向ヲモ知了スル処ナク恁ル盲動ヲ恣ニセルニ存シ可申別紙北京日報ハ總統府ノ機

関新聞ニシテ昨四日發行其論説ハ勿論別項「大綱統主張不加入」ト記載シ就中不得已時惟有讓賢路云トシテ暗ニ大綱

六五四 三月六日

西原亀三(北京出張中)ヨリ  
本野外務大臣宛

段総理辞職後ノ時局ニ付黎總統ハ馮副総統徐世昌王士珍ト協議ノ結果段祺瑞復職ヲ決定ノ

件

拝呈陳者段総理退京後ノ形勢ハ甚タ不穏黎總統ヲ囲繞セル策士連ハ此機ニ乘シ段祺瑞氏ヲ退ケ之ニ代ユルニ北洋派ヲ以テ北洋派ヲ制スルノ策トシテ王士珍(王ハ当初対独抗議ニ賛セズ亦国交断絶加入戦團ニモ其態度鮮明ヲ欠キシヲ以

テ某日斎藤少将ハ事ニ托シ王ヲ訪問シ日本ノ意向ヲ告ケタル前後ヨリ贊成セル事情ナリ)ヲ擬シ陳光遠、江朝宗(共ニ軍人)ノ徒ハ昨午前馮副総統ヲ訪ヒ王士珍ノ國務総理ヲ勧説スルアリ孫洪伊、丁世驛等ニ属スル國會議員五十余名ハ總統府ニ押寄セ黎總統ヲ威嚇シ以テ段反対ノ氣勢ヲ煽リ更ニ外交後援会ニ属スル國會議員ハ各派集会夫々段總理引留メヲ擬議スルアリ暗雲ハ北京ノ巷ヲ鎖シ候處黎總統ハ馮副總統、徐世昌、王士珍ノ柱石ヲ昨五日午後六時晚餐会ニ招待シ拾時三十分ニ至ル長時間ノ懇談ハ幸ニ暗雲ヲ清掃スルノ因ヲ造成スルニ至リ申候其内容トシテ曹汝霖氏ノ報スル処ニ依レバ

黎總統ハ徐世昌ニ國務総理トナリ且王士珍氏ニ陸軍總長ト

シテ時局ヲ匡救シ吳レト談シタルニ徐氏力堅ク之ヲ拒絶セルニ依リ更ニ王氏ニ國務總理ヲ以テ擬セルニ王氏ハ陸軍總長ハ其任ニ耐ヘ能フトスルモ總理ハ其任ニ非ズト拒绝シ恁

クテ黎ハ副總統ニ如何ニセバ可ナラン歟ト談シ茲ニ於テ副總統ハ此時局ニ處シ克ク其任ニ耐フルモノ段氏而已ト答ヘ而シテ段氏ヲ復職セシムルニハ大總統力全然段總理ヲ信任

シ責任内閣ノ實行ヲ誓フニ非ザレバ能ハズト告ゲタルニ黎

段ハ今日章公使ニ支那ハ國交ヲ断絶シ更ニ拡張スルニ仍リ左ノ件ヲ日本政府ニテ尽力アリ度旨訓電セリ

独墮賠償金取消、

協商国賠償金拾年延期、  
關稅ハ現行ノ五割増ニテ直グ実行シ且全部七分五厘ニ協定、

但シ釐金ハ拾年内ニ廃止ヲ約定シ又廃止後「マッケイ」

条約ニ仍ル  
義和團條約制限ノ或ル条文ノ停止、

然ルニ此提議ハ國務會議ト黎總統ニ對スル關係上不<sup>可</sup>得取極メタルモノ故閣下ニテ御考慮ノ上予テ御依嘱ノ

独墮賠償金取消保証、  
協商國賠償金三年又ハ五年延期、

關稅ハ既製品七分五厘未成品五分ノ割合ニ依ル從量率ニ改定シ釐金ヲ十年内ニ廃シ老年内ニ三省ノ釐金廃止税制整理ニ着手ヲ約定スルコト、

棉花羊毛鐵其他二、三輸出税免除、  
義和團條約ノ件ハ御意見ニ依ル、

一〇 中国問題ニ関スル西原龜三報告雑件 六五六

ハ一切ヲ副總統ニ囑スルヲ以テ段氏ヲ天津ニ迎ヘ吳レトノ誓言ニヨリ明朝(今六日)馮副總統ハ天津ニ出往スルコトトナリ亦徐世昌氏ノ使トシテ自分(曹汝霖氏)及陸宗輿氏ノ兩人天津ニ段氏ヲ訪フコトトナレリト

要約右ノ事情ニ有之候間昨夜(今午前一時四十分)別紙写ノ通り大蔵大臣宛報電仕候御承知被下候ト存候亦右狀況公使館ニ報告致置候間併テ転電ト存申候恁クテ段祺瑞氏モ馮副總統ノ勧説ト徐世昌氏ノ特使ニ依リ必ズ明日又ハ明後日帰京ト相成可申茲ニ予定ノ方針ニ進行シ日支親善ノ要諦ヲ築成スルニ至リ可申候而シテ今後ハ一ニ吾政府ノ努力ニ俟チ殊ニ閣下ノ双肩ニ負荷セラル處一入ノ御高配邦家百世ノ為祈ル處ニ御座候 敬具

註 別紙写ノ控保存セラレアラズ

六五五 三月七日

西原龜三(北京出張中)ヨリ

勝田大蔵大臣宛(電報)

留任決定ノ段總理對独墮國交斷絶ヲ日本ニ予

告シ団匪賠償金ノ措置、關稅引上等ニ付日本

ノ援助ヲ求ムル様在本邦章公使へ訓電ノ件

大總統ハ一切行政ニ干渉セサル条件ニテ段總理留任トナレ

右ノ範囲ニテ日本政府ハ考慮尽力スル旨キッパリ言明セラレ度旨段總理ノ意志トシテ曹汝霖ヨリ申出タリ段ハ閣下ノ言明ニヨリ直グ断行ノ模様ナリ  
尚黎總統ハ段ノ日本信賴ヲ疑ヒ日本ハ支那ノ為メニ尽力スルモノニ非ズ貴官ハ必ズダマサレルト主張シ段ハ決シテ然ラズト断言シ是レ黎段衝突ノ原因ナリ  
且閣下ノ言明ガ外ニ洩レザル様特ニ章公使ニ注意ヲ望ム委細外相へ伝ヘ乞フ  
此ノ回答ヲ待チ借款仮契約ヲナス可シ

六五六 三月八日

西原龜三(北京出張中)ヨリ

本野外務大臣宛

曹汝霖ヨリ中國ノ對独墮國交斷絶ニ當リ團匪

賠償金ノ措置、關稅引上等ニ付日本ノ援助シ

得ル範囲ヲ明言セラレタ旨申出ノ件

拝呈陳者北京ノ暗雲ハ段總理ノ帰京ニ依リ払掃スルニ至リ同慶此事ニ御座候曹汝霖氏ハ昨正午天津ヨリ帰燕シ午後五時會談ノ處左ノ件々傳ヘ申候

段總理ハ馮副總統徐世昌氏ノ努力ニ依リ黎總統遂ニ屈服シ将来行政ニハ一切干涉セザル条件ニテ留任スルコトトナリ

先ツ以テ年来ノ禍根ヲ艾除スルコトヲ得茲ニ段總理ノ強固

ナル意志ニ依リ國政變理セラルニ至ル可シ

却説去五日黎總統ト衝突ノ原因タリシ章公使ノ訓電ハ今朝  
支那政府ハ現下ノ大勢ニ鑑ミ独逸及奧太利トノ國交ヲ斷絶  
シ更ニ拡張スルコトヲ決意セリ（國交断絶ヲ更ニ拡張スル  
云々ノ語ハ曩日協商國公使共同通告ノ文句ニ依ル）而シテ  
此ノ決行ト共ニ日本政府最善ノ考慮ヲ以テ左記件々ニ対シ  
尽力ヲ仰ギ度キコト

一、独逸奥太利ニ支払フ可キ賠償金取消ノコト

一、協商國ニ支払フ可キ賠償金ヲ拾ヶ年延期セラレ度キ

コト

一、關稅ヲ全部七分五厘ニ改定ヲ承諾セラレ且課率ノ協  
定ニ老ヶ年位ヲ要ス可キニ依リ其期間現行ノ五割増ニ  
テ直ニ実行希望ノコト

但シ釐金稅ハ拾年内ニ廢止シ廢止後關稅ハ英國ノ「マ  
ッケー」條約ニ依ルコト

一、團匪條約制限ノ或ル条文ノ停止セラレ度キコト

例ヘバ天津ノ居留地二十里以内ニ支那軍隊ノ出入ヲ禁

ル處ナリ何分ニモ日本ノ野心ヲ疑フモノ充滿シ殊ニ黎總統  
ノ如キハ段總理ニ對シ貴官ハ一二日本ヲ信賴スルト雖モ日  
本ハ決シテ支那ノ為メニ尽力スルモノニ非ズ必ズダマサレ  
ルニ至ル可シトシテ再考ヲ促セルニ段總理ハ嚴然トシテ世  
界一等國ノ國務大臣ノ一言ハ千鈞ヨリモ重シ其言ヲ信ゼス  
シテ曷ゾ親厚ヲ保維シ得ル哉ト満面朱ヲ灑テ答へ是レ去四  
日黎總統ト衝突ノ因ナリシ内容ニシテ甚ダ恥入ル次第ナル  
モ曩日梁氏竝自分（曹氏）申出ノ条々ヲ段總理ニテ固守セ  
バ黎ハ勿論馮副總統王士珍等迄段總理ハ何故ニ恁ク迄日本  
側ニノミ左袒スル歟トノ疑ヲ起スニ至ル可キヲ以テ不得已  
彼等ノ提議ニ從ヒタルモノニシテ徐世昌氏モ此内容ハ克ク  
了知セル事情ニ付日本ノ好意範囲ニテ尽力スル旨外務大臣  
座候

ヨリギツパリ言明セラルヲ得バ段總理徐世昌ハ勿論馮副  
總統モ茲ニ一致シ其尽力ヲ信シ國交断絶連合加入ヲ断行  
スルヲ以テ委細小生ヨリ閣下ヘ伝達シ吳レトノ懇談ニ基キ  
別紙註大臣宛電報ヲ發シ閣下ヘ御伝達ヲ乞ヒ候事情ニ御  
座候

要スルニ反日本思潮ノ朝野ニ充满セルハ争フ可カラザル事  
実ニシテ之レ多年積惡ノ致スれ不得已結果ニハ御座候モ清

スル条文ノ如シ

然ルニ此提議ハ國務院會議ト黎總統トノ關係上不得止取極  
メタルモノニシテ段總理ノ意志ニ非サル旨ヲ告ケ（其内容  
ハ段總理ハ一二日本信賴ナリト称シ其申出ヲ緩メントセバ  
反テ其声ヲ高メル可キニ依リ其辺ノ苦衷ヨリ他説ヲ納メタ  
支那ノ現状ト将来ニ鑑ミ成シ能フ範囲ニテ尽力セラルコ  
トヲキツパリ言明セラルコトヲ懇図シ吳レト申出テ候ニ  
就キ小生ハ團匪條約制限ノ或ル条文停止ハ外交上如何ナル  
關係ナルヲ知ラザルヲ以テ云為スル能ハザルモ賠償金及閔  
稅ノ件ハ再応費下（曹氏）並梁啓超氏ト意見ノ交換ヲナシ  
且去月二十一日段總理ニ面会ノ際總理ハ昨日（二十日）梁  
氏ヨリ生ニ提示セル希望ハ（二十一日附外相宛書信ニ明ナ  
リ）自分（段氏）モ同意見ニシテ日本ノ好意アル尽力ニ待  
ツ旨ヲ述ベタル處ナリ殊ニ二十四日貴下申出ノ希望モ同一  
ニシテ（二十五日附外相宛書信ニ明ナリ）日本ニテハヨリ  
以上ノ考慮ノ余地ハナカル可シト告ケ候處夫レハ自分モ克  
ク承知セリ故ニ前ニモ申ス如ク章公使ヘノ訓電ノ条々ハ只  
希望ニシテ日本政府ノ認メテ成シ能フ範囲ノ尽力ヲ得バ足

淨潔白維々實質的日支親善ヲ支那ノ富源開発ト支那國家ノ  
擁護ニ求メントセル吾々ノ精神ニ顧ミ深ク遺憾トスル処ニ  
御座候此ノ反日本ノ空氣ヲ一掃スルハ吾力堅忍不拔ニシテ  
超俗的ノ觀念ヲ以テ所謂慈母ノ心シテ保育啓發スルヨリ道  
ナキニ有之候此現在ト吾國民ノ輕佻浮薄維々眼前ノ欲望ニ  
駆ラレツツアル実狀ニ对照シ克ク帝國カ其任ヲ完ウシ其目  
的ヲ遂行シ敢テ周王ニ比スルニハ非ズ候モ居而有天下ノ王  
道ヲ經濟的ニ活用シ帝國々運ノ隆昌ヲ百世ニ輝スルニ至ル  
ヲ得ル歟ハ深ク疑問トスル處此疑問ノ払掃ト支那ノ悪氣流  
清掃ハ一二現寺内内閣ニ求メテ已マザル処希クハ閣下渾身  
ノ御努力音等ノ杞憂ヲ真ニ杞人ノ憂タラシムルニ至ラシメ  
ラレ度切ニ懇団仕候

更ニ公使館側ニテ支那ハ章公使ニ訓電セルト共ニ英仏露公  
使ニモ訓電セルナル可シ兎角支那ハ當テニナラズトノ説ニ  
基キ曹汝霖氏ニ糾シタル處段總理ハ日本ニ信賴シテ尽力ヲ  
依頼スルニ曷ゾ他國ニ訓電ヲ要スルカト明答シ且日本ヨリ  
概括的ニ尽力スルトノ話ニテハ其間誤解ヲ生スル虞アルニ  
ヨリ可成キツパリ明解ニ是レ是レハ尽力スルモ是ハ出来ヌ  
ト正直ニ掛引ナク被申度トノ希望ニ有之候間只今更ニ別紙

一〇 中国問題ニ関スル西原龜三報告雑件 六五七 六五八

六五九

六六二

打電(註)仕候

要スルニ從來慣用ノ巧妙ヲ維一トセル所謂外交的文句ハ將來支那トノ対談ニ使用セザル様當局ニ於テ御節制最モ緊要ト存候 無々

註 一 三月七日勝田大蔵大臣宛電報前掲

二 三月八日勝田大蔵大臣宛電報次掲

六五七

三月八日

西原龜三(北京出張中)ヨリ

勝田大蔵大臣宛(電報)

六五九 三月十日

勝田大蔵大臣(ヨリ)

西原龜三(北京出張中)宛(電報)

交通銀行二千万円借款仮契約及本契約締結ノ

時期ニ関スル件

附記 交通銀行二千万円借款仮契約書案

(三月十日接受)

支那ハ英仏露公使ニ訓電セリト說アルモ曹汝霖ハ日本ニ尽力ヲ依頼セルモノ他ニ訓電ノ要ナシト確答セリ尚概括的ニテハ誤解ヲ招ク虞アル故キツバリ明解ニ言明ヲ望ムト外相ヘ伝ヘ乞フ

六五八 三月十日

西原龜三(北京出張中)ヨリ

勝田大蔵大臣宛(電報)

中國ノ對独墺國交斷絕ニ對シ我方ハ成行ニ任

ス考ナリヤ問合ノ件

附記

交通銀行二千万円借款仮契約書案

交通銀行借款二千万円支那ガ独逸ト国交斷絕ノ上仮契約ヲ

締結シ更ニ交戦状態トナリタル後本契約締結ノコトニ御承

知相成度シ其他ノコトハ外務大臣ヨリ公使ヘノ訓電ニテ御

承知相成度シ

第一条 本借款金額ハ日本金貨貳千万円トシ全額ヲ無手數料ニテ交付スルモノトス

第二条 本借款期限ハ借款金額授受ノ日ヨリ起算シ満三ヶ年トス

第三条 本借款ハ期限前ト雖モ參ヶ月前ノ予告ヲ以テ借款ノ全部又ハ一部ノ償還ヲナスコトヲ得ルモノトス

第四条 本借款ノ利息ハ年八分即チ日本金貨壹百円ニ付キ日本金貨八円ノ割合ヲ以テ六ヶ月毎ニ前払スルモノトス

第五条 交通銀行ハ本借款ノ元金及利子仕払ノ担保トシテ左ノ物件ヲ朝鮮銀行ニ提供スルモノトス

日本金貨八円ノ割合ヲ以テ六ヶ月毎ニ前払スルモノトス

第六条 交通銀行ハ前条ノ担保物件タル中華民国政府國庫債券所載金額ヲ領収スルニ必要ナル委任状ト共ニ北京

ニ於テ朝鮮銀行ニ交付シ朝鮮銀行ハ之ニ對シ担保品預

リ証ヲ交通銀行ニ交付スルモノトス

中華民国政府國庫債券貳千五百万元

第七条 交通銀行カ元金及利息ノ還済ヲ怠リタルトキハ朝鮮銀行ハ第五条ノ担保物件ヲ任意処分シ其元利金ノ弁済ニ充当スルモノトス

外相ノ章公使ニセル回答不明瞭ナルト更ニ米國公使ノ中立維持運動ニ仍リ段總理ハ既ニ決心セルモ内心不安ノ模様ナリ少クモ段總理ニ安心セシメザレバ反対熱更ニ勃興スルモ知レズ日本ハ成行ニ任ス考ナル歟至急返待ツ

馮副總統明朝南京ニ歸ル由

打電(註)仕候

要スルニ從來慣用ノ巧妙ヲ維一トセル所謂外交的文句ハ將來支那トノ対談ニ使用セザル様當局ニ於テ御節制最モ緊要ト存候 無々

註 一 三月七日勝田大蔵大臣宛電報前掲

二 三月八日勝田大蔵大臣宛電報次掲

六五七

三月八日

西原龜三(北京出張中)ヨリ

勝田大蔵大臣宛(電報)

六五九 三月十日

勝田大蔵大臣(ヨリ)

西原龜三(北京出張中)宛(電報)

交通銀行二千万円借款仮契約及本契約締結ノ

時期ニ關スル件

附記 交通銀行二千万円借款仮契約書案

ヘ伝言方依頼ノ件

支那ハ英仏露公使ニ訓電セリト說アルモ曹汝霖ハ日本ニ尽力ヲ依頼セルモノ他ニ訓電ノ要ナシト確答セリ尚概括的ニテハ誤解ヲ招ク虞アル故キツバリ明解ニ言明ヲ望ムト外相ヘ伝ヘ乞フ

六五八 三月十日

西原龜三(北京出張中)ヨリ

勝田大蔵大臣宛(電報)

中國ノ對独墺國交斷絕ニ對シ我方ハ成行ニ任

ス考ナリヤ問合ノ件

附記

交通銀行二千万円借款仮契約書案

交通銀行借款二千万円支那ガ独逸ト国交斷絕ノ上仮契約ヲ

締結シ更ニ交戦状態トナリタル後本契約締結ノコトニ御承

知相成度シ其他ノコトハ外務大臣ヨリ公使ヘノ訓電ニテ御

承知相成度シ

六五八 三月十日

西原龜三(北京出張中)ヨリ

勝田大蔵大臣宛(電報)

中國ノ對独墺國交斷絕ニ對シ我方ハ成行ニ任

ス考ナリヤ問合ノ件

附記

交通銀行二千万円借款仮契約書案

交通銀行借款二千万円支那ガ独逸ト国交斷絕ノ上仮契約ヲ

締結シ更ニ交戦状態トナリタル後本契約締結ノコトニ御承

知相成度シ其他ノコトハ外務大臣ヨリ公使ヘノ訓電ニテ御

承知相成度シ

六五八 三月十日

西原龜三(北京出張中)ヨリ

勝田大蔵大臣宛(電報)

中國ノ對独墺國交斷絕ニ對シ我方ハ成行ニ任

ス考ナリヤ問合ノ件

附記

交通銀行二千万円借款仮契約書案

交通銀行借款二千万円支那ガ独逸ト国交斷絕ノ上仮契約ヲ

締結シ更ニ交戦状態トナリタル後本契約締結ノコトニ御承

知相成度シ其他ノコトハ外務大臣ヨリ公使ヘノ訓電ニテ御

承知相成度シ

六五八 三月十日

西原龜三(北京出張中)ヨリ

勝田大蔵大臣宛(電報)

中國ノ對独墺國交斷絕ニ對シ我方ハ成行ニ任

ス考ナリヤ問合ノ件

附記

交通銀行二千万円借款仮契約書案

交通銀行借款二千万円支那ガ独逸ト国交斷絕ノ上仮契約ヲ

締結シ更ニ交戦状態トナリタル後本契約締結ノコトニ御承

知相成度シ其他ノコトハ外務大臣ヨリ公使ヘノ訓電ニテ御

承知相成度シ

六五八 三月十日

西原龜三(北京出張中)ヨリ

勝田大蔵大臣宛(電報)

中國ノ對独墺國交斷絕ニ對シ我方ハ成行ニ任

ス考ナリヤ問合ノ件

附記

交通銀行二千万円借款仮契約書案

交通銀行借款二千万円支那ガ独逸ト国交斷絕ノ上仮契約ヲ

締結シ更ニ交戦状態トナリタル後本契約締結ノコトニ御承

知相成度シ其他ノコトハ外務大臣ヨリ公使ヘノ訓電ニテ御

承知相成度シ

六五八 三月十日

西原龜三(北京出張中)ヨリ

勝田大蔵大臣宛(電報)

中國ノ對独墺國交斷絕ニ對シ我方ハ成行ニ任

ス考ナリヤ問合ノ件

附記

交通銀行二千万円借款仮契約書案

交通銀行借款二千万円支那ガ独逸ト国交斷絕ノ上仮契約ヲ

締結シ更ニ交戦状態トナリタル後本契約締結ノコトニ御承

知相成度シ其他ノコトハ外務大臣ヨリ公使ヘノ訓電ニテ御

承知相成度シ

六五八 三月十日

西原龜三(北京出張中)ヨリ

勝田大蔵大臣宛(電報)

中國ノ對独墺國交斷絕ニ對シ我方ハ成行ニ任

ス考ナリヤ問合ノ件

附記

交通銀行二千万円借款仮契約書案

交通銀行借款二千万円支那ガ独逸ト国交斷絕ノ上仮契約ヲ

締結シ更ニ交戦状態トナリタル後本契約締結ノコトニ御承

知相成度シ其他ノコトハ外務大臣ヨリ公使ヘノ訓電ニテ御

承知相成度シ

六五八 三月十日

西原龜三(北京出張中)ヨリ

勝田大蔵大臣宛(電報)

中國ノ對独墺國交斷絕ニ對シ我方ハ成行ニ任

ス考ナリヤ問合ノ件

附記

交通銀行二千万円借款仮契約書案

交通銀行借款二千万円支那ガ独逸ト国交斷絕ノ上仮契約ヲ

締結シ更ニ交戦状態トナリタル後本契約締結ノコトニ御承

知相成度シ其他ノコトハ外務大臣ヨリ公使ヘノ訓電ニテ御

承知相成度シ

六五八 三月十日

西原龜三(北京出張中)ヨリ

勝田大蔵大臣宛(電報)

中國ノ對独墺國交斷絕ニ對シ我方ハ成行ニ任

ス考ナリヤ問合ノ件

附記

交通銀行二千万円借款仮契約書案

交通銀行借款二千万円支那ガ独逸ト国交斷絕ノ上仮契約ヲ

締結シ更ニ交戦状態トナリタル後本契約締結ノコトニ御承

知相成度シ其他ノコトハ外務大臣ヨリ公使ヘノ訓電ニテ御

承知相成度シ

六五八 三月十日

西原龜三(北京出張中)ヨリ

勝田大蔵大臣宛(電報)

中國ノ對独墺國交斷絕ニ對シ我方ハ成行ニ任

ス考ナリヤ問合ノ件

附記

交通銀行二千万円借款仮契約書案

交通銀行借款二千万円支那ガ独逸ト国交斷絕ノ上仮契約ヲ

締結シ更ニ交戦状態トナリタル後本契約締結ノコトニ御承

知相成度シ其他ノコトハ外務大臣ヨリ公使ヘノ訓電ニテ御

承知相成度シ

六五八 三月十日

西原龜三(北京出張中)ヨリ

勝田大蔵大臣宛(電報)

中國ノ對独墺國交斷絕ニ對シ我方ハ成行ニ任

ス考ナリヤ問合ノ件

附記

交通銀行二千万円借款仮契約書案

交通銀行借款二千万円支那ガ独逸ト国交斷絕ノ上仮契約ヲ

締結シ更ニ交戦状態トナリタル後本契約締結ノコトニ御承

知相成度シ其他ノコトハ外務大臣ヨリ公使ヘノ訓電ニテ御

承知相成度シ

六五八 三月十日

西原龜三(北京出張中)ヨリ

勝田大蔵大臣宛(電報)

中國ノ對独墺國交斷絕ニ對シ我方ハ成行ニ任

ス考ナリヤ問合ノ件

附記

交通銀行二千万円借款仮契約書案

交通銀行借款二千万円支那ガ独逸ト国交斷絕ノ上仮契約ヲ

締結シ更ニ交戦状態トナリタル後本契約締結ノコトニ御承

知相成度シ其他ノコトハ外務大臣ヨリ公使ヘノ訓電ニテ御

承知相成度シ

六五八 三月十日

西原龜三(北京出張中)ヨリ

勝田大蔵大臣宛(電報)

中國ノ對独墺國交斷絕ニ對シ我方ハ成行ニ任

ス考ナリヤ問合ノ件

附記

交通銀行二千万円借款仮契約書案

交通銀行借款二千万円支那ガ独逸ト国交斷絕ノ上仮契約ヲ

締結シ更ニ交戦状態トナリタル後本契約締結ノコトニ御承

知相成度シ其他ノコトハ外務大臣ヨリ公使ヘノ訓電ニテ御

承知相成度シ

六五八 三月十日

西原龜三(北京出張中)ヨリ

勝田大蔵大臣宛(電報)

中國ノ對独墺國交斷絕ニ對シ我方ハ成行ニ任

ス考ナリヤ問合ノ件

附記

交通銀行二千万円借款仮契約書案

交通銀行借款二千万円支那ガ独逸ト国交斷絕ノ上仮契約ヲ

締結シ更ニ交戦状態トナリタル後本契約締結ノコトニ御承

知相成度シ其他ノコトハ外務大臣ヨリ公使ヘノ訓電ニテ御

承知相成度シ

六五八 三月十日

西原龜三(北京出張中)ヨリ

勝田大蔵大臣宛(電報)

中國ノ對独墺國交斷絕ニ對シ我方ハ成行ニ任

ス考ナリヤ問合ノ件

附記

交通銀行二千万円借款仮契約書案

交通銀行借款二千万円支那ガ独逸ト国交斷絕ノ上仮契約ヲ

締結シ更ニ交戦状態トナリタル後本契約締結ノコトニ御承

知相成度シ其他ノコトハ外務大臣ヨリ公使ヘノ訓電ニテ御

承知相成度シ

六五八 三月十日

西原龜三(北京出張中)ヨリ

勝田大蔵大臣宛(電報)

中國ノ對独墺國交斷絕ニ對シ我方ハ成行ニ任

</div

一〇 中国問題ニ関スル西原亀三報告雑件 六六一 六六二 六六三

六六四

六六一 三月十四日 西原亀三(天津出張中)ヨリ

勝田大蔵大臣宛(電報)

中国対独墺国交断絶布告ノ件

国交断絶布告セリ

六六二 六月八日

西原亀三(天津出張中)ヨリ

勝田大蔵大臣宛(電報)

中国当面ノ政局ニ於ケル張勲ノ行動報告及中

國借款ノ件

六月八日夜発電(第一号)

今日到着セリ政局ハ本日張勲來津シ徐段ト協議ノ上張勲ヨリ黎總統ニ對シ先づ国会ノ解散ヲ決行セヨ然ラバ直チニ上京シ時局收拾ノ任ニ當ルベシト要求シ一面張勲ノ兵約二千既ニ北京城外永定門ニ到着セリ且ツ黎ノ賴ミトセル軍隊ハ陳光遠、江朝宗共北洋派ノ主張ニ賛成シ今ヤ黎ヲ守ルモノ一兵モナキ状態ニツキ時局ハ迅速ニ收拾セラルベシ  
更ニ借款ハ國庫債券ヲ準備シアルノミナラズ財政部ハ現ニ北洋派ノ左右セル所故ニ前約ニ基キ國庫債券三千万元ヲ担保トシテ政府ノ保証ナシニテ復活セシメルコトニ賛成セラレタシ何分ノ御指揮ヲ乞フ

尚黎總統ハ米国ト二千万弗ノ借款仮契約ナセルモ張勲ノ反対ニ依リ沙汰止トナレリ、天津落合ト返電アレ  
六六三 六月九日 西原亀三(天津出張中)ヨリ  
勝田大蔵大臣宛(電報)  
中国ノ時局ニ付我国ハ旧約法ヲ廢止シ鞏固ナル政府ヲ組織スル様黎・徐・段・張勲ニ勧告  
スルヲ可トスル旨意見開陳ノ件  
六月九日正午発大原宛電報写シ(第二号)  
○米国公使ハ両三日来時局ニ付キ黎總統ニ勧告シ更ニ段祺瑞張勲等ニモ警告ヲ与ヘ恰モ大限内閣ニ於ケル態度ト同ジク妥協ニ依リ時局ヲ平定セントシ暗ニ北洋派ノ活動ヲ抑ヘツ、アリ、然ルニ旧約法ヲ廢止シ國状ニ適セル憲法ニ依リ鞏固ナル政府ヲ組織スルニ非ザレバ支那ノ動乱ハ止ム時無カル可シ然ルニ米国ノ干渉的勧告ト活動トヲ放任スル時ハ再ビ妥協ニ依リ一時ヲ弥縫スルニ到ルモ知レズ、此時帝国トシテ傍観スルハ決シテ東洋ノ平和ヲ維持スル所以ニ非ズト信ズ、故ニ適當ナル方法ニ依リ禍乱ノ基ナル旧約法ヲ廢止シ國状ニ適セル約法ヲ制定シ鞏固ナル政府ヲ組織スル旨黎徐段張勲ノ四人ニ勧告スル事ハ最モ必要ノ措置ナリト信

ズ急ギ御尽力ヲ乞フ

○馮国璋副總統ヲ辞任セリ又米国派ノ李經義ガ内閣ヲ望メル模様アリ。注意ヲ要ス

六六四 六月九日

西原亀三(天津出張中)ヨリ

勝田大蔵大臣宛(電報)

在中国米国公使及親米派ノ李經義内閣組織ノ

運動ニ對シ我方ハ徐世昌派ノ出現ヲ計ルヲ要

スル旨進言ノ件

六月九日発電(第三号)

○黎總統ハ張勲ヨリ要求セル国会解散其ノ他ノ条件ヲ略ボ採用スル意味ノ返電ヲ為セリ然ルニ米国公使ノ活動ト親米派策士ノ運動トニ依リ張勲ト妥協シ李經義内閣ヲ組織セシメ外交梁敦彦財政張鎮芳陸軍雷震春等ノ役割ニテ徐段等ニハ殆ント無交渉ニテ進マントシツ、アリ徐ハ無論内心反対ニテ國家ノ為メ憂フル雖モ君子人ナル故群小ノ盲動ヲ忍ビ三四ヶ月内ニテ又騷乱ヲ惹起ス可シト唱へ居レリ現状ノ如ク米国公使ト親米派ノ活動ニ放任スルハ東洋平和ノ為メ帝国トシテ忍ブ能ハズト信ズ此際適當ノ方法ニテ李經義梁敦彦等ノ親米派ヲシテ内閣ヲ組織セシメザル方法ヲ取リ真

六六五 六月十日

西原亀三(天津出張中)ヨリ

勝田大蔵大臣宛

六六五 六月十日

西原亀三(天津出張中)ヨリ

勝田大蔵大臣宛(電報)

田中參謀次長ノ黎總統ヲ其儘ニ置キ時局ヲ拾

收セントスル運動ヲ阻止シ徐世昌ノ出現ヲ計

ル様進言ノ件

○六月十日発電(第四号)

○田中次長ハ黎總統ヲ其儘ニ置キ時局拾收ヲ望ミ各方面ニ運動シ居レリ、之レ恰モ親米派ノ目的ト一致スルモノニシテ黎ト徐世昌段祺瑞トハ到底一致スルモノニ非ズ即チ田中ノ運動ハ徐一派ヲ抑ヘ時局ヲ益々紛糾セシメ親米派ニ目的ヲ達セシムルニ到タル可シ、此ノ時局ヲ治メ日支親善ヲ實現セントセバ徐ノ出現ヲ必要トスルハ何人モ認ムル所ナリ宜シク總理ヨリ田中ノ運動ヲ止メシメ徐ガ出現シ得ル様尽カシメラレタシ

六六六 六月十一日

西原亀三(天津出張中)ヨリ

勝田大蔵大臣宛

六六六

六六五

中国ノ時局收拾ニ闕シ在中国米國公使ノ勸告及田中參謀次長ノ忠告ヲ批議シ帝国ハ中國ヲ根本的ニ安定セシムベキ方策ヲ中國ニ勸告ス

### ベント進言ノ件

拝呈益々御清適奉賀候去八日午後八時到津仕候着後曹汝霖陸宗輿兩氏ニ会談時局ノ傾向ヲ聽取致候處恰モ当日張勲ハ黎大總統ノ招請ニ依リ時局調停ノ名義ノ下ニ着津シ徐世昌段祺瑞氏等ト会談ノ結果先ツ黎總統ニ対シ国会解散ヲ実行ス可シ而テ後上京ス可シト要求シ更ニ總統秘書夏寿康ヲシテ

### 一国会解散 二約法改正

#### 三責任内閣 四帝制派特免

#### 五清皇室優待条件

等ノ希望ヲ黎總統ニ致サシメ更ニ張勲ノ兵約式干ハ既ニ北京城外永定門外ニ到着シ懲クテ黎ヲ擁護ス可キト世人ノ信セル第十二師團長陳光遠及歩軍統領江朝宗ハ北洋派ノ主張ニ贊成ナル旨ヲ宣言シ黎ハ恰モ一兵ノ守護スルナキ状態ニ陥リ居候間張勲提出ノ要求ハ全部承認ノ不得已モノト推想セラレ從テ時局ハ迅速ニ解決セラル可ク而テ支那ノ柱石ト

ノ米國公使ハ遂ニ本国政府ノ訓令ニ基キ時局收拾ニ対スル忠告ヲ黎總統ニ与ヘ更ニ段祺瑞、張勲其他各方面ニ公使自ラ又ハ館員ヲ派シ夫々警告ヲナスニ至リ茲ニ親米派ノ米國公使ヲ背景トスル活動ヲ惹起シ懲クテ北洋系ニ於テ親米及親獨派ト認メラル可キ面々ハ李經義ヲシテ内閣ヲ組織セシメ以テ徐世昌段祺瑞ノ如キ近次世人ヨリ親日ノ傾向アリト認メラル、頭領株ヲ自然ニ隠退セシメントスルノ策略ヲ講スルモノアルニ至リ殊ニ李經義ハ自ラ進テ求メンコトヲ欲シ張勲ニ媚ヲ送ルハ勿論国民党側ニモ渡リ付ケ一方黎總統トモ疏通スル処アリ所謂親米親獨ノ連合ニテ妥協苟合ニ依リ即チ米國公使ノ忠告ヲ楯トシ将来米國ニ倚頼セントスル半面ニ於ケル排日本ノ色彩ヲ帶ベル人物ニ依リ局面ヲ糊塗セントスルノ傾向顯ハレ申候

元來第一革命以來支那ヲシテ騷乱ニ騷乱ヲ惹起セシムルノ根元ハ實ニ彼ノ極端ナル民本主義ヲ骨子トセル孫文ノ起案セル旧約法ニ存シ此約法ノ存スル限り支那政局ノ安定ハ百

年河清ヲ俟ツト其軌ヲニスルモノニ御座候徐世昌一派ノ所謂官僚派ハ其官歴ノ経験ニ基キ旧約法ヲ廃止スルニ非ザレバ支那ノ国安ヲ保ツ能ハズトシテ此機会ニ乘シ根本的解決ヲ期待セル処ニ有之候然ルニ米國公使ノ妥協ヲ旨趣トセル時局収拾ノ忠告ト親米派ノ活動ト相俟ツテ時恰モ田中參謀次長ノ黎大總統ヲ現状ニ存置セシメ時局收拾ノ必要ヲ黎總統王士珍徐世昌張勲等ニ致セル忠告ハ徐世昌一派ノ憂国ヨリスル約法廃止國策樹立ノ目的貫徹ヲ抑止スルノ結果トナリ遂ニ徐世昌氏ハ現状ノ傾向ニテ時局ヲ收拾セバ亦三四ヶ月ニシテ騷乱ハ免レストノ嘆ヲ發スルニ至ラシメ所謂ジレンマニ陷リタルノ形ニ相成申候

田中參謀次長ノ黎大總統ヲ現状ニ存置セシメ而シテ時局收拾ヲ望ムトノ忠告ハ日本政府ノ發意ニ依ルカ又ハ田中氏一個ノ意見ナルカハ知ル可カラズト雖モ從米ノ経過ニ見テ黎元洪ト徐世昌段祺瑞ハ到底一致シテ政局ヲ維持スル能ハザルハ少ナクモ支那ヲ知ルモノ、均シク認識セル処即チ昨年大限内閣ノ南北妥協勧告ト異名同体ニシテ支那ノ混乱ヲ前提トセル期待ナラザル限り恁ノ如キ不徹底ナル政策ハ無之候米國カ妥協ヲ旨趣トセル勧告ハ大ニ意義アルモノニシテ

即チ親米派出現ヲ前提トセルモノ然ルニ田中氏ハ黎總統現状維持ヲ前提トセル時局收拾ノ忠告ハ大限内閣ノ前轍ヲ踏襲スルモノナルト共ニ寺内内閣ヲ信頼シ實質的日支親善ニ依リ国政ノ改善ヲ図ラントスル徐世昌段祺瑞一派ヲ押ヘ其ノ間親米派ニ乘スルノ機會ヲ与ヘタルモノニ御座候要スルニ支那ヲシテ根本的ニ安定ヲ得セシメ東洋ノ平和ヲ永遠ニ維持スルノ途ハ

一旧約法ヲ廃止シ支那ノ国情ニ適応セル憲法ヲ制定スルコト

二憲法制定ニハ各省ヨリ憲法制定委員ヲ任命シテ参与決定セシムルコト

三憲法実施ニ至ル期間ハ民国元年ノ状態ヲ復活シ臨時政府ヲ組織シ政務ヲ施行スルコト

懲クテ臨時總統ニハ内外ノ均シク柱石ヲ以テ任セル徐世昌氏ヲ以テシ段祺瑞氏ヲ總理トシ帝国ノ好意的援護ニ依リ國基ノ樹立ヲ完ウセシメ實質的日支親善ヲ実現セシムルアラバ始メテ東洋永遠ノ平和ハ維持セラレ可申候

現内閣ハ對支不干涉主義ナリト世人ハ称シ候左リトテ米國ノ干渉的勧告ニ依リ米國ニ親近セル人士ヲ以テセル内閣出

現セントスルニ際シ帝国ノ利益ト東洋永遠ノ平和ヲ害スルノ虞アリスルモ尚モ袖手傍観ハ国政ノ進展ト国家ノ利害ニ鑑ミ能ハザルベク存候

支那ノ現状ヲ転回セシメ帝国ノ利益ト一致セシムルノ所以ハ帝国政府ハ此際進シテ前項三段ノ根本的支那安定策ヲ提ケ正々堂々勧告ヲ敢行シ以テ四億民衆ヲ皇恩ニ浴セシメ実質的ニ東洋百世ノ平和ニ資セラレ度翹望ニ不堪候此旨趣ニ於テ別紙電報写ノ通得貴意候次第ニ御座候邦家ノ為一入ノ御努力期待仕候 敬具

六六七 六月十一日 西原龜三(天津出張中)ヨリ 勝田大蔵大臣宛(電報)

張勲ノ李經義内閣擁立ノ意図ニ関シ石光天津

軍司令官ヨリ張ニ注意スル様總理大臣ニ配慮

要請方進言ノ件

○六月十一日午前五時発電(第五号)

張勲ハ李經義ノ運動ト親米派ノ策略ニ乘り武人ノ淡泊ナル心ヨリ時局解決ハ我ニアリトシ外間ノ事情ヲ見ズ徐段ニハ没交渉ニテ黎總統ガ国会解散命令ヲ為セバ李ト共ニ上京シ李内閣ヲ作ラントス心アル者ハ其無謀ヲ憂フルモ対手ガ無

此ノ注意ヲ為セバ彼亦考ヘ直ス可シ總理ニ御配慮アル様尽力乞フ

坂西氏ハ同意見ニテ尽力セルモ公使始メ文武官吏等不干涉主義ヲ唱ハ存外平氣ナル模様ナリ

六六八 六月十一日 西原龜三(天津出張中)ヨリ 勝田大蔵大臣宛(電報)

帝国ハ中国ガ新約法ヲ制定シ鞏固ナル政府ヲ建設スル為ノ方策ニ出ヅルコトヲ再ビ進言ノ件

○六月十一日午前十時発電写(第六号)

此ノ紛糾ノ時局ニ處シ帝国ハ既電ノ如ク騒乱ノ因タル旧約法ヲ廃止シ国情ニ適セル新約法ヲ制定シ鞏固ナル政府ノ建

設ヲ望ム旨正々堂々勧告シ進シテ之レガ實現ヲ擁護スルノ政策ニ出テソコトヲ望ム此ノ機会ヲ逸セバ紛擾已ム時無キニ至ルベシ是非実行アリタシ

坂西曰ク田中斎藤ハ私交ヨリ王士珍ヲ望ミ段ヲ排斥スル意味ニテ話シ居レリト此ノ時局ヲ納ムルモノ徐段一派ノ外ニ人ナキハ何人モ認ムル所ナルニ私交ノ厚薄ニ依リ大局ヲ誤ル如キハ遺憾トス御注意乞フ  
我ガ滯在ハ何人モ知ラズ御安心乞フ

六六九 六月十一日 西原龜三(天津出張中)ヨリ 勝田大蔵大臣宛(電報)

張勲ハ中国ガ日本ト提携スルヲ不可トシ居リ 我国ハ中国ニ対シ根本的解決ノ勧告ヲナスヲ

要スル旨進言ノ件

○六月十一日午後十時発電(第七号)

張勲ガ段芝貴ニ語リタルヲ聞クニ今回ノ紛擾ハ曹汝霖陸宗輿ガ日本ノ甘言ニ乗リ徐世昌段祺瑞ヲ欺キタルニ因ルモノニテ日本ト提携スルハ恰モ強盜ト同宿スルト同ジ、日本ハ

茶者故皆暭然トシテ眺メ居レリ、此際張勲ト親密ナル在天津ノ石光司令官個人トシテ左ノ意味ノ注意ヲ為セバ良キ結果ヲ得ベシト信ズ

「李内閣成立スルノ説アリ然ルニ段内閣ニハ聯合各国ハ特別ノ好意ヲ有シ殊ニ帝国ハ最モ好意ヲ以テセリ然ルニ約法ヨリセバ違法ノ処置ニテ總理ノ罷免ヲ見遂ニ此ノ紛擾ヲ惹起セリ此違法処置ヲ明ニセズ新内閣成立スルコトアラバ条理ニ欠クル所アリ恁クテ各国ノ感情モ亦面白カラサルモノ無キニ非ズト信ズ此ノ点注意アリタシ」

此ノ注意ヲ為セバ彼亦考ヘ直ス可シ總理ニ御配慮アル様尽力乞フ

坂西氏ハ同意見ニテ尽力セルモ公使始メ文武官吏等不干涉主義ヲ唱ハ存外平氣ナル模様ナリ

六六八 六月十一日 西原龜三(天津出張中)ヨリ 勝田大蔵大臣宛(電報)

帝国ハ中国ガ新約法ヲ制定シ鞏固ナル政府ヲ建設スル為ノ方策ニ出ヅルコトヲ再ビ進言ノ件

○六月十一日午前十時発電写(第六号)

今仮面ヲ被リ居ルモ日ナラズ強盜ノ本性ヲ顯ス可シト張勲式ニ唱ヘ居レリト

北京ニ入レル張勲ノ兵ハ人民ヲ苦ルシメ居ル由要スルニ前電ノ如ク根本的解決ノ勧告ヲナシ日本ノ大義ヲ示サズンバ東洋平和維持ノ所以ニ一致セズト信ズ

六七〇 六月十二日 西原龜三(天津出張中)ヨリ 勝田大蔵大臣宛(電報)

帝国ノ中国ニ対スル時局ノ根本解決勧告ハ林公使モ贊成徐世昌段祺瑞モ斯力ル勧告ノ有意義ナルヲ認メ居ル旨報告ノ件

○六月十二日午後四時発電写(第八号)

帝国ノ根本解決勧告ハ林公使モ贊成ナリ又徐段兩氏ハ外國ノ勧告ハ好マサルモ現状ニ放任セバ支那ノ混乱ハ勿論中日兩国ノ将来ニ対シ杞憂ニ堪ヘザルモノアリ此ノ際善隣ノ誼好意的ニ禍根ヲ一掃スル有力ナル勧告ヲ得ルハ時局平定ト将来ニ多大ノ効果アルベシト了解シ其ノ旨ヲ持チ本日曹汝霖北京ニ行キ林公使ニ伝ヘル筈故公使ヨリ何分ノ沙汰アルベシ機会ヲ逸セザル様尽力望ム

六七一 六月十二日 西原亀三(天津出張中)ヨリ

勝田大蔵大臣宛

張勲ノ李經義内閣擁立ノ動向等現況ニ鑑ミ日  
本ハ中國ニ対シ根本的解決ノ勧告ヲナスコト

## 肝要ナル旨上申ノ件

拝啓陳者夫々報電ノ通り張勲ノ入京ハ時局ヲ適正ニ解決ス可ク殊ニ徐世昌一派ト同步調ナリト信セルモノ俄然親米独立派ノ策士ニヨリ乗セラレ北洋派分裂ノ状ヲ呈シ益々紛糾ヲ招来仕候而テ張勲ハ有名ナル我儘者ニテ殊ニ武人一片ノ淡泊ナル心ヨリ時局收拾ノ權ハ吾ニ在リトシ世人ノ認メテ以テ柱石トスル徐世昌氏ニモ没交渉ニテ李經義梁敦彦等ノ言ニ聽キ一面黎總統ニ国会解散ヲ逼リ恁クテ黎ハ解散ハ准允スルモ臨時總理伍廷芳カ命令ニ副署スルコトヲ拒ムヲ理由トシ適當ナル解決法ヲ張勲ニ求メ而シテ張ハ頑トシテ方法ハ我之ヲ知ラズ唯解散命令ヲセバ足ルト唱ヘ京津間使者往復ノ頻繁ヲ極メ居候

恁ル状勢ニシテ黎總統ハ張勲ノ強要ニ依リ国会解散命令ヲ発セバ張ハ李經義ト共ニ入京シ李ノ後見トナリ内閣組織ヲナス可キ模様相見工候ニ就テハ機宜ノ処置トシテ張勲ト懇

## 称シタリトノコトニ候

元來張勲ノ本領ヨリ見テ亦南京事件ニ顧ミレバ彼ガ日本ヲ称シテ強盜同宿ト誣フルモ首肯ノ余地ナキモノニ非ズト雖モ此ノ頑迷ヲ打破スルハ実ニ前述大々的決意ヲ以テ支那ニ善政ヲ施カシム可ク鞏固ナル政府ヲ建設セシメ日本ノ大義ヲ垂示スルヨリ他道無之然ラザレバ他日兵力ヲ以テ彼カ頂上ニ斧鉄ヲ加ヘザル可カラサルノ時期ニ遭遇スルニ至リ帝國ノ損害ハ決シテ尠少ナラサルト共ニ支那ノ扶掖開導カ一層ノ困難ニ陥リ可申ト存候機会ヲ逸セズ大義名分ノ明ナル御新政発顕候様御努力切望仕候

勿々

六七二 六月十四日 西原亀三(北京出張中)ヨリ

勝田大蔵大臣宛(電報)

## 張勲ヲ押ヘ徐世昌ヲ中心トシテ時局ヲ收拾セ

## シムル様尽力アリタキ旨稟申ノ件

六月十四日午後三時発電写(第九号)

本日張勲ハ李ト入京シ内閣ヲ造り米國ノ目的達セントス此時局收拾ハ無経綸ナル李一派ノ能クスルナキハ何人モ之レヲ認メ不日更ニ紛擾ヲ惹起スハ必然ナリ之レ帝国ノ堪へ能ハザル所此ノ際中外ニ信望アル者ヲ收拾ノ任ニ当ラシメ紛

意ナル在天津石光司令官ヨリ個人的ニ注意ヲ与ヘ彼力我儘ヲ制スルヲ得バ時局転換ニ多大ナル効果アル可シト信シ既報第五号電報ヲ發セル事情ニ御座候同時坂西氏ハ北京ニテ其方策ヲ廻ラシ候次第ニ有之候

更ニ時局ノ大勢ヲ觀察スルニ此際根本的解決ヲナスニ非サレバ紛擾絶ユルナキニ至リ可申其解決法ハ帝国政府力正々堂々根本的解決ノ勧告ヲナスヲ以テ支那ノ為ニモ將タ東洋平和ヲ維持スル所以ヨリスルモ適機ノ行動ト被考今ヤ其機会ハ熟シ居候間別紙電報写第六号発電セル事情ニ御座候旧約法ノ禍乱ノ基ナルハ内外ノ認メテ一致セル処国情ニ適セル新約法ヲ制定シ鞏固ナル政府ヲ建設スルモ一人異議者アル可カラス此公明正大ニシテ四億民衆ヲ塗炭ノ窮地ヨリ匡救スルノ大々的正義ヲ標的トシ擁護確立スルハ帝国々是ノ垂示セル任務タル可ク切ニ実願期待スル処ニ御座候

此書ヲ認メツ、アル際報ニ依レハ段芝貴氏カ張勲ニ面会シ内外ノ形勢ヲ論シ内閣組織ニ充分ナル考慮ノ必要ヲ設ケルニ対シ張勲ハ日本ト提携スルハ強盜同宿ノ語ヲ以テソ日本ノ好意ナルモノハ一時ノ偽策ナリト唱ヘ曹汝霖陸宗輿兩人カ日本ノ甘言ニ遵ヒ徐世昌段祺瑞ヲ誤ラセ居ルモノナリト

擾ノ根本ヲ一掃スルハ中外ノ望ナリ帝国ハ機会ヲ失セズ此主義ヲ以テ断乎タル忠告ヲ張、黎、王、徐、段ノ五人ニ与ヘ張勲ヲ押ヘ徐世昌ヲ中心トシテ時局ヲ收拾セシムル途ニ尽力乞フ今張勲ヲ押ヘ排日思想ヲ防グハ日本ノ断乎タル忠告ノ外ナシ

一昨日曹ト公使ノ会談ハ要領ヲ得ス故ニ我昨夜入京公使ト協議セリ公使モ同意見ニテ極力遣ルト言ヘリ我ハ段ト徐ニ会談シ明後日上海ニ行キ形勢ヲ見ル考ナリ

帝国ノ態度返電待ツ

六七三 六月十五日 西原亀三(北京出張中)ヨリ

勝田大蔵大臣宛(電報)

## 中国国会解散セラレ適法ノ内閣無キ状態ナル

## ニ付帝国ハ中國ニ対シ時局收拾策ヲ勧告スル

## 様進言ノ件

六月十五日午後三時発電写(第十号)

今ヤ国会ハ解散セラレ約法ニ依ル内閣ヲ成立セシムル能ハズ即チ何等ノ基礎ナキ政府トナルヲ以テ帝国ハ此理由ニ依リ新内閣ハ中外ノ認メテ適法トセル内閣ナラザルベカラズト忠告シ便法トシテ黎總統ヨリ時局ヲ收拾スルコトヲ徐、

一〇 中国問題ニ閥スル西原亀三報告雑件 六七二 六七三

六七一

王其他二三ノ元老ニ嘱セシメ茲ニ臨時国政審議府ヲ造リ右元老ヲ顧問トナシ其ノ協議ニ依リ内閣ヲ組織セシメ總ベテノ政務ハ此機関ニ諮詢スル形式トナスコトヲ勧告シ國政改

革ニ大義名分ヲ明ラカナラシメ恁クテ徐世昌ヲ出廬セシメ日支提携ノ実ヲ促ス政策ヲ望ム

段ハ此意見ニ賛成シ徐モ賛成スペシト言ヘリ此ノ儀公使ニ進言スペシ帝国ノ態度御決定ヲ請フ

六七四 六月十五日

西原亀三(北京出張中)ヨリ  
勝田大蔵大臣宛(電報)

### 中国国会解散セラレ国内土崩瓦解ニ陥ラント

### シツツアルニ付日本ノ忠告ニ依リ時局ヲ收拾

### セラレタキ旨進言ノ件

六月十五日午後九時発電写(第十一号)

昨発電見タ徐一派ノ内閣ヲ造ルニハ前電ノ如ク帝国ノ干渉の勧告無クバ李内閣ハ必ス成立スペシ今ヤ国会解散ヨリ南方五省ハ独立セリ又河南陝西奉天山東安徽ハ李内閣反対ヲ主張シ土崩瓦解ニ陥ラントシ、アリ此際ノ局ヲ結ブハ徐世昌等ノ元老ニテ臨時国政審議府ヲ造リ總統ヲ補佐シ内閣ヲ組織セシムルヨリ外ナシ之レハ日本ノ忠告ニ依ラザレバ

外務省ニ質問セリ且帝国ノ態度ハ公使ニ一任シアリトノ旨趣承知仕候

生ノ在津ハ此際寧ロ林公使ニ面談シ根本的ニ意見ノ交換ヲ為スヲ以テ時局收拾ノ上ニモ緊要ナリトノ坂西君ノ説モアリ又十二日曹汝霖氏ト林公使ノ会談要領ヲ得ザルモノアリ此間ノ疏通ヲ図ルニ非レバ能ハズト信シ十三日上京意見ヲ交換シ公使ハ卑説ヲ是トシ極力尽力スルトノ話ニ訣別仕候次第二御座候公使トノ話ノ概要ハ

一、公使ハ外務省ノ態度甚々不鮮明ニシテ機会ニ投ズル能ハザル旨ヲ以テシ曩ノ支那政府希望条件及交通借款ニ対スル前後關係ニ付キ不平ヲ訴ヘラル、ニ依リ余ハ其然ラザル所以ヲ告ゲ公使ノ如クソウ短刀直入ニハ帝国ノ政治ハ活用シ得ルノ組織ニ非ズ殊ニ現在ノ如キ合議制度ニテハ最モ然リトナス先ツシ能フ範囲ニ於テ可及的手段ヲ講シ目的ヲ達スルヨリ外ナシ

公使ノ如ク其内容ハ兎モ角クウデタノ資本ヲ借セト言ハレテモ政府トシテ之ニ同意スル能ハザルハ当然ニ非ズヤ即チ前ノ仮契約ニ基ク借款ニハ応ズルヲ得ルト雖モ公使ノ如クソウ露骨ニ出ラレテハ成ルコトモ破壊スルニ至

六七五 六月十五日

西原亀三(北京出張中)宛(電報)

### 林公使ヨリノ問合ニ對シ西原ノ行動ハ政府ト

### ハ関係ナキ旨回答シタル件

六月十五日夜着電写

公使ヨリ貴下ノ在津ヲ意外トシ外務ニ質問シ来レリ當方ハ政府トハ何等關係無ク貴下单独ノ行動ナル趣ヲ事實ノ儘ニ申シ送レリ帝国ノ態度ハ全然公使ニ一任セリ公使ト疏通ニ努メラレタシ

六七六 六月十六日

西原亀三(天津出張中)ヨリ  
勝田大蔵大臣宛

### 中国政局收拾ニ關シ林公使及段祺瑞トノ会談

### ニ付報告ノ件

挙呈陳者時局ハ益々混沌ト相成那辺ニ逢着スルカ判断ニ苦ミ申候十四日及十五日発電領承仕候十四日電ハ不明ノ箇所少カラス候モ要スルニ徐一派ノ内閣タラシムルコト肝要ナリトノ意、十五日発電ハ林公使ヨリ小生在津ヲ意外トシテ

米国公使ノ彼ノ勧告ノ由來セル動機ヨリ見ルモ将来米國ニ近キ内閣ノ成立ハ彼ノ求メテ已マザル所仮リニ李經義内閣成立後ノ形勢ヲ考察スルニ其立脚地ノ薄弱ナルト手腕家ノ存セザル等ハ持久策トシテ外勢ニ倚頼セントスルハ當然ナル帰向ナリ且財政ノ困難ニ乘シ理屈ヲ本位トセル四国團ニ依ラズシテ利權ヲ提供シテ米国ニ依ルハ明ナル事実ナリ而シテ上海船渠借款ノ如キハ直ニ成立セン恁クテ我ハ利權ニ依リ米ト争ハントスルモ支那國民ハ米國ニ利權ヲ与フルコトハ敢テ異トセザルト雖モ日本カ何等カノ利權ヲ得ントセバ直ニ反対ヲ為スペシ若シ恁ル勢ヲ持続スルコトハ帝国ノ堪ヘ能ハザル所ニシテ飽クマ

デ李經義内閣ノ成立セザル道ニ努メザルベカラズト論ジ元来支那ニ於テ親獨親米ノ色彩明カナル一派ノ存在セルハ何人モ認ムル所然ルニ親日派ナルモノハ未タ其存在ヲ認メズ今ヤ中外ノ認メテ支那ノ柱石トスル徐世昌一派ノ我ト提携シ我ニ頼ラントスル機運ニ逢着シ此機會ニ乗ジ帝国カ王道主義ヲ以テ之ニ臨ミ大義ヲ垂示シ所謂東洋永遠ノ平和ヲ図ルニ非ザレバ何レノ時其機會ノ到来スペキ殊ニ歐洲戰乱平定後ニ至ルモ現状ヲ持続スル如キアラバ其結果ヤ知ルベク飽迄此機會ニ乘ジ支那禍亂ヲ根本的ニ艾除スル大々的覺悟ヲ以テ之ニ臨ミ其目的ヲ達セザルベカラズト説キ現時局ニ処シ之力方策トシテ既報ノ旨趣ニ基ク帝国ノ根本的解決ノ勸告ヲ為シ進ンデ徐世昌一派ヲ擁護シテ鞏固ナル政府ヲ建設セシメ若シ南方ガ独立セバ有力ナル方法ヲ以テ之カ討伐ヲ謀ラシメ恁クテ一方ヨリ帝国ノ利益ト一致スペキ税制整理貨幣更革ヲ実行シテ善政ヲ施設セシメ以テ日支提携ノ実ヲ奏スル是レ帝国ノ多年希望セル所ナラズヤ今ヤ之カ实行ハ易々タルノ業トナリツ、アリ希クハ公使ノ尽力ニ依リ其实ヲ全ウセンコトヲ望ムト告ゲ公使ハ至極同感ナリト答ヘ能フ限り尽力ス

ルトノコトニテ時実ニ午前二時訣別仕候事情ニ御座候恁クテ公使ハ自分ハ能フ限り尽力スルガ徐世昌カ出廬セザル如キアリテハ其効ナシ其儀ハ如何トノ説ニ對シ生ノ信ズル限リニ於テ現在ノ如ク張勲カ我儘ヲナシ李經義梁敦彦一派ノ策略ニ乘ゼラレ徐世昌ヲ除外シ居リテハ徐ハ君子人タルヨリ自ラ進ンデ張勲ト争フコトハセザルモ幸ニ公使ノ勸告ニ依リ張勲ヲ押ヘルコトヲ得且徐世昌出廬ノ道展開セバ徐ハ必ス時局收拾ノ任ニ当ルベシト告ゲ公使ハ然ラバ徐ト段ニ面談シ其ノ場合出廬スルコトノ言質ヲ求メ置キ吳レトノ話ニ依リ生ハ之ヲ引キ受ケ帰津セル経過ニ有之候

從テ昨日段祺瑞氏ニ面会シ此時局ヲ收拾スルニ支那流ノ体面ヲ云為シテ中外ノ認メテ柱石トセル徐世昌ノ如キガ時局ノ趨移ヲ一一張勲ノ我儘ニ放委シ李經義一派ノ策士ノ為ス儘ニシ自ラ進ンデ展開ヲ図ラザルモノハ國家ヨリモ体面ヲ重シトシ此危急存亡ノ秋ヲシテ益々危急ニ陥ラシメ延イテ東洋ノ平和ヲ害スルハ隣邦タル我ノ堪ユル所ニアラズ若シ夫レ中國ノ柱石トセル徐世昌氏竝ニ閣下等カ最善ノ努力ヲ為セバ此時局ヲ適正ニ收拾スル決シテ難事ニ非ズト信ズ然ルニ旧套ヲ追ヒ私人ノ体面及關係又ハ世説ヲ顧慮シ支那一

流ノ内面的運動ニ依頼シ自ラ進ンデ其ノ道ヲ求メザルハ之レ恰モ中国柱石タルベキ諸賢ノ自ラ中国ヲ放棄スルモノナリ若シ恁ノ如クニシテ放棄セラル、アラバ隣邦タル敝國ハ更ニ考慮ヲ為サザルベカラズト敵談セルニ対シ段氏ノ曰ク徐氏ハ勿論自ラモ國家ヲ念トスル切ナリ然ルニ今ヤ黎總統ヨリ調停ヲ依嘱セラレタル張勲ハ其目的トセル復辟ニ我々ノ時期ニアラズト反対セルト李經義一派ノ運動ニ依リ中外ノ認メテ柱石トセル徐世昌氏ニ何等ノ相談スル所ナク勝手自盡ニ振舞ヒツ、アリ此際徐世昌氏トシテ進ンデ其權ヲ我ニ与ヘヨトハ出テ難ク又張勲ト争ヘバ更ニ紛擾ヲ大ナラシムル虞アリ故ニ已ムヲ得ズ傍観スルニ至レルモノニシテ決シテ國家ヲ念トセザルモノニアラズト談セルニ対シ我ハコハ一応御尤ナリ從テ

中国政府ハ今ヤ国会ヲ解散シ而シテ新内閣ヲ組織セントス然ルニ現大總統ハ國家存立ノ基礎条件タル約法ニ依リ現存セルモノ而シテ國務員ヲ任命スルニハ約法ノ規定限外ニ出ヅル能ハズ若シ其間適當ナル辦法ヲ設クルコトナク國務員ヲ任命セバ之レ黎元洪一個ノ任命セルモノニシテ國家トハ何等交渉ヲ有セス從テ其行為ハ國家國民ノ責ヲ負フベキモ

国ハ亂麻ノ如キ状ヲ馴致スルモ知ルヘカラズ然ラハ隣邦帝國ハ四囲ノ状勢ニ逼ラレ現在ノ親善主義ヲ放棄スルノ已ムヲ得ザルニ至ルモ知ルベカラズ之れ中國ノ柱石タル徐氏竝ニ閣下ノ切ニ考慮ヲ望ム所ナリト論ジタルニ段氏ハ沈思默考ノ後答ヘテ曰ク  
貴示ハ実ニ我意ヲ得タリ此際辦法ヲ設ケテ國家存立ノ基礎条件ヲ確立スルハ最モ必要トス幸ニ此辦法成立スルアラバ徐世昌氏モ進ンデ其任ヲ尽スニ客ナルモノニアラズ只現状ハ自ラ進マントスルモ四囲ノ状況之ヲ為サシメザルニアリ希クハ諒トセヨ

生曰ク然ラバ貴國有力者ニ於テ此ノ辦法成立シ尽力セラル、ト共ニ我ハ林公使ニ進言シ間接ニ成立ヲ促スノ道ニ努ムベントノ意見ノ交換ヲ了シ候次第二御座候  
恁クテ此旨趣ヲ電話ヲ以テ林公使ニ進言シ更ニ別紙電報写第十号ヲ發電セル経過ニ有之候  
更ニ北洋派タル張勲ガ其首領トセル徐世昌氏一派ヲ度外視スルニ至レル所以ハ張勲ハ元來復辟ヲ目的トシ彼カ今日猶辯髮ヲ存シ辯髮ノ軍兵ヲ養成シツ、アルハ實ニ其目的復辟ヲ主一トセルヤ明カナリ然ルニ徐世昌氏ハ正面ヨリ之カ反対ヲ唱ヘズ只時期ヲ待テト論シツ、アリシニ今回愈々挙兵

六七七 六月十七日

勝田大藏大臣宛(電報)ヨリ

## 王士珍内閣成立セントスル此際帝国ハ傍観ス

## ベキニ非ザル旨進言ノ件

六月十七日夜大原氏宛發電写(第十二号)

六月十八日

勝田大藏大臣宛(電報)ヨリ

## 王士珍内閣成立ヲ阻止シ徐一派ヲシテ内閣ヲ

## 組織セシムル方策ニ付建言ノ件

六月十八日午後十時發電写(第十三号)

今回北洋派ノ二分セルハ林公使、田中次長ヨリ各方面ニ復辟反対ノ勧告ヲナシ殊ニ曹、陸ニ運動セシタル為メ徐一派ハ日本ノ意ニ反スルヲ不可トシ張勲ニ復辟ノ不可ヲ諭シタリ張勲ハ茲ニ徐一派ニ不快ノ念ヲ持チ且ツ彼元來ノ反日本思想ニ加ヘテ親米派ノ乗ズル所トナリ遂ニ徐一派ヲ疏外セルニ至レルモノナリ此ノ消息ヨリスルモ帝国ハ傍観スル能ハザル關係アリ李經義内閣ハ督軍ノ反対ニテ成立困難トナリ王士珍内閣成立セントスルニ張勲ヲ後楯トセバ李ト大差ナク又王ハ政務評議会ニテ参戰ニ反対セルニ見ルモ一寸厄介ナリ此際一押セバ前電臨時国政審議府ヲ造リ徐世昌出廬シ段内閣成立シ帝国ノ利益ト一致スペシト信ズ

曹氏林公使ニ会シタリ公使ハ王士珍ニ警告スルトノコトナリシモ斯ル生温ルキコトニテハ機会ヲ逸スル虞アリ公使ニ適機ノ処置ヲ任カス様御尽力乞フ

一〇 中国問題ニ関スル西原龜三報告雑件 六七七 六七八

六七九

六月十九日

勝田大藏大臣宛(電報)ヨリ

藤原氏何日着ク答カ返

スルニ至リ張勲ハ今ハ時期ナリトセルニ対シ曩日来林公使田中參謀次長始メ在支帝國官憲ハ飽迄復辟ノ中止ヲ各方面ニ勸告シ殊ニ曹汝霖陸宗輿ヲシテ徐世昌段祺瑞ヲ始メ北洋派ノ中権ニ運動セシメ茲ニ徐氏ハ張ノ復辟主張ニ対シ反対ヲ声言シ其時機ニアラザルヲ切言セル結果一徹ナル張勲ハ為ニ反徐段思想ヲ湧起シ折柄李經義一派ノ策略ニ乘シ更ニ復辟反対ハ日本ノ主張ニシテ徐段一輩ハ日本ト特別ナル関係ヲ有セルモノナリ等ノ世説ヲ吹聴シ茲ニ離間中傷策ヲ講ズルニ至リ現時局ヲ紛糾セシメタルモノニシテ彼ノ米國公使ノ勸告ニ依リ親米派ノ背景ヲ造リ更ニ林公使以下ノ復辟中止勸告ハ遂ニ徐一派ヲシテ茲ニ陥ラシメタルモノニ御座候事情恁クノ如クナルヲ以テ帝国トシテ徐一派ヲ現在窮地ニ陥ラシムルノ其ノ原由ニ顧ルモ將タ帝國カ東洋永遠ノ平和ヲ維持スル宣言ト責任ニ對シテモ適正ナル方法ニ依リ支那ノ禍乱ヲ防止スルノ最良政策ヲ実行スルハ中外ノ認メテ是トスル所無論夫々御施為トハ存候モ存外當方ニハ其形跡ヲ認ムル能ハズ嗚呼千載一遇ノ機会ヲ失スルカト嘆声ヲ發スルノ已ムヲ得サルニ瀕シ居申候 勿々

六七九

六月十九日

勝田大藏大臣宛(電報)ヨリ

六七七

## 王士珍内閣ノ成立ヲ阻止シ徐一派ヲシテ内閣

## ヲ組織セシムル計画ノ状況報告ノ件

拝啓陳者曩日來疲労ノ果ナルヤ体平常ナラズ半臥半起ノ状ニ消光寵在候モ本日ハ略ホ回復御放念被下度候偕テ李經義内閣ハ各督軍ノ反対ニ依リ今ヤ流產セントシ王士珍内閣出顕セザル哉トノ状ヲ呈シ候然ルニ王士珍ハ曩ニ對独断交ニ於テモ独逸ノ勝利ヲ唱ヘ反対ノ意ヲ示シ徐世昌ニ説カレ賛成セルノ経過ニシテ更ニ國際政務評議員会ニ於テモ前説ヲ改メズ独逸ノ強ヲ称シ參戰ノ決シテ中國ヲ利スル所以ナラズト論シタル趣從テ王内閣カ帝国並ニ協商國ノ所期ト一致スル歟ハ疑問トスル所更ニ其成立ノ張勲ヲ後援トスルアラバ李内閣ト敢テ大差ナキノ顔触トナリ所謂親米派ノ閥僚タルハ疑ナキ処殊ニ張勲最近ノ行動ヲ見ルニ親米ノ傾向ハ益々顯著タルモノアリ即チ親米派ノ請ヲ納レ陳錦濤（親米ノ巨頭ナリ）ノ保釈ヲ二回迄要求セルモ審判所ノ之ニ応セザル為尚強要シテ已マザルアリ更ニ英米煙草会社ヨリ前中国銀行總裁徐恩元ノ運動ニ依リ煙酒銀行（張勲ノ子息及一族ガ其首脳ナリト云フ）ト一種ノ関係（英米煙草販売ニ関シ及代金取扱ニ非サル乎）ヲ結ヒ資金ノ供給ヲ受クルニ至レ

六八〇 六月二十一日 西原龜三（天津出張中）ヨリ  
勝田大蔵大臣宛（電報）

## 中国ノ政局渾沌タル此際林公使調停シ時局ヲ

## 收拾スルヲ可トスル旨進言ノ件

六月二十一日午後一時発電写（第十四号）

電承知今腸加多児ニテ臥セリ

政局ハ又々渾沌トナリ見當付カヌ或ハ李内閣成立スルモ知レヌ此際帝国力傍観セバ決シテ良キ結果ヲ見ルコトナシ今支那ニハ適當ナル調停役ナシ故ニ林公使カ進ンデ調停ノ勞ヲ取リ時局ヲ治ムルノ策ヲ取レバ局面ハ展開セラルベシ公使モ此ノ趣旨ハ賛成ナルモ政府ノ態度ニ依リ実行難トセリ帝國ハ我閥セズトシテ自然ニ放任スルカ何分ノ御回答ヲ待ツ

ツ

六八一 六月二十四日

西原龜三（天津出張中）ヨリ  
勝田大蔵大臣宛（電報）

## 李經義總理就任及該内閣ニ対スル反対激烈十

## ル旨報告ノ件

六月二十四日正午発電写（第十五号）

李經義ハ本日總理ニ就任スル旨通電セリ但シ直隸、山東、

一〇 中国問題ニ関スル西原龜三報告雑件 六八〇 六八一

六八二 六月二十二日

西原龜三（天津出張中）ヨリ  
勝田大蔵大臣宛（電報）

## 四国団ヨリ李内閣ニ対シ五百万円貸付ノ相談

## ノ件

六月二十五日午後十二時発電写（第十六号）

李内閣成立セルモ督軍ノ顔丸ツブレノ為メ倪嗣冲、張懷之曹鏡等ハ今最後ノ手段ヲ取ル計画中ナリ其ノ結果ハ二三日内ニ知レル筈、然ルニ財政部ノ話ニハ四国団ヨリ五百万円内渡ヲスル相談アリト云フ今李内閣ニ金ヲ貸スコトハ北洋派ノ反感ヲ買ヒ、大局ヨリ宜シカラズ是非中止セラレ時局ノ模様見テレタシ何分ノ返待ツ

六八三 六月二十五日

西原龜三（天津出張中）ヨリ  
木村朝鮮銀行理事宛（電報）

## 奉天官銀号整理資本金名義ノ五百萬円借款申込

## ノ件

六月二十五日午後十二時発電写（木村氏ヘ）

奉天官銀号整理資金五百万円省ノ保証ニテ借りタシト云フ

リ（借款ナリトノコトナルモ小生ノ推測ニテハ預金ニ非サルカトモ考フ）トノコトニ有之英米煙草トシテ日本勢力ノ増大ハ彼カ最モ厭フ處慧眼ナル彼ハ必ス適応ノ画策ヲ廻ラスハ必然ニシテ彼ハ東洋ニ於ケル唯一ノ宝庫タル支那ヲ其掌中ニ維持セント欲セバ対敵勢力ノ増大ヲ防止スルハ当然トスル処彼カ既ニ張勲ヲ介シ其策ヲ廻ラセルハ彼等ノ機会ニ投スルノ敏ナル感称ノ外ナク候日本ノ実業家ハ勿論当局者モ此辺ノ留意ト画策ヲ怠ラザルノ秋ヲ期待シテ已マズ候既ニ李内閣ヲ成立ニ終ラシメントスル方略ハ曹汝霖氏ト主トシテ倪嗣冲ノ画策ニ依リ十省督軍ノ反対ニテ流產ニ瀕セリト雖モ正ニ湧起セントスル張勲ヲ後楯トスル王内閣ノ出顕ヲ阻止セザル可カラズ是カ阻止ハ既報臨時国政審議府ヲ組織セシム可ク四困ノ状勢ヲ造為スルニ在リ夫々画策中ニ連合ニ依リ黎總統張勲ニ要請スルノ計画ニ進ミシ、アル事情ニ候此間ニ处シ吾公使ノ間接的援護忠告ヲ其实行ニ於テスルヨリモ帝国ノ大義ヲ示ス上ニ於テ将来ニ波及セシムルニ緊要トスル処ニ有之候幸ニ機宜ヲ誤ルナクンバ至幸トスル処ニ御座候 刃々

六八二 六八三

六七八

条件急ギ返待ツ正式ノ申込ハ張督軍ヨリ貴支店ニセシムベシ

シ

六八四 六月二十六日

西原龜三(天津出張中)ヨリ  
木村朝鮮銀行理事宛

奉天官銀号整理資金名義ノ五百萬円借款条件

回示アリタキ件

拝呈爾來迂余曲折大芝居ハ一入骨ガ折レ申候昨日倪嗣冲氏ヨリノ依頼トシテ曹汝霖氏ヨリ奉天官銀号整理資金名義ヲ以テ金五百萬円也奉天省ノ保証ニテ借款申込有之候間其旨打電仕候条件何分御回示期待仕候正式ニハ張作霖ヨリ奉天貴支店ニ申込候事ニ可致候

藤原君一昨日到津直ニ北京ニ行キ昨夜再来津仕候 無々

六八五 六月二十六日

西原龜三(天津出張中)ヨリ  
勝田大蔵大臣宛

田中參謀次長ノ中國各方面ニ對スル時局收拾

忠告ニ閔スル批判及時局ノ対策所見開陳ノ件

拝呈爾來奔馬燈政局ハ弥々一昨二十四日ヲ以テ李經義總理ニ就任スルニ至リ陸軍王士珍海軍薩鎮冰ノ外ハ顔触未タ揃ハズ一面督軍ノ反対激烈ナルモノアリ或ハ流產ニ至ラズ哉

一黎總統ノ位地ハ現状ニシテ時局收拾ノ必要ナルコト

一南方ニ於テ岑春煊、唐紹儀其他有志ニ会談セルカ何レモ

武力ニ訴フル迄ノ考ハナシ偏ニ平和的解決ヲ欲シ國本ヲ

確実ニセンコトヲ望メリ

一北洋派ハ此際四團ノ狀況ニ見テ襟度ヲ大ニシ和衷時局ノ

收拾ヲ図ラル、コトヲ望ム

以上ノ趣旨ハ復辟不可、黎總統現狀維持、南北妥協ニ外ナラズトシ北洋派ハ其言動ヲ意外トシ殊ニ田中氏ハ去歲革命党ニ關係アリシトノ疑アルヲ以テ南北妥協ハ其辺ヨリ主唱セルモノトシ決シテ日本政府ノ意見ニハ非ザルベクト推考シ居リシ模様時恰モ前後シテ米國公使ノ勸告ニ依リ親米派ノ乗スル処トナルト共ニ張勲ハ徐世昌一派ノ復辟尚早ヲ不快トシ茲ニ北洋派一分ノ傾向ヲ生シ更ニ田中次長ハ天津ヲ去ルニ臨ミ段芝貴ニ対シ忠告シテ曰ク

一吾意見ハ既ニ述ベタリ此時局ハ可及的急速ニ收拾スルコトヲ要ス現在ノ如ク各省獨立シテ鉄道沿線ニハ武装セル軍

隊屯在シ殊ニ北京ニハ張勲ノ兵駐屯シ時局收拾遷延セバ必ス意外ノ变アルヲ恐ル更ニ中國銀行ハ近來多額ノ紙幣ヲ發行シ經濟上默認ス可カラザル状ニ在リ此ノ狀況ヲ持続セバ

一〇 中国問題ニ閔スル西原龜三報告雑件 六八五

ト存候然ルニ彼李經義ガ張勲ノ後楯ヲ賴ミトスルモ(張勲ハ外ニ対シテハ李ノ不義ヲ責メ自分ハ閔セスト唱フルモ是ハ真実ニ非サルヘシ林公使、田中次長等ハ此説ヲ信スルモ)督軍ノ大反対ト徐世昌一派カ援護セサル可キヲ承知シ自ラ其宣言ニ三ヶ月ヲ限リトスト唱ヘ總理ニ就任セル所以ハ張勲以外必ス外援(米国及米国派)ヲ唯一ノ賴ル處トセルモ

ノナル可クト存候彼李經義ニシテ彼ノ強硬ナル態度ニ出テシモノハ是レ自ラ賴ム処アリシニ依ルモノニシテ自力ノミヲ以テ恁ル芝居ハ現在ノ支那ニ見ル可カラズニ候即チ袁ハ英獨米ヲ左右ニ擁シテ而テ進マントセルモノ其辺ノ裏面ト現態ヲ考察セバ李經義一派カ唯張勲ヲ賴ミトセルモノニ非サルハ勿論更ニ張勲カ林公使、田中次長ニ言明セル如ク張ニシテ尚未關係ナキトセバ李カ四面楚歌ノ間ニ就任セル内容ハ実ニ意外ナルモノヲ包藏スルコトヲ想像シ得ベク候今回田中參謀次長ノ行動ハ自ラ得タル模様ニ候モ時局ヲ一層紛糾セシメ北洋派ヲシテ英氣ヲ挫カシメ殊ニ北洋派ヲ二分セシムルノ傾向ヲ生ゼシメタルニ終リ申候其経路ハ既報ノ通田中次長ハ各方面ニ左ノ忠告ヲナセリ

一復辟ノ不可ナルコト

或ハ外国干渉ノ至ル虞ナシトセズ可成ハ自分(田中)カ帰任迄ニ適當ナル解決アルコトヲ望ム然ラサレバ帰任後相当ノ措置ヲナサブル可カラズ云々ト此旨趣ヲ徐世昌、段祺瑞並ニ督軍一派ニ伝ヘラレンコトヲ望ム此脅迫的忠告ヲ親米派方面即チ李經義張勲等ニ成スニ於テハ或ハ効果アリシヤ知ル可カラズト雖モ時局收拾ニハ外面ニ列セル即チ攻撃的方面ニシテ日本ト親近セル徐世昌一派ノ段芝貴ニ通告セル為メ不干渉ヲ称スル日本政府ノ殊ニ重要ナル位置ニ在ル田中氏ノ言動トシテ甚々意外トシ折柄張勲ヨリ此際各省獨立ヲ取消シ撤兵センコトヲ求メ而テ自ラモ撤兵ス可シトノ通告セル為若シ干渉ニテ撤兵スル如キアラバ督軍ノ面目ニ閔スルヲ以テ寧ロ此際独立ヲ取消シ李内閣成立スル如キアラバ他ノ方法ヲ以テ倒壊ス可シトノ議一決シ遂ニ過日来夫々独立ヲ取消セル事情ニ御座候然ルニ独立取消ト共ニ李經義内閣ハ成立スルノ段取トナリ張勲ノ北京駐兵ハ撤退ノ模様ナク茲ニ於テ督軍ノ面目ハ弥々丸潰レトナリ昨日來倪嗣冲、張懷芝、曹錕ヲ中心トシテ对抗策ヲ講シ居リ申候兩三日内ニ其計画ハ明瞭可致候

要スルニ支那ノ政情ハ虛心坦懐妥協苟合以テ時局ヲ收拾スルコトハ不可能ニ候何トナレバ表面ハ敵モ味方モ会談セバ唯々諒令ニ依リ挨拶シ決シテ腹心ニ非サレバ其眞情ヲ告ケサル積世ノ因習ハ一朝ニ打破セラル可クモ非ズ候彼ノ妥協戦ナルモノハ意見ノ一致シタルニ非ズシテ強者ニ附隨スルト云フノ意ニ外ナラズ候既ニ南方ハ新内閣ノ制令ヲ受ケズト宣告シ北方督軍又李内閣ニ反対シ正ニ適切ナル反対行動ヲ取ルニ至ル可ク候是レ米国ノ勸告ト田中次長ノ忠告ハ相俟テ妥協苟合ヲ期待シテ其ノ能ハサルノ結果ニ御座候此間ニ處シ帝国ハ不干涉主義ナランニハ宜シク不干涉主義ヲ維持シ而テ可及的手腕ヲ以テ帝国ノ利益ト一致セシム可ク時局ヲ展開セシムルヨリ外アラザル可クト存候即チ

一北方督軍ノ新活動ニ依リ李經義内閣ハ必ス流產ニ至ル可ク而テ其目的トスル徐世昌ヲ擁立シ臨時政府ヲ組織シ段祺瑞ヲ臨時總理トシテ北方督軍連盟シテ内閣ノ維持及國政ノ改革ヲ実行スルコト伐スルコト北方督軍ハ進テ其任ニ当ルト声言シ居レリ一北方各省ヨリ中国ノ病根タル税制整理、貨幣更革ヲ実行

六八六 六月二十七日 西原亀三(天津出張中)ヨリ  
勝田大蔵大臣宛(電報)

#### 李内閣ノ制令ヲ拒否スル旨ノ倪嗣冲等ノ盟約締結等時局ニ関シ報告ノ件

六月二十七日午後一時発電写(第十七号)

倪嗣冲盟主トナリ山東、直隸、奉天、河南、山西、浙江ハ李内閣ノ制令ヲ受ケズトノ盟約ヲ結ビ他ノ省モ追々賛成ノ模様ナリ又王士珍ハ總長就任ヲ拒絶セリ米国及親米派カ如何ニ固守スルモ李内閣ハ流產ニ終ル可シ右督軍ノ盟約ハ極秘ナリ

奉天借款ノ件急キ御指揮ヲ乞フ

六八七 六月二十八日 美濃部朝鮮銀行總裁(西原亀三(天津出張中)ヨリ)  
奉天官銀号整理資金トシテ五百萬円貸付方承

#### 知ノ件

六月二十八日朝着電 美濃部總裁發電

奉天省ノ保証ニテ奉天官銀号ニ整理資金トシテ五百萬円貸付ノ件承知利子ハ年七分五厘期限壱ヶ年其後ハ更ニ協定スルコトシタシ尚奉天省保証ノ外官銀号ノ提供シ得ル担保品アラバ是ヲ得タシ但シ右ハ實際奉天官銀号ニ對スル經濟借款ノ旨趣ナルヲ以テ奉天省ヨリ當行奉天支店長ニ正式申出ヲ待チテ詳細協議ス可シ

六八八 六月二十八日 西原亀三(天津出張中)ヨリ  
美濃部朝鮮銀行總裁宛

#### 奉天五百万円借款ハ北洋派連盟ノ楔子タルニ

##### ヨリ特別ノ配慮アリタキ件

挙呈益々御清適奉賀候中國政情ハ迂余曲折ノ為メ予定ノ方針ニ依準スル能ハズ候處漸ク根基アル軌道ニ乗ジ候経路ニ相成去二十五日木村理事宛奉天省保証ニテ奉天官銀号整理相

一〇 中国問題ニ関スル西原亀三報告雑件 六八七 六八八 六八九 六八三

シ所謂善政ヲ施シ國民ノ心機ヲ一転セシムルコト即チ以上ノ實行ニ帝国ハ其資金ト知能ヲ供給シ以テ支那統一ノ業ヲ完成スルヨリ外無之ト存候妥協苟合ハ帝国ニ於テスラ能ハサル処之ヲ支那ニ施サントスル難イ哉ニ候要ハ時局ノ傾向ハ右スルモ左スルモ分裂ハ免レズ候吾ハ其一ヲ擁護シテ彼ノ兵力ニ金力智力ヲ貸与シテ全圏ヲ占ムルヨリ途ハ無之候今ニシテ妥協苟合ヲ求ムル田中説ノ如キカ吾廟堂ニ遍在セリトセバ帝国ノ前途亦其軌ヲ一ニスルニ至リ可申飽迄予定計画ニ進歩候様御尽力相成度候 匆々

スラ能ハサル処之ヲ支那ニ施サントスル難イ哉ニ候要ハ時局ノ傾向ハ右スルモ左スルモ分裂ハ免レズ候吾ハ其一ヲ擁護シテ彼ノ兵力ニ金力智力ヲ貸与シテ全圏ヲ占ムルヨリ途ハ無之候今ニシテ妥協苟合ヲ求ムル田中説ノ如キカ吾廟堂ニ遍在セリトセバ帝国ノ前途亦其軌ヲ一ニスルニ至リ可申飽迄予定計画ニ進歩候様御尽力相成度候 匆々

六八六 六月二十七日 西原亀三(天津出張中)ヨリ  
勝田大蔵大臣宛(電報)

#### 李内閣ノ死命ヲ制スル要道ナル旨報告ノ件

六月二十七日午後一時発電写(第十七号)

藤原君ハ本朝發北京ニ帰リ申候爾今北京本拠トシ常吉徳寿君方ニ寄寓致候 御座候間特ニ御留意御高配祈ル処ニ御座候

資金ノ名義ニテ金五百万円借款ノ通電致候處本日御回電ニ接シ委曲了承仕候御回示ノ旨趣ニ基キ夫々内交渉ヲ遂ケ張督軍ヨリ正式申込ノ順序ニ進ミ可申候 御承知ノ通北洋派連盟ノ楔子タル可キ本借款ハ延テ帝国永遠ノ利益ト一致セシム可ク支那ヲ誘掖開導スルノ導火線ニ君方ニ寄寓致候 御座候間特ニ御留意御高配祈ル処ニ御座候

六八九 六月二十八日 西原亀三(天津出張中)ヨリ  
勝田大蔵大臣宛

#### 倪嗣冲等ノ李内閣ノ制令ヲ受ケズトノ連盟ハ

勿々

挙呈陳者当地ハ日々九拾五度内外ノ暑熱昼夜消光不一方ニ御座候弥々議會モ開會セラレ喚御多端ト遙察仕候

偕テ中国政界モ既報ノ通李經義總理ニ就任シ陸海兩總長任命ノ外未タ閣員未定王士珍ハ就任ヲ拒絶セル模様ナルモ再三ノ懇請ニ依リ就任セル趣キ薩鎮冰ハ未定ノ折柄督軍連ハ其声言ト張歟ニ調停依嘱ノ旨趣更ニ徹底スル処ナク所謂督軍ノ顔ハ丸潰レト相成候間茲ニ倪嗣冲盟主トナリ李内閣ノ

六八九

制令ヲ受ケズトノ連盟ヲ結ビ昨日迄ニ之ニ参加セルハ山東、奉天、直隸、河南、山西、浙江ノ六省ニシテ江西、甘肅、陝西モ贊成ス可キ模様吉林黒竜江ハ内部ノ紛糾アリ未定ニ候モ要スルニ強キ者ニ参加スルハ支那ノ政情ニ付キ弥々事実トシテ実願スルニ至ラバ南方ヲ除キ必ス風靡可申ト存候張勲ハ尚兵ヲ擁シテ駐京致居候間はヲ徐州ニ帰還セシムルコト必要ニ候ニ付一方此連盟ヲ結ブト共ニ其方策ヲ廻ラシ居候模様ニ御座候

前回ハ米国ノ勧告並ニ田中次長等ノ盲動ニテ阻止セラル延テ張勲ハ親米派ト結ビ遂ニ現状ニ馴致候モ既ニ両広ハ自主ヲ宣言シ雲貴ハ必ず是ニ参加ス可ク恁クテ政情大ニ緊張セル折柄唯李經義内閣ヲ倒壊セバ以テ目的ヲ達スルノ唯一ト相成此倒壊ハ各省カ李内閣ノ制令ヲ受ケズトノ連盟ハ其形ハ消極的ニ候モ内閣ノ死命ヲ制スル要道ニ有之夫々準備整ヒツ、アル模様ニ候間今回ハ大丈夫予定ノ計画ニ進捗可申ト存候奉天借款ニ付キ鮮銀給裁ヨリ承諾ノ御回電ニ接シ委曲了承仕候要スルニ北洋派ノ連盟ヲ鞏固ニスル唯一配剤ニシテ殊ニ帝国ノ利益ト一致セシム可キ楔子ニ候間可及的御配慮切

望仕候徒テ曹汝霖氏目下在北京ニ候間今明ノ間夫々内容ノ協議ヲ遂ケ倪嗣冲張作霖トノ交渉ヲ了シ正式申込ノ手続ニ可致候

六九〇 七月二日

西原亀三(天津出張中)ヨリ  
勝田大蔵大臣宛(電報)

勿々

## 張勲宣統帝ノ復辟ヲ宣シ之ニ対シ徐、段ノ反

七月二日前三時発電写(第十八号)

張勲ハ昨夜ヨリ復辟運動ヲ始メ黎ニ退位ヲ逼リ遂ニ今日宣統帝ノ上諭ヲ發シ復辟ヲ実行シ張勲、王士珍、陳宝琛、梁敦彦、劉廷琛、袁大化、張鎮芳等議政大臣ニ張勲直隸總督北洋大臣馮國璋、南洋大臣ニ各督軍巡撫ニ任命シタリ然ルニ徐世昌、段祺瑞ハ反対ヲ声明シ倪嗣冲張懷芝始メ督軍ノ多クハ反対スルナラントノ推測ナリ

此ノ電章公使ニ伝ヘ請フ

此運動ニ康有為參加シ又独逸公使帰國ノ節徐州ニ張勲ヲ訪ヒ鉄砲一万砲三門ヲ無償ニテ譲リ独亞銀行ノ在金ヲ使用スルコト等モ約束シタルヨシニテ此軍器ハ今張勲ノ手許ニ在ルハ確実ニテ又今回ノ軍費モ其ノ金ナル模様特ニ注意ヲ請フ

六九一 七月二日 西原亀三(天津出張中)ヨリ  
勝田大蔵大臣宛

## 張勲ノ復辟運動ハ紛擾ヲ惹起スベク徐一派ヲ

シテ時局ヲ收拾セシムル外無シト認ムル件

七月二日午前九時発電写(第十九号)

復辟ノ上諭ニ張勲馮國璋陸榮廷ノ上奏ニ依ルトアルモ馮ハ何等ノ相談ヲ受ケズト云フ此運動ハ張勲一人ノ仕事ニシテ根拠無キ模様ナリ再び紛擾ハ免レズ要スルニ張勲ヲ抑ヘ徐一派ニテ臨時政府ヲ造リ時局ヲ收拾スル道ニ導クヨリ外ナシト信ズ援助ヲ望ム

張勲ハ独亞銀行ノ現金七百万紙幣二千万使用ノ自由ヲ得徐恩元張鎮芳梁敦彦等独逸側ト密交シ徐ハ張勲ノ兵護衛シ上海天津ニテ現金ヲ集メ居レリ

六九三 七月三日 西原亀三(天津出張中)ヨリ  
勝田大蔵大臣宛

## 張勲復辟ニ關シ段祺瑞ノ行動、張作霖、馮國璋等ノ態度、黎總統日本公使館ニ遁入等報告

ノ件

押呈陳者昨報小生墨書翰落合君ニ托送御披見被下候ト存候段祺瑞氏ハ昨夜癸卯軍ヲ統帥ス可ク某地ニ向ヒ申候小生ノ察スル處山東ト直隸ノ界ナル馬廠ナランカト存候同地ニハ

段氏ノ命令ニ帰服スル兵屯在シ亦山東ノ張懷芝ハ復辟反対ヲ声明シ段祺瑞ノ指揮ヲ受ク可ク即チ馬廠ニテ山東ノ兵ト合ニスル計画ナラン歟ト推察致候倪嗣冲モ無論段ト一致ス可クト存候只奉天ノ張作霖ガ由來復辟論者タリシ關係上其向背如何ト被察候然レドモ其反対タル馮麟閣ハ張勲ニ附隨致居殊ニ曩日來張作霖ハ反張勲ノ態度ヲ顯シ其地位關係ヨリシテ徐段一派ニ参加スルヲ安全トシ合ニス可キ乎ト存候

馮國璋ハ復辟ヲ上奏セズ策士ノ虚構ヲ憤慨シ反対ヲ声明セリ各督軍モ追々參加ス可シ極秘ナリ

馮國璋ハ復辟ヲ上奏セズ策士ノ虚構ヲ憤慨シ反対ヲ声明セ

六九二

六九二 七月三日 西原亀三(天津出張中)ヨリ  
勝田大蔵大臣宛(電報)

## 段ノ反張ノ軍事行動、張勲ト独亞銀行トノ関係等ニ關シ報告ノ件

七月三日午前十二時発電写(第廿号)

段ハ某軍ヲ統帥ス可ク某地ニ向ヘリ、弥々旗上スル模様ナリ各督軍モ追々參加ス可シ極秘ナリ

馮國璋ハ復辟ヲ上奏セズ策士ノ虚構ヲ憤慨シ反対ヲ声明セ

六九三

六八五

坂西君ヨリ菊池町野両氏ヲ介シ張勲ニ左袒セザル様忠告セシメ亦昨夜小生ヨリ菊池氏宛書信ヲ落合君ニ托シ督軍一致ノ必要ト張勲ノ後援ガ独逸ナル事ヲ告げ其誤リナキヲ希望致置候徐段一派ハ段芝貴ヨリ張作霖ニ其參加ヲ交渉致居候間先づ大丈夫トハ被考候モ大ニ懸念罷在候宣統帝ノ復辟上諭ニ張勲馮國璋陸榮廷ノ上奏ニ依ルトアルモ馮國璋ハ其事実無ク策士ノ虚構ナリト憤慨シ復辟反対ノ旨声明致候

梁啓超ハ復辟ハ國家ヲ危殆ニ陥ラシムモノナリトシ長文ノ反対意見ヲ各省ニ通電致候  
張勲ハ既報ノ通り獨逸公使トノ密約ニ基キ独亞銀行現在現金約七百万弗紙幣約式千万弗ノ自由使用ヲ得独亞銀行側トハ徐恩元張鎮芳梁敦彦接衝シ徐恩元（中国銀行前總裁）ハ張勲ノ兵ニ護衛セラレ上海天津北京間ヲ奔走シ現金ヲ集メ

ツ、アル趣ニ御坐候独逸軍ヲ天津ヨリ徐州ニ運搬セルハ四月中旬ナル模様天津ニハ我軍司令官アリ軍隊駐屯シ總領事館アリ鉄道ニハ吾憲兵見張リシ並ニ守備兵アリ而シテ之ヲ知ラズトセバ其痴ト愚実ニ驚ク可シニ御坐候然ルニ田中次長ト云ヒ殊ニ石光司令官ハ張勲ト昵懇ナリト称シ彼ガ辞令ニ醉ヒ張勲ハ決シテ日本ニ反対スルモノニ非

ズ其説ヲ聽從スルモノトシ応接シツ、アリンハ旬日前ナリシニ顧レバ唯呆然タルモノニ候

唯今坂西氏ヨリノ電話ニ依レバ黎總統ハ昨夜吾公使館ニ逃込目下保護シツ、アル趣キ既ニ御承知ト存ジ打電不申候張勲ハ余程乱暴ヲ敢行シツ、アル模様弥々董卓ヲ模倣致居候状ニ御坐候

新聞通信ニハ絶大ナル圧迫ヲ加ヘ昨日北京新聞ハ天津ニ一枚モ来ラズ本日ハ二三新聞参リ候モ時局ニ就テハ一事ノ記述ル處無ク列国事情ヲ掲載致居候以テ北京ノ状勢察知ニ難カラズ候

勿々

#### 六九四 七月四日

西原亀三（天津出張中）ヨリ

#### 段祺瑞張勲ニ対シ討逆ヲ佈告シ張孤立セント

#### スル状勢報告ノ件

七月四日正午発電写（第廿一号）

段ハ第八師所在地馬廠ニテ討逆軍ヲ組織シ總司令官トナリ討逆ヲ佈告セリ馮國璋ハ一切段ニ賴ルト云ヒ全國響應ノ姿トナリ張勲ハ幼帝ヲ擁シテ孤立セントス窮余ノ場合幼帝ヲ擁シテ滿州ニ逃走スルノ計画ヲナシ居ル

モノアリ之レハ升允馮麟閣等ト日本人モ閔与セル噂アリ其真偽ハ兎モ角窮鼠或ハ此計ヲナスモ知レズ帝国ハ予メ之ガ警戒ヲ必要トス御注意ヲ乞フ

#### 六九五 七月四日

勝田大蔵大臣（ヨリ）

#### 木村鮮銀理事ノ病情通報ノ件

告ノ件

七月五日午前二時発電写（第廿二号）

アルヲ以テ帰朝セシムル手段ヲ取ル様外務大臣ニ依頼シ來レル趣ヲ以テ同大臣ヨリ小生へ貴下へ伝達方依頼アリタリ首相及び政府ニ累ヲ及ボサマ様御注意ヲ乞フ

#### 六九六 七月四日

勝田大蔵大臣（ヨリ）  
西原亀三（天津出張中）宛（電報）

#### 交通銀行ヘ六ヶ月短期借款二百萬円供与ヲ稟請及黎總統國政一切ヲ段祺瑞ニ委任セル旨報

木村理事先月廿日ヨリ病氣昨今輕快セルガ未ダ事務ヲ取ル事ヲ得ズ念ノ為メ通知ス

#### 六九七 七月五日

西原亀三（天津出張中）ヨリ  
勝田大蔵大臣（ヨリ）

#### 交通銀行ヘ六ヶ月短期借款二百萬円供与ヲ稟請及黎總統國政一切ヲ段祺瑞ニ委任セル旨報

中国ノ帝制ハ日中両國ニ利益アリト信ズル旨及林公使ヨリ西原ヲ帰朝セシムル様申出アリ

#### タル旨通報ノ件

七月五日十五時五十分着 大原

復辟ノ可否ハ別論ナルモ兎ニ角帝制トナリタル事ハ日支両國ニ利益アル事ト信ズ従ツテ張徐等内部ニ暗鬪スルハ支那ノ狀態ヲ何時迄モ不安ニ置ク儀ナレバ融和ノ道ヲ相執リタシ尚一両日前公使ヨリ貴下ノ滯支ハ時局ヲ紛糾セシムル虞

黎總統ハ國政一切ヲ段祺瑞ニ委任スルノ命令ヲ發セリ

京ヲ衝ク計画ナレリ

#### 六九八 七月五日

西原亀三（天津出張中）ヨリ  
勝田大蔵大臣（ヨリ）

#### 張勲ニ対スル討逆軍ノ行動報告並公使団ヨリ

一〇 中国問題ニ関スル西原亀三報告雑件 六九五 六九六

六九七 六九八

六八七

六八八

## 調停ノ議出デザル様措置アリタキ旨稟申ノ件

七月五日午前十一時発電写（第廿三号）

西軍ハ今日北京ニ向フ東軍モ策応ノ筈ナリ北京内外ノ兵ハ

討逆軍ニ参加ス可ク敵ハ張勲ノ兵約四千ナリ張勲ハ是非屠ラザレバ後害ノ虞アリ此際公使団ヨリ調停ノ議出デザル様セラレタシ

但シ北京ノ秩序ヲ維持スルタメ張勲ニ兵ヲ城外ニ退去セヨ

ト警告シ其実行ヲ逼ルハ機宜措置ナリト信ズ

直隸借款急ギ手配ヲ待ツ

西原亀三（天津出張中）ヨリ

六九九 七月五日

勝田大藏大臣宛（電報）

李總理ノ罷免及馮副總統ノ代行總統、段ノ總理任命等ニ關シ報告ノ件

七月五日午後六時発電写（第廿四号）

黎總統ヨリ李總理ヲ罷免シ馮副總統ヲ代行總統ニ段祺瑞ヲ

總理ニ特任スルノ命令ヲナシ總統ノ印ヲ段ニ譲リタルニ付

キ段ハ天津ニ國務院ヲ仮リニ設クル筈

西軍約七千北京近クニ進軍シ張ノ兵ト五哩ヲ去リ対陣ス

昨夜木村氏宛借款金至急入用ニ付キ特別迅速ニ引受ヲ乞フ

達ス可シモ早ヤ大勢ハ決セリ機会ヲ失セズ御措置ヲ乞フ

七〇一 七月六日

西原亀三（天津出張中）ヨリ

中國ノ帝制ハ可ナルモ今次張勲ノ復辟ハ時宜

ト手段ヲ誤リ成功ノ見込無ク帝国ハ段祺瑞ヲ

支援スルヲ要スル旨進言ノ件

挙呈陳者一昨四日左貴電昨五日午後三時了承仕候

復辟ノ可否ハ別論ナルモ鬼ニ角帝制トナリタル事ハ日支

両國ニ利益ナル事ト信ズ從ツテ張（勲）徐（世昌）等内

部ニ暗闘スルハ支那ノ状態ヲ何時迄モ不安ニ擋ク儀ナレ

バ融和ノ道ヲ相取リタン尚一両日前公使ヨリ貴下ノ滯支

ハ時局ヲ紛糾スルノ虞アルヲ以テ帰朝セシムル手段ヲ取

ル様外務大臣へ依頼シ来レル趣ヲ以テ同大臣ヨリ小生ヘ

貴下へ伝達方依頼アリタリ首相及政府ニ累ヲ及ボサミル

様御注意ヲ乞フ

右御電示委曲了承直ニ別紙式拾五号発電写ノ通返電更ニ御

回示ヲ期待仕候

然ルニ其後ノ状況ハ既報書信並ニ別紙電報写ノ通時局ノ現状ハ御電示ト一致不仕候既ニ御承知ト存候モ更ニ重複ヲ厭

## 木村氏容態如何心配セリ

七月五日午後十一時発電写（第廿五号）

七〇〇 七月五日

西原亀三（天津出張中）ヨリ

勝田大藏大臣宛（電報）

時局ノ大勢ハ段一派ノ成功疑ナシト認メラル

ル旨報告並指示アラバ帰朝スペキ旨稟申ノ件

七月五日午後十一時発電写（第廿五号）

昨電見タ帝制贊成ノ意味ハ復辟ノ実状ヲ知ラレザルニヨルカクノ如キ断定ニテ臨メバ大ナル失敗アリモ早ヤ大勢ハ段一派ノ成功疑ヒ無ク此ノ機ニ乘ゼバ帝国ノ予期ト一致スルニ到ル吾ハ何時ニテモ帰ルモ予定ノ目的ヲ進ムル為メ止マレリ

若シ首相及ビ閣下ガ必要ナシトナレバ已ムナク帰ル何分ノ返待ツ

七月六日午後三時半発電写（第廿六号）

西原亀三（天津出張中）ヨリ

勝田大藏大臣宛（電報）

討張軍近ク北京ニ到着スペク大勢ハ決セルニ付機会ヲ失セズ措置方進言ノ件

西原亀三（天津出張中）ヨリ

勝田大藏大臣宛（電報）

段芝貴ノ軍ハ張軍ノ逃グルヲ追ヒ明日遅クモ明後日北京ニ

ハズ御電示ニ対スル関係得貴意候

元來復辟ハ小生モ亦賛成スル処ナルト共ニ支那ヲ共和国トシテ何年毎ニ大總統ヲ選舉セシムルノ大騒動ヲナサシムル

ハ吾帝國ノ利益ト一致セザル可キハ夙ニ承知罷在候然レドモ此ノ復辟ハ所謂其必要ニ逼リタル機会ニ投ズルニ非ザレ

バ反ツテ紛擾ヲ大ニシ遂ニ收拾ス可カラザルニ到ルノ虞アルヲ以テ生ハ昨年來徐世昌一派ニ対シ帝制ハ贊成スル処ナリト雖モ今ハ其時機ニ非ズ今日ノ要ハ強固タル政府ヲ組織シ世界ノ大勢ニ順応セル産業開発國勢振起ノ政策ヲ施為シ以テ民心ヲ一転セシメ而テ後帝制ヲ実行スル是レ最モ安全ナル経路トナスト説キツ、アリシモノニ御坐候然レドモ今回ノ復辟ヲシテ中外ノ認メテ以テ支那ノ柱石トシ殊ニ宣統帝ノ太傅タル徐世昌ヲ中心トシ克ク其ノ間ノ了解ヲ得張勲ガ誠意復辟ヲ実行セルニアラバ督軍連モ其ノ大部ハ是ニ参加シ南方五六省ヲ除クノ外ハ同意スルニ到ルハ瞭然タル処ナルニ拘ラズ張勲ハ徐世昌一派ニ対シテハ勿論各方面ニ対シテモ復辟断念ヲ声明シ亦上京後宣統帝ニ拝謁シ復辟ノ不可ナル所以ヲ告ゲ是ト同時ニ林公使田中次長ニモ其旨ヲ告

ゲ唯時局ノ調停ヲ任スル旨ヲ以テセルニ突然去三十日ヨ

リ是ヲ強行シ一日遂ニ復辟ヲ発表セル経過ニ御坐候更ニ師傅タル世続生母瑾貴妃ヲ始メ宮中ハ痛哭シテ之ヲ阻止セルニ拘ラズ幼帝ヲ擁シテ自ラ議政大臣ノ首席ヲ占メ忠勇親王ノ号ヲ帶ビ所謂董卓ト其軌ヲ一ツニセルモノニ有之殊ニ復辟上諭ニハ張勲馮国璋陸榮廷ノ上奏ニ依ルトアルモ馮国璋陸榮廷ハ何等閔与スル處ナク黎元洪ガ退位奉權ヲ上奏セリトアルモ之又実ニ非ズ要スルニカヽル大業ヲ虛偽ヲ以テ加之中國有力者ト一モ謀ル處ナクシテ之ヲ遂ゲ狂暴ヲ逞ウセントスルモ曷ゾ克ク其ノ目的ヲ達スルヲ得ン遂ニ段祺瑞ノ討逆軍組織トナリ全國之ニ響応シ今ヤ張勲ハ幼帝ヲ擁シテ孤城落日ノ地位ニ陥レル所由ナキニ非ズ候カヽル実状ナルニ帝制ニ対シ贊成ノ意ヲ含ム御電示ヲ得ルニ到ツテハ其報告ノ出処ニ対シ吾人ハ帝国ノタメ嗟嘆セザルヲ得ズニ御坐候

更ニ張勲ガ力ヽル暴挙ヲ敢行セル裏面ハ既報独逸公使トノ密約ニ職由スルナキ歟ヲ疑フノ余地綽々トシテ存シ其軍器ノ無償譲渡独亜銀行在金使用ノ事実ハ今哉明瞭ニシテ此内面ノ事実ヨリスルモ帝国ハ張勲ノ暴挙ニ与スル能ハザルハ敢テ喋々ヲ要セザル処ニ候即チ復辟ハ吾人ノ亦タ期待スル

既ニ討逆軍ハ南北各省軍民一致之ニ賛成シ一ノ反対スルモノナン是レ如何ニ張勲ノ暴横ヲ憤慨セルカヲ証スルニ足ル可ク亦タ此勢ニ乘ジ段祺瑞氏ヲシテ統一ノ業ヲ成サシム可ク援助スルハ寺内内閣成立以来其驥尾ニ附シ支那問題解決ニ關与セル予定ノ方針ヲ遂行スル所以ト存申候

林公使ヨリ小生ノ滯支ハ時局ヲ紛糾セシムル虞アリトノ杞憂ハ或ハ復辟發生以前ナル可ク而テ林公使ハ當時李經義が總理ニ就任セル上ハ先づ李ヲシテ一時局面ヲ收拾セシムルヲ可トスルノ考ナリシ模様ナリシモ小生ハ各督軍ノ意図ハ決シテ林公使ノ當面ノ考トハ其趣ヲ異ニシ若シカヽル考ヲ以テ徐段一派ヲ抑フル如キ事アラバ是レ由々敷結果ヲ貽ス可キヲ認メ殊ニ李經義ノ總理就任ニ対シ張勲ガ敢行セル跡ニ見テ決シテ尋常一樣ナラザルモノアリト推想シ寧ロ一氣呵成ニ李經義内閣ヲ流產ニ終ラシムルハ紛擾ヲ再ビセザル

所以ナルハ勿論帝国ノ期待ト一致セシムル道ナリトシ各督軍ノ意図ヲ告ゲ林公使ニ之ガ反省ヲ求メ督軍ノ行動ヲ助長セシムル事ヲ一再建言セル次第ニ候即チ張勲ノ意図ノ尋常ナラザルモノアリトノ再応得貴意候ハ茲ニ有之実ニ彼ガ獨逸公使トノ密約ノ存セル経路判明シ吾人ノ怪訝トセル始メテ了解ヲ得タル処ニ候林公使ト云ヒ田中次長ト云ヒ張勲ノ外交的辞令ニ醉ヒ自ラ得タルモノアリシハ當時深ク遺憾トセルモノニ候要スルニ駐外帝国当局者ハ其多クハ自惚ニ過ギ一等国ヲ鼻ニ懸ケ一杯ノ酒以テ肝胆相照トシ殊ニ浅慮ナル正直ハ往々他ニ乗ゼラルヽノ機ヲ与ヘ延テ帝国ノ發展ヲ阻止スルノ結果トナリ吾人ノ恒ニ深慨スル処ニ御坐候林公使ノ小生ニ対スル思惑ハ前述ノ事情ヨリセルモノト存候時局ハ夫レカクノ如ク転々シテ今ヤ予期ノ目的ニ乘ゼントシ寺内内閣ノ外交ハ以テ有終ノ美アルノ道程ニ進ミツヽアルモノニ御坐候小生ハ國家ヲ切ニ念トスル終始一貫帝国ノ支那ニ対スル優越ナル地歩ヲ占メ以テ指導誘導ノ実ヲ奏スルノ道程造為ニ昼夜切念シ幸ニ天ノ与ウル時局ハ吾人ノ期待ニ一致ス可ク展開シツヽアル処ニ候

要スルニ此機會ニ乗ジ段祺瑞氏ヲシテ大勢ニ棹シ時局ヲ収

拾シ以テ統一ノ業ヲ成サシムルニ帝国ハ能フ限リノ援助ヲ与ヘ所謂契合一致ノ実ヲ奏シ以テ永遠ニ帝国ニ隨伴驥從セシムルノ根基ヲ確立スルニ御坐候

今ヤ天ハ吾人ニ此好機会ヲ与ヘントス唯当面ノ毀譽褒貶ニ捉ハレ天与ノ好機ニ乘ズル能ハザレバ自ラ吾帝国ヲ危ウスルモノニ御坐候希クハ以テ籌画誤ルナキヲ期待仕候

更ニ昨日午前二時発電ヲ以テ鮮銀木村理事ニ対シ  
直隸省ノ債権又ハ中國銀行紙幣ヲ担保トシ直隸省保証ニテ交通銀行本店又ハ天津支店ニ六ヶ月短期借款弐百萬円是非引受ケアリタシ

右打電仕候折柄木村理事ハ病氣ノ趣キ無論承諾ノ回電ニ接ス可シトハ存候モ御回示ノ如ク帝制贊成ノ意味ヲ含ム帝国政府ノ内容ニテハ疑惑少カラズ候此機會ヲ失セザル御配意切ニ天与ニ待ツヨリ外ナシト鶴首罷在候

討逆軍ハ今朝万莊ノ張軍ヲ攻撃シ張軍ハ散々ニ敗退致候討逆軍ハ明七日遲クモ明後八日ニハ北京ニ到軍可致候大勢ハ既ニ決シ段祺瑞氏ガ國務院ニテ政柄ヲ掌ルハ此書面到着頃ト存申候

七〇三 七月六日

美濃部朝鮮銀行總裁ヨリ  
西原亀三(天津出張中)宛(電報)

## 二百万円借款ニ付問合ノ件

七月七日一時十六分着(至急) 美濃部

担保数量知リタシ又直隸省長トシテ誰レガ責任ヲ負フヤ又他ノ条件ハ同一トシテ交通銀行奉天支店ヲ借主トスル事不可能ナラズヤスグ返

七〇四 七月七日

西原亀三(天津出張中)ヨリ  
美濃部朝鮮銀行總裁宛(電報)

## 交通銀行借款ニ関スル問合ニ対シ回電ノ件

七月七日午前十一時発至急電写(第廿七号)

見タ、中銀紙幣三百万担保奉天省保証ニテ奉天交通トシ是非引受ケ乞フ、明日担保ヲ持チ奉天行ク、ス返段内閣五六日内成立前約復活、其ノ中ヨリ返シテヨシ

七〇五 七月七日

西原亀三(天津出張中)ヨリ  
濃部朝鮮銀行總裁宛

## 交通銀行借款条件ニ関スル問合ニ対スル回電

二付具報ノ件

拝呈陳者既ニ御帰鮮ト存居候處尚御滞京ノ趣キヲ以テ木村

氏宛借款ノ件本日御返示

担保数知リタシ又直隸省長トシテ誰ガ責任ヲ負ウヤ又他ノ条件ハ同一トシテ交通銀行奉天支店ヲ借主トスル事不可能ナリヤスグ返

七〇五 七月七日

右了承仕候然ルニ当方ハ時局切迫ノタメ資金迅速入用ノ次第モ有之御来示ノ旨趣了解直ニ相談ノ結果寧ロ此際ハ中国銀行紙幣ヲ参百万元乃至三百五十万元(目下取調中)ヲ担保トシテ奉天省長ノ支払保証ニテ奉天交通銀行支店借款ノ形式ニ致候事最モ迅速ナル可シト信ジ張作霖ニハ段祺瑞氏ヨリ交渉ノ事ヲ約シ直ニ別紙電報写ノ通返電仕候

段内閣ハ七日以内遲クモ十日以内ニハ成立シ從前約貳千萬円借款ヲ復活シ右借款ハ其内ヨリ返済候テ可然最モ右借款ハ焦眉ノ急ヲ要スルモノ即チ北京入城ト共ニ兵隊ノ給料ヲ支払フヲ要シ其他貳千万円借款授受迄ノ必要ナル資金ニ充當スル訣ニ有之故ニ御返電ヲ得テ直ニ明日該担保ヲ攜帶小生モ亦同行奉天ニ急行シ契約成立ト共ニ直ニ該貳百万円ハ天津上海北京へ為替ニテ送金候様致度思料罷在候滯在效ニ月余變転曲折予定ノ軌道ニ上乗仕候先以テ同慶ノ至リニ御坐候先ハ確電迄

勿々

定入京発表ノ筈

曹氏ノ交銀總理ハ其ノマ、ナリ

七〇六 七月七日

勝田大蔵大臣ヨリ  
西原亀三(天津出張中)宛(電報)

## 交通銀行借款未決定ニ付奉天行延期方ノ件

七月八日七時卅分着至急電 大原

借款ノ件未ダ決定セズ再電スル迄奉天行キ待テ

七〇七 七月八日

西原亀三(天津出張中)ヨリ  
勝田大蔵大臣宛(電報)

## 中国銀行へ正金ヨリ二百万円借款入交渉セシメタル件

七月八日正午発急電写(第廿八号)

見タ金ハセキ貴方態度変ナ為メ已ム無ク曹氏ニ正金ヘ中銀ニ百万交渉セシム小田切賛成貴方早ク決定返

七〇八 七月九日

西原亀三(天津出張中)ヨリ  
勝田大蔵大臣宛(電報)

## 段祺瑞内閣ノ閣員略決定ノ件

七月九日午後十時発電写(第卅号)

閣員ハ財政梁啓超内務湯化竇外交汪大燮農商張國淦陸軍王士珍海軍劉冠雄教育張一麿司法林長民交通曹汝霖ニ略々決

一〇 中国問題ニ関スル西原亀三報告雑件 七〇六 七〇七

七〇八 七月九日

六九三

註 別紙電報ハ前出

七〇九 七月九日

西原亀三(天津出張中)ヨリ  
勝田大蔵大臣宛(電報)

## 奉天借款急速決定方及交通銀行二千万円借款

七月九日午後十時発電写(第卅一号)

二千万借款内閣成立セバスク復活シタシ其手配アリタシ件

件

七月九日廿二時廿五分着急電 大原

西原亀三(天津出張中)ヨリ  
勝田大蔵大臣宛(電報)

借款ノ件現内閣ノ一部ガ北洋派ニ偏シ隠秘ノ援助ヲ与フル疑惑ヲ喚起スルノ疑念益々険悪ニシテ今何等ノ方法ヲ以テスルモ之ヲ嚴秘ニ付シ得ル保証無キ以上意外ノ支障ヲ招ク恐レアリ前途ヲ顧慮スル時ハ如何トモ手ノ出シ様ナシ尤モ実際北洋派ノ成功ヲ望ムノ意志ハ終始變ル事ナク政局今少

シク進捗セバ如何ニテモ金融（四字不明、察スルニノ方法ヲトリ？）此處暫ラク何等カ一時応急ノ方法ヲタテ置ク方法ナキヤ貴方ノ事情ハ拝察ニ耐ヘザルモ当方事情ヲモ推察セラレ殊ニ或筋ノ苦衷ヲ察セラレ其ノ間ニ立ツテ双方ニ支障ナキ良策ヲ案出セラレン事切望ニ耐ヘズ正金銀行ヨリノ融通モ見合セラルナラント思フ、スグ返

七一 七月十日 西原龜三（天津出張中）ヨリ  
勝田大蔵大臣宛（電報）  
**段總理就任ニ鑑ミ百万円借款供与方依頼ノ件**

七月十日午前三時発電写（第卅二号）

見タ段ハ既ニ總理ニ就任セリ何等遲疑ノ要無シ然シ敵秘ノ方法トシテ藤原我ノ兩人力又小西ヲ寄込シ中銀紙幣ニ百万当地ニテ保管法ヲ講ジ貴地ニテ百万当座貸越セバ永久ニ知レル恐レ無シ金ハ段ガ北京ニ行クト共ニ兵士ニ支払フタメ是非入用此ノ方法ニテ百万丈ケ引受ケ頼ム保管法ハ交銀ノ金庫ノ鍵ヲ預レバ可ナラン

閣員ハスグ決定スル故前約復活ノ為メ急ギ代表差遣成約セラレタシ返

七一三 七月十一日 西原龜三（天津出張中）ヨリ  
勝田大蔵大臣宛（電報）  
**付断行ニ決意ノ件**

七月十一日十二時五十三分 大原

電見タ貴下ノ切ナル立場ヲ察シ且貴下ニ同情アル或筋ノ苦衷ヲ默視スルニ忍ビ難シ依シテ金百万円ヲ奉天省保証ノ下ニ交通銀行奉天支店ニ対シ貸シ附ケノ件小生ノ責任ヲ以テ断行スル事ニ決意セリ至急奉天ニ何人カ出張ノ手続キアレ藤原ヲ使フ事ハ避ケラレタシ小西支店長ニモ其儀訓電セリ但シ右ハ何処迄モ経済借款ノ主旨タル事ヲ現ハシ表面之ニ矛盾セザルノ注意ヲ乞ヒ且ツ最モ秘密ニ乞フ

#### トスベキ旨電報ノ件

七月十一日廿四時二十分着急電 大原

前電借主ヲ交通銀行奉天支店トセシモ之レ已ムヲ得ザル措置ニシテ出来得可クンバ東三省官銀号ニシタシ（意味ニテトル）中國紙幣ヲ担保トスルハ前ニ打チ合セシ通リナリ尚本件ハ其筋各方面ト打合セ無キヲ以テ暫ク絶対秘密ニ附セラレタシ特ニ正金銀行ニ知レヌ様注意ヲ乞フ前回貴電ノ方法ノ如キ此点ニ於テ実行シ難キモノナリ

七一四 七月十一日 西原龜三（天津出張中）ヨリ  
勝田大蔵大臣宛（電報）  
**奉天省保証交通銀行百万円借款ノ担保ニ付問合ノ件**

七月十一日午後十一時発電写（第卅三号）

七一六 七月十一日 西原龜三（天津出張中）ヨリ  
勝田大蔵大臣宛（電報）  
**奉天省保証交通銀行百万円借款担保ノ処置ニ付問合ノ件**

七月十二日午後六時発電至急電写（第卅四号）

電見タ謝ス担保ハ如何ニス可キヤ但シ一時ノ事故便法望ム明日立ツ積リ吾不快藤原当地ニアリシケテヤル外無シ承知乞フ

七一五 七月十一日 西原龜三（天津出張中）ヨリ  
勝田大蔵大臣宛（電報）  
**百万円借款ノ借主ハ出来得レバ東三省官銀号**

トシ担保ハ中国紙幣トシ尚本件暫ク絶対秘密

一〇 中国問題ニ関スル西原龜三報告雑件 七一四 七一五 七一六 七一七

七一六 七月十日 西原龜三（天津出張中）ヨリ  
勝田大蔵大臣宛（電報）  
**西原ノ帰朝ハ強イテ主張セザル旨及借款ニ付**

**テハ外務当局差當リ反対ナル旨通報ノ件**

七月十日十二時卅五分着電 大原

貴下帰朝ノ事ハ本野ノ伝言ヲ取次ギタルモノニシテ貴下ニ於テ滞留ヲ必要トセラルルナラバ小生ハ強イテ主張スルモノニ非ズ只貴下ノ事議会ニ於テ囂々論議セラレ累ヲ首相ニ及ボス事ヲ本意ナラズトスルノミ張煦ト徐等トノ関係明白トナリシ以上此ノ勢ニテ進行成功ヲ希望ス借款ノ事ハ精々尽力セルモ徐等ノ成功迄ハ外務当局其ノ不可ヲ主張セリヨツテ目下ノ風潮ナリ（意味不明）

但シ時期ノ問題ナレバ先方ハ安心シテ可ナリト信ズ中国銀小借款ハ林公使ヨリ外務省ニ一電來レバ好都合ト考フ

七一七 七月十二日 西原龜三（天津出張中）ヨリ  
勝田大蔵大臣宛（電報）  
**奉天省保証ニテ交通銀行奉天支店ニ百万円貸**

七月十二時五十三分 大原

張勲ノ撲国公使館ヘノ逃込報告並二千万円借

六九五

款復活ノ措置ニ付問合ノ件

七月十二日午後六時発電写（第卅五号）

北京ノ騒擾モ今明日ニテ形付ク可ク張勲ハ撲国公使館ニ逃

前約貳千万円借款復活ノ事如何取計フ可キ哉又林公使ニ談

ジ贊成ヲ求ム可キカ何分ノ御指揮ヲ乞フ

七一八 七月十二日 勝田大蔵大臣（天津出張中）宛（電報）

百万円借款ノ借主ハ奉天官銀号トシ担保ハ中

國銀行券ノ外相当ノ担保ヲ希望スル旨電報ノ

件

七月十二日廿一時廿分着急電 大原

事情益々陥悪ナルニ付キ前電通り借主ハ奉天官銀号トシ奉  
天省ニ保証セシメ担保ハ中國銀行券外ニ相当ノ担保ヲ希望  
ス當行ノ立場上如何ニシテモ經濟借款ヲ離ル、事能ハズ交  
通銀行ヲ借主トシテハ前借款團トノ關係ニ支障ヲ生ジ且問  
題トナル虞レアルニ付キ避ケタシ藤原ヲ使フ事ハ此際避ケ  
ヨ電報宛名ヲ美濃部トスルナ

由問合ノ件

七月十四日午後一時発急電（第卅七号）

段総理今朝入京新内閣スグ成立ス可シ閣員一、二移動アル  
筈返遅クテ困ル

七二一 七月十四日 勝田大蔵大臣（天津出張中）宛（電報）

百万円借款ノ借主ヲ官銀号トスルヲ得ザル事

件

七月十四日午後一時発急電（第卅七号）

段総理今朝入京新内閣スグ成立ス可シ閣員一、二移動アル  
筈返遅クテ困ル

勝田大蔵大臣（天津出張中）宛（電報）

百万円借款ノ借主ヲ官銀号トスルヲ得ザル事

七一九 七月十二日 西原亀三（天津出張中）ヨリ

勝田大蔵大臣宛（電報）

貴電ニ依リ交通支店トシテ各方面ト交渉ズミ官銀号ハ内部  
都合惡シ又吾病氣ニテ行ケズ中銀紙幣百五十万担保奉天省保  
証交通支店ニテ百万引受ケ出来ルヤ否ヤ返

七月十二日午後十二時発至急電写（第卅六号）

百万円借款ノ借主及担保ニ関シ打合ノ件

七月十二日午後六時発電写（第卅八号）

貴電ニ依リ交通支店トシテ各方面ト交渉ズミ官銀号ハ内部  
都合惡シ又吾病氣ニテ行ケズ中銀紙幣百五十万担保奉天省保  
証交通支店ニテ百万引受ケ出来ルヤ否ヤ返

七一八 七月十二日 西原亀三（天津出張中）ヨリ

百万円借款ノ借主ハ是非奉天官

國銀行券ノ外相当ノ担保ヲ希望スル旨電報ノ

件

七月十二日廿一時廿分着急電 大原

電見タ當方ノ事情トシテハ鉄ク迄經濟借款タルノ形ヲ取ル  
ヲ要ス此ノ關係ニ於テ官銀号ヲ希望スル次第ナリ何故ニ官  
銀号ヲ取ル能ハザルヤ事情知ラセ担保ノ事ハ貴方前電ノ通  
リニテモヨロシ

七二二 七月十四日 勝田大蔵大臣（天津出張中）ヨリ  
西原亀三（天津出張中）宛（電報）

百万円借款ノ担保承知但シ借主ハ是非奉天官

銀号トシタキ件

七月十四日十二時廿七分着電 大原

担保品ノ事ハ貴電ノ通りニテモヨロシ併シ借主ハ是非奉天

官銀号ニシタシ返電アレ

七二三 七月十四日 西原亀三（天津出張中）ヨリ  
勝田大蔵大臣宛（電報）

百万円借款ノ借主ヲ官銀号ニ改ムルコトヲ得  
ザル理由説明ノ件

七月十四日午後六時発電写（第卅八号）

銀行間ノ貸借ガ何故政治關係ニナルヤ前借款ハ毫モ政治ニ  
使用シ居ラズ貴示ハ貴方ノ考ニテ実状ニ非ズカ、ル御電示

一〇 中国問題ニ關スル西原亀三報告雑件 七二二 七二三

七二四 七月十五日 西原亀三（天津出張中）ヨリ

意喚起ノ件

七月十五日十五時卅分着電 大原

六九七

七二四 七月十四日 勝田大蔵大臣（天津出張中）ヨリ  
西原亀三（天津出張中）宛（電報）

交通銀行百万円借款ノ交渉進行差支無キ件

七月十四日二十一時十七分著電 大原

交通銀行借款ノ件進行差支ヘナシ

七二五 七月十五日 勝田大蔵大臣（天津出張中）ヨリ  
西原亀三（天津出張中）宛（電報）

由問合及交通銀行大借款ノ交渉急速進行方注

七月十五日十五時卅分着電 大原

御病氣如何前電官銀号ヲ使ヒ得ザルヤノ件至急返電頼ム又交通銀行大借款ハ此ノ際又モ形勢ノ変ラヌ中、ナルベク速ヤカニ進行ノ心要アリ、御注意

七二六 七月十五日

西原龜三(北京出張中)ヨリ

汪大變申込ノ二百万円借款林公使承諾ノ件

七月十五日午後七時発電写(第卅九号)

今朝上京公使ニ談ジ更ニ汪大變ヨリ公使ヘ貳百万借款三日間調達ヲ懇団セシメ承諾ヲ得タリ御承知アリタシ、天津ニ

藤原ヲ置キ、吾レ引揚ゲタリ、以後坂西宛乞フ

七二七 七月十九日

西原龜三(北京出張中)ヨリ

曹汝霖ト相談ノ結果奉天借款ヲ廢談トシ二千

万円借款復活ニ関シ曹ヨリ林公使ニ尽力ヲ乞

ヘル旨報告ノ件

七月十九日午前十一時〇七分発電写(第四十号)

曹氏病氣ニテ相談出来ズ、本日相談ノ結果奉天借款ハ折角尽力ヲ得タルモ時機變化ノ為廃談トシ更ニ二千万借款復活急速運ブコトヲ望ミ、本日曹氏ヨリ公使ニ尽力ヲ乞ヘリ

西原龜三(北京出張中)ヨリ

正金銀行ヨリ段内閣ヘ二百万円貸付並奉天百

万円借款ノ廢談及二千万円借款ノ復活問題等

報告ノ件

拝呈爾來政局ハ予定ノ道程ニ進行ノ折柄小生ハ去十日ヨリ

永々腸胃ヲ損シ肉汁生活ヲナス茲ニ多日漸ク昨日ヨリ食堂ノ人ト相成申候御放念被下度候

既ニ一昨十七日ヲ以テ新内閣員ハ去ル九日発電ノ通り任命

發表セラレ弥々予定ノ段祺瑞内閣成立シ幸ニ日本政府ニシ

テ其声言ノ如ク日支親善ヲ實質ニ契合セシメントスルアラバ以テ東洋永遠ノ平和ハ安固タル実ニ慶祝ノ至リニ御座候却説既報段祺瑞北京入城ト共ニ必要ナリトシテ交渉致候

借款爾來朝鮮銀行ヨリ其借主ヲ奉天官銀号トスル事ノ照会ニ接シ候モ既ニ前回奉天五百万借款談ノ際、張作霖ヨリ官

銀号ノ内部ノ都合上引受難シ故ニ省直接ヲ望ムトノ来電アリ殊ニ直隸借款ノ希望ニ対シ七日付ヲ以テ朝銀ヨリ交通奉天支店ヲ借主トスルコト如何トノ御来電ニ接シ直隸省ノ保証ヨリモ寧ロ奉天省保証ノ方好都合ト存シ其旨ヲ以テ奉天交通支店奉天省保証トシテ夫々交渉ヲ纏メ候折柄、強チ官銀号ニセヨトノ御来示ニ有之候モ既ニ段祺瑞張作霖間交渉済ノモノヲ左様ニ易々ト変更モ出来難ク且又其金額モ多額ナランニハ兎モ角毫百万円位ニテ前交渉ヲ反古ニモ相成兼加之当方ヨリ其不可能ヲ返電スルニハ不可能ノ理由ノ存スルハ勿論ナルニ強テ再応ノ御来電ハ甚タ其意ヲ得ザル而已ナラズ或ハ借款引受ヲ厭フモノニ非ズ哉トノ疑念モ生ジ一面資金ノ必要ハ焦眉ニ逼リ恁ノ如キ交渉ニ時日ヲ費スハ當方ノ事情之ヲ認容セズ而テ資金ノ調達ハ一ニ小生ノ意見ニ求メツ、アルニ拘ラズ恁クテハ其期待ニ反スルニ至リ大事ヲ誤ラシムルニ至ルナキヲ保シ難ク時偶々曹汝霖氏ハ十四日前小生ト会談ノ後、多日ノ不眠不休ノ活動ト九十五度以上ノ暑熱ハ遂ニ同氏ノ卒倒ヲ惹起スルニ至リ殊ニ同日段祺瑞氏ハ北京ニ入城シ新内閣成立ト共ニ新政ヲ施サントスルニ際シ蕭何ノ任甚タ無覚束ヲ感ジ一方曹氏ハ四十度以上

ノ熱発ニシテ相議セントスルモ能ハザルノ境ニ在リ吾ハ亦未ダ腸胃整ハズ從テ疲労少ナカラズト雖モ此間ニ処シ病臥ヲ許サス故ニ十五日午前七時天津發北京ニ罷越シ直ニ林公使ニ面会シ段内閣当面ノ急ヲ救フ為メ是非三日間ニ正金銀行ヲシテ、貳百万円調達尽力方ヲ懇団シ一面其旨ヲ段総理ニ告ゲ直ニ汪大變ヨリ林公使ニ依頼セシメ茲ニ承諾ヲ得而テ正金銀行ヨリ先づ壹百万元ヲ貸与シ更ニ塩税余剰金貳百万元ヲ急速交附ノ手続ヲ取り漸ク焦眉ノ急ヲ調理セルノ事情ニ御座候恁クテ曹汝霖氏ハ昨日病ヲ押シテ入京シ本日面談ノ結果折角御尽力ニ相成候モ奉天借款ハ一時ノ急ニ応ゼントセル意志ナリシモ既ニ時期ハ変化候間此変法ハ必要ナキニ至リ候間是ハ廃約トナシ至急前約貳千万円借款ヲ復活シ北京市面ノ救濟ヲ実願致度トノ希望ニ基キ本日別紙第四十号発電候事情ニ御座候

従テ小生ハ一昨日來林公使、芳沢參事官、出淵書記官ニ二千万借款復活ニ付キ夫々談シ置候、林公使ハ妙ナ経済論ヲ被致候モ是ハ別問題トシ前ノ関係ニテ彼は云為セラレ候モ要ハ承知シタ被申居候間本日曹汝霖氏ヨリ懇団セバ相当ニ外務省へ報電致吳候ト存候就テハ小生ハ可成迅速ニ当地

公使ハ吾レ昨日話シタルニ前ノ関係ヨリ好マザル模様ナリシモ承知セリト云ヘリ至急貴方取纏メアリタシ、吾レ至急帰国シタキニ付小西氏ヲ成約ノ為メ派遣アレバ早クテ良シ、何分ノ返待ツ

一〇 中國問題ニ関スル西原龜三報告雑件 七二九 七三〇 七三一

七〇〇

ヲ引揚ゲ申度ク小西氏ヲ成約ノタメ派遣相成候得バ好都合  
ト存ジ其旨打電候都合ニ候

段祺瑞ノ新内閣ニ対シ各方面種々噂致候モ内部ハ至極鞏固

ニシテ外間ノ揣摩シ能ハザルモノ存シ申候公使館内ニモ民

党派アリ張勲派アリ外間ハ殆ド民主党派（但シ日本人ナリ）

ニシテ真ニ政局ノ内容ヲ確知スルニ足ル者ハ見当リ難ク候

即チ李經義内閣ガ頗レントスレバ是ガ成立スルモノト信ジ

復辟ヲ遂行セバ直ニ復辟ノ成効ト信ジ、段内閣ガ成立セバ

其前途ヲ云為シ恰モ猫ノ眼ニ異ナラズ候恁ル机上の眼前的

観察ヲ以テ対支施設ノ実効ヲ期セントセバ唯天祐ヲ期待ス

ルヨリ外ナシニ御座候 無々

七二九 七月二十一日

西原龜三（北京出張中）ヨリ

勝田大藏大臣宛（電報）

交通銀行大借款交渉ハ一週間位要スル旨並帰

國日程ニ付報告ノ件

七月二十一日午後 発電（第四十一号）大原

電見タ借款ハ當方モ内閣成立早々ニ付キ、取纏メニ一週間

位要スルニヨリ吾レハ、二十四日発上海ニ廻リ急ギ帰国ス

ベシ後ハ藤原君ニテ出来ル様ナシオクベシ

七月二十三日零時三十分発電写（第四十武号）大原  
梁啓超ノ懇望ニヨリ二十六日迄滯京七日発ニ変更ス交通借款内議決マレ返

七三一 七月二十五日

西原龜三（北京出張中）ヨリ

勝田大藏大臣宛（電報）

曹汝霖ヨリ林公使ヘ交通銀行借款成立方依頼  
アリ在本邦中國公使ヨリモ外相藏相へ同様申

出アルヘキ旨等通報ノ件

七月二十五日午後一時発電（第四十三号）大原

本日曹氏ヨリ林公使ニ交通借款成立ヲ依頼シ又章公使ヨリ

藏相外相ト貴行ヘ同様申出ノ筈急キ手配アリタン。

中國銀行整理借款依頼アリ吾レ帰國ノ上相談スル極秘。吾

ハ明日発上海ヲ経テ帰ル跡ハ藤原氏ニテ出来ル様ナシ置ケ

リ。

※ 西原借款ニ関スル外務省記録ハ一部焼失シテイルノデ国会  
図書館ニ架蔵サレテイル西原龜三文書（マイクロフィルム）

ヨリ借款交渉關係報告等ヲ若干補顛採録シタ